

43268

教科書文庫

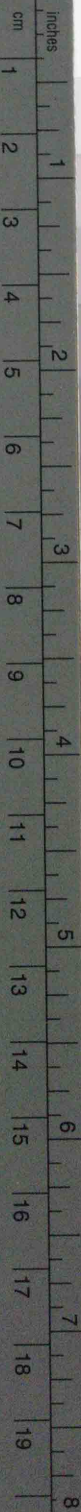
4
370
51-1903
20000
33941

Kodak Gray Scale



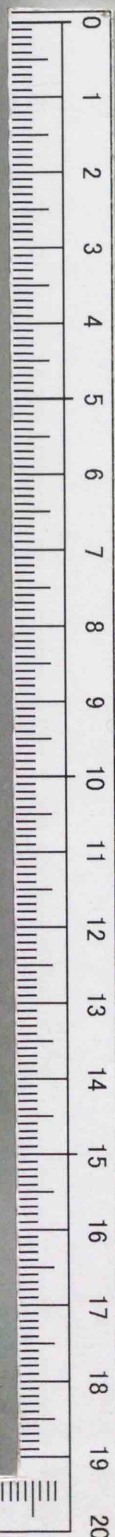
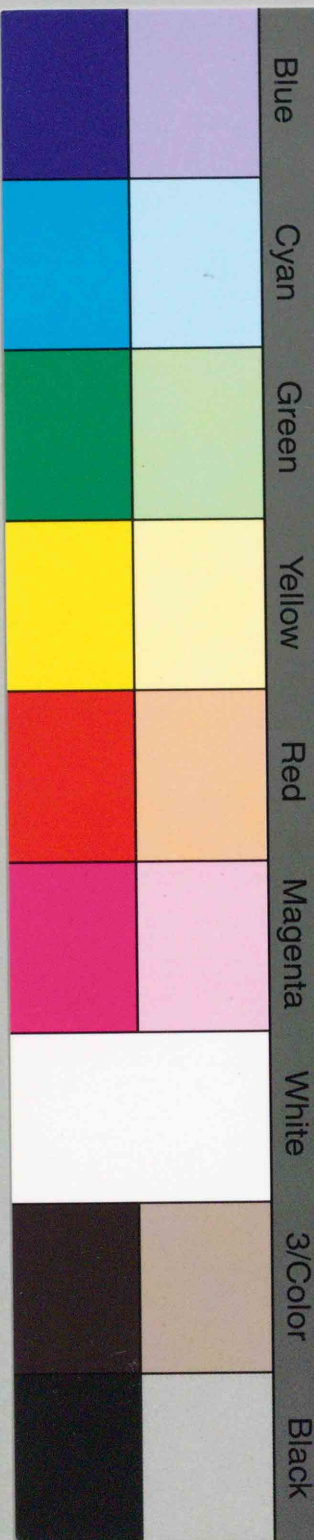
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

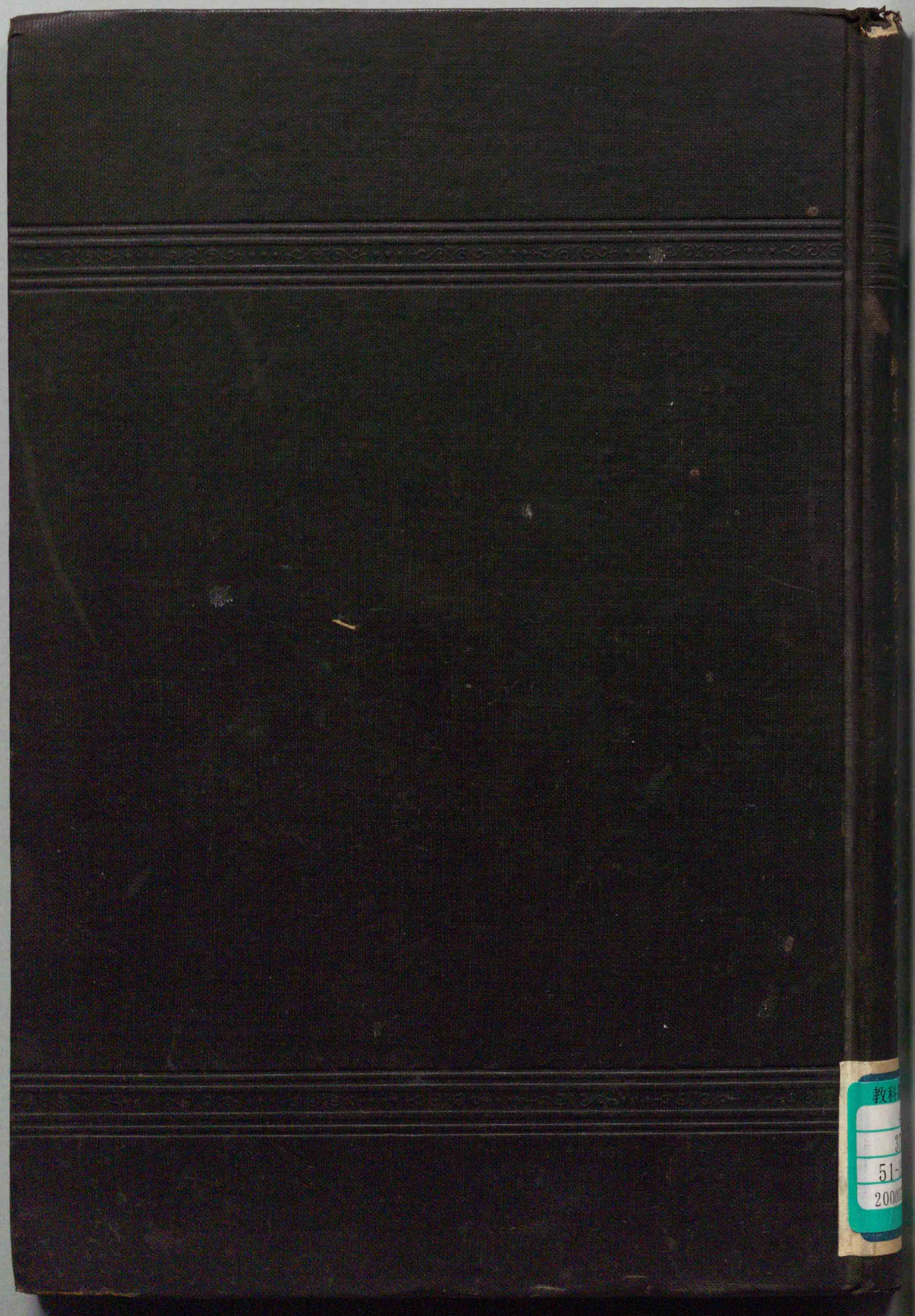


Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科
51-
20000



資料室
中央図書館

教科書文庫
4
370
51-1903
2000033941

3759

054

用 科 教
書 全 學 育 教
編 新
書 科 教 學 育 教

士 學 文
郎 太 甚 瀨 大
著



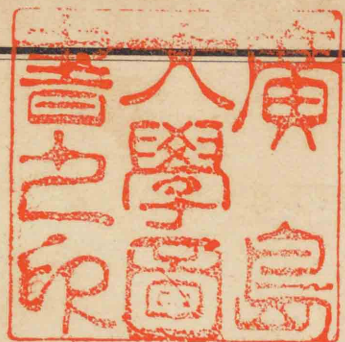
広島大学図書

2000033941



京 東

社 會 式 株 籍 書 堂 港 金



教育教科教育學全書

- 一、教育史教科書 中島半次郎氏著 全一冊
- 二、管理法教科書 田中敬一氏著 全一冊
- 三、心理學教科書 大瀨甚太郎氏著 全一冊
- 四、新編教育學教科書 大瀨甚太郎氏著 全一冊
- 五、教授法教科書 大瀨甚太郎氏著 全一冊
- 六、論理學教科書 大瀨甚太郎氏著 全一冊



緒言

一、本書ハ、教育者及ビ師範生等ノ爲メニ、教育ノ理論及ビ應用ヲ平易ニ説述シタルモノナリ。

一、著者ハ、曩ニ教育學教科書ヲ公ニセシガ、今又之ヲ嘗テ立柄教俊氏ト共ニ著セル心理學教科書及ビ教授法教科書ト聯絡セシメンガ爲メ、其ノ或ル部分ヲ删除シ、或ル部分ヲ改正シテ、以テ出版スルコトトナシタルナリ。

一、本書ハ、前著書ト同ジク、一二學派ノ主張ニ偏セズ、諸説ヲ折衷シテ、以テ實用ヲ主トシタリ、而シテ前著書ハ、獨國及ビ佛國ニ於テ廣ク行ハルル教育學教科書ニ依レルガ、本書ハ、更ニ最近ノ教育書即チナトルプ、ベルゲマン、レーマン等諸氏ノ著書ヲモ參酌シタリ。

一、心理學教科書ト同ジク、本書モ亦脱稿ノ後、中根淑氏ヲ煩ハシ

テ文辭ノ周密ナル批正ヲ受ケタルコトハ、著者ノ深ク謝スル所ナリ。

明治三十六年四月

著者識ス

目錄

緒論

一、	教育ノ意義	一
二、	教育ノ可能及ビ必要	五
三、	教育ノ限界	一〇
四、	教育ノ學	一六
五、	教育學ト他ノ科學トノ關係	一九
六、	教育ノ術	二三
第一篇	教育ノ目的	二六
第一章	教育ノ目的ニ就キテノ異說	二六
第二章	教育ト生活	三〇
第三章	教育ト道德	三五
第四章	教育ノ特殊ノ目的	三九

第二篇 教育ノ方法

第一章 教授

第一節	教授ノ目的	四五
第二節	教授ト興味	四五
第三節	教案	五〇
第四節	日課案	五八
第五節	教授ノ階段	七〇
第六節	教授ノ形	七五
一、	現示的教授	八四
二、	講演的教授	八四
三、	練習的教授	八八
第七節	誦讀・齊唱・復習	九二
第二章	訓育	一〇六
		一一二

第一節	訓育ノ目的及ビ訓育ト教授トノ關係	一一二
第二節	抑制ト誘導	一一四
第三節	身體ニ對スル注意	一一九
第四節	生活ニ由ル訓育	一二五
一、	家庭生活	一二六
二、	學校生活	一二九
三、	社會生活	一三一
第五節	示範	一三四
第六節	遊戲	一三七
第七節	作業	一四三
第八節	命令及ビ禁止	一四五
第九節	懲罰	一五〇
第十節	褒賞	一六二

第十一節 教授ニ由ル訓育

第三篇 教育ノ場所

第一章 個別的的教育ト共同教育

第二章 幼稚園

第三章 學校

一、小學校

二、中學校及ビ高等女學校

三、大學

第四篇 教育者

第一章 教育者ノ種類

第二章 教育者ニ必要ナル性質

第三章 教師ノ補修

一六五

一六八

一六八

一七一

一七五

一七五

一七七

一七一

一八〇

一八〇

一八二

一八八



新編 教育學教科書

緒論

一、教育ノ意義

教育ノ理ヲ論ズルニ當リテハ、先ヅ教育ト云フコトノ意義ヲ定ムルコト必要ナリ、故ニ左ニ之ヲ説カシ。

成熟者ト
未成熟者

教育ハ人ト人トノ間ノ仕事ナリ、而シテ其ノ働ヲ發スルモノハ、自治ノ能力アリテ、成熟ノ状態ヲ有スル人タルコトヲ要シ、之ヲ受クルモノハ、心身共ニ薄弱ニシテ、獨立ノ能ナク、知識ノ上ニ於テモ性格ノ上ニ於テモ、未ダ成熟セズ、而カモ自力ニ由リテ成熟ノ地位ニ達シ得ザルモノナリ。固ヨリ成熟ト云ヒ未成熟ト云フモ、比較的ノコトニシテ、其ノ間ニ明カナル區別アルニ非ズ、其ノ經過ハ徐徐タルニ相違ナシト

意識的勢力

雖モ、獨立自治ノ力、略確立シ、自力ニ由リテ自己ヲ進メ得ルニ至リ、成熟期ニ達シタルモノト見做シ、其ノ時マデヲ教育ノ時期ト云フ。

教育ハ、成熟シタル人ガ、未ダ成熟セザル人ヲ助ケ、之ニ自立ノ力ヲ得シムルモノトスルモ、斯カル働ハ、如何ナル蠻民間ニモアリ、降りテ禽獸間ニ於テスラ、亦常ニ見ル所ナレバ、此ノ働ノミニテハ、教育ノ意義ヲ盡スモノニ非ズ。此ノ働ガ、或ル目的ヲ以テ故意ニ發セザル間ハ、教育ナシト云フヲ得ベシ。尙此ノ目的ニ就キテハ、後ニ説ク所アルベケレドモ、今之ヲ略言スレバ、一ニハ幼者ノ必要ヲ基トシテ、其ノ獨立シ得ル知能ヲ啓發シ、高尚ナル品性ヲ養ヒ、一ニハ社會ノ必要ヲ基トシテ、幼者ヲシテ社會ノ有用ノ分子トナリ、其ノ進歩ニ與リテ力アラシメントスルニ在リ。畢竟教育ノ理想ハ、人ノ

繼續スル働

此ノ世ニ在ル目的ヲ最モ善ク達セシメントスルニ外ナラズ。然レドモ斯クノ如キ理想ハ、教育ノ時期間ニ於テ、到底之ヲ實顯スル能ハザルヲ以テ、教育ノ直接ノ目的トスベキ所ハ、人ヲシテ獨立シテ其ノ最終ノ目的ニ達セントスル力ヲ得シムルニ在リト云フベシ。サレバ幼者ガ、識ラズ知ラズ其ノ父母ノ爲ス所ヲ模倣シテ、之ト同様ノ生活ヲ爲スニ至ル如キハ、教育ト云ヒ難ク、又彼ガ其ノ兄弟朋友及ビ其ノ他一般ニ社會ヨリ受クル偶然ノ影響、及ビ其ノ遭遇スル運命ノ如キモノモ、教育的勢力トハ云ハザルナリ。則チ教育ハ、一定ノ目的ヲ達センガ爲メ豫定セラレタル順序アル方法ニ由ル意識的動作タルコトヲ要ス。

人ハ、助ナキ状態ニ於テ此ノ世ニ生マレ、或ル時期間、絶エズ他人ノ指導ヲ要スレドモ、然レドモ此ノ時ニ於テ、最モ多ク

發育シテ、其ノ後來ノ發達ノ基礎ヲ得ルニ至ルモノナレバ、
教育ハ、此ノ時期間繼續スル働タラザルベカラズ。總ベテ目
的アル働ニハ、其ノ目的ヲ達スルニ最モ適當ナル時ニ於テ、
中絶セザランコトヲ要件トス。
教育ハ、單ニ人ヲ或ル特別ナル業務ニ堪能ナラシメ、特殊ノ
知識技能ヲ得シメントスルモノニ非ズシテ、人ノ人タル價
値ヲ進メントスルモノナリ。特別ノ業務ノ準備ヲナシ、又ハ
特殊ノ知能ヲ進メントスルモノナ、通常ハ職業教育、又ハ、專
門教育ト云ヒ、又軍事教育、商業教育等ノ語モアリ、然レドモ
普通ニ教育ト云フハ、人ノ發育ヲ要スル諸點ニ對シ、偏頗ナ
キ注意ヲ加フルモノナリ。尤モ教育ハ、實地生活上ノ事情ニ
應ズルコトヲ要シ、土地ノ狀況、時勢等ヲ斟酌シ、幼者ノ後ニ
取ルベキ業務ヲ考フルコトヲ要スルモノナレドモ、其ノ主

旨ハ、特別ノ職務ノ直接ノ準備タルニ非ズシテ、人格ヲ進メ、
後ニ如何ナル業務ニ就クニ當リテモ、能ク忠實ニシテ、誘惑
ニ動カサレズ、國民トシテノ義務ヲ盡シ、其ノ品位ヲ保持シ
得ル根本的素養ヲ得シメントスルニ在リ。而シテ人ハ、此ノ
普遍的陶冶ノ基礎アリテ、始メテ善ク其ノ後來取ルベキ生
活ノ特殊ノ方向ヲ選定シ得ルモノトス。
以上述べタル所ヲ總括シテ、教育ノ意義ヲ約言スレバ左ノ
如シ。
教育トハ、成熟シタル人ガ、未成熟ナル人ノ上ニ、意識的ニ一
定ノ時期間繼續シテ行フ普遍的陶冶ニシテ、後者ヲシテ獨
力ヲ以テ、個人トシテ又社會ノ人トシテ、自己ヲ完成セント
スル状態ニ至ラシメントスルモノナリ。

二、教育ノ可能及ビ必要

被陶冶性

教育ノ意義ヲ定ムルニ當リ、吾人ハ幼者ノ陶冶シ得ベキコト、即チ教育ノ可能ヲ豫定シタリ、次ニ斯クノ如キ豫定ノ正シキ所以ヲ論シ、併セテ其ノ實ニ人生ニ必要ナルコトヲモ明カニセントス。
教育ノ可能及ビ必要ハ、人ノ心身ノ特質上ヨリ論定シ得ベシ。凡ソ生物中、人類程助ナキ有様ニテ生マレ出ヅルモノハナカルベク、身體ノ上ヨリモ心ノ上ヨリモ、常ニ他人ノ助ヲ受ケテ、僅ニ生存シ得ルハ事實ナリ、從ツテ人類ハ、其ノ幼時ニ於テハ、未ダ固定ノ意思感情ヲ有セズ、他人ノ指導ニ服從シテ、能ク其ノ教ヲ守リ、其ノ模範ニ倣ヒ、且鋭敏ナル感覺、善キ記憶ニ由リテ、其ノ發育ノ材料ヲ蒐集ス、斯ク幼者ハ即チ被陶冶性ヲ有スルモノナルガ、其ノ生長スルニ從ヒ、體力ノ増加ト共ニ心ノ自動ノ力ヲ増シ、他ノ勢力ニ由リテ動キ易

性及ト天外

キ性質ヲ減ジ、自ラ信ズル所ヲ確持シ、自意ニ由リテ其ノ行爲ヲ規定スルニ至ル、而シテ斯クノ如キ活力ハ、決シテ偶然ニ發生スルモノニ非ズ、是最初發育期ニ於テ知覺習得シタル所ニ基キ、漸次ニ一定ノ法則ニ從ヒテ發展シタルモノナリ。
斯クノ如ク幼時ノ性ノ動カサレ易キコトハ、教育ノ勢力ノ加ヘラレ得ベキコトヲ示シ、又他ノ不良ノ勢力ヲ防ギ、之ヲシテ幼者ノ性ヲ動カサザラシムベキ教育的注意ノ必要ヲ明カニシ、一定ノ時期ニ至リ、幼時ニ受ケタル影響ニ基キテ、固定ノ性ヲ生ズルコトハ、實ニ教育ノ效果ヲ生ジ得ルコトヲ示スモノト云フベシ。然ルニ之ニ對シ、小兒ハ天性ニ於テ、既ニ確定セラレタル善惡ノ方向ヲ有スルモノナレバ、此ノ確定ノ方向ニ對シテハ、教育ハ殆ト效ナシト云フモノアレ

ドモ、是決シテ正當ノ言ニ非ズ。人ハ固ヨリ特種ノ稟性ヲ有スレドモ、總ベテ身體上ノ作用ニ於ケル如ク、心ノ諸作用モ亦自ラ發育スルヲ得ズ、必ズ或ル材料ニ由リテ、多ク働カサルルコトヲ要スルモノナレバ、就イテ以テ鍛鍊熟達スベキモノナキトキハ、最モ發展シ易キ特性モ、其ノ働クベキ機會ヲ得ズ、從ツテ十分ニ發展シ得ザルハ、自然ノ理ナリ。サレバ幼時ノ動キ易キ心ヲ利用シ、常ニ有益ナル材料ヲ與ヘテ、其ノ諸作用ヲ善良ナル方向ニ働カシメ、而シテ不良ナル傾向ヲシテ發生スル機會ナカラシムル教育ノ力ノ效果ヲ疑フハ、不當ト云ハザルヲ得ズ。或ハ云ハン、人ノ外圍ニハ、教育的勢力ノミ存スルニ非ズ、心モ亦唯善良ナルモノノミニ應ジ易キモノニ非ズシテ、恐ルベキ邪惡ノ勢力ニモ動カサレ易シ、且教育ノ時期ニハ限リアレドモ、邪惡ノ勢力ハ常ニ存ス

結論

ト。是正シキ事實ニシテ、外圍ニハ不良ノ影響ヲ及スモノ多ク、而シテ盡ク之ヲ撲滅スルカ、或ハ少シモ幼者ニ接近セシメザルコトハ、到底爲シ難キコトナリ。然レドモ之ヲ抑制シテ、其ノ力ヲ減殺スルコトハ、爲シ得ベカラザルニ非ズ、且善良ナル影響ノ下ニ、或ル度マデ發育シタルモノハ、假令少シモ邪惡ノ勢力ニ犯サルルコトナシト云フコト能ハザルモ、之ニ對シテ、強固ナル抵抗力ヲ有スルコトハ疑ナシ。今若シ教育ハ、少シニテモ不良ノ勢力ヲ減殺シ得ベシトスレバ、其ノ效果ハ決シテ没スベカラズ、況ヤ心ニ關スル研究益進歩シ、外界ノ出來事ニ關スル規律、因果ノ理、次第ニ明瞭ニナリ、教育的研究ノ進歩、今日ニ止ラザルニ於テナヤ。因ツテ吾人ハ以上說キタル所ヲ約シテ、次ノ如ク論定セントス。
幼時ノ被陶冶性ニ富ムコト、及ビ一定ノ時期ニ於テ、一定ノ

法則ニ從ヒ、心ノ自動ノ力ヲ發生スルコトハ、其ノ法則ニ依ル教育ノ可能ト必要トヲ示スモノト云フベク、心理的法則ニ基キタル教育ノ力ハ、能ク他ノ偶然ノ勢力ヲ制限シ得ベキモノナリ。

三、教育ノ限界

カントト曰ハク、人ハ唯教育ニ由リテノミ人トナルヲ得、各人ハ教育ガ彼ニ於テ作爲シタル結果以外ニハ無ナリ。ト、是教育ノ萬能ヲ示ス語ニシテ、十八世紀ニ於ケル教育界ノ一般ノ所信ヲ表示シタル言ナリ。然レドモ吾人ハ未ダ之ヲ正當ト認ムルヲ得ズ、教育ノ力ニハ、實際限リアリ、教育者ハ總ベテノ兒童ヲ如何ナル場合ニ於テモ、自己ノ意ノ如ク養成シ得ルモノニ非ズ、最モ熟練ナル教育者ガ、最モ注意シテナス教育スラ、盡ク其ノ希望スル結果ヲ生ズルコトハ甚ダ難シ、

教育萬能
說

被教育者
ノ特性

是教育ノ力ノ無限ナラザルヲ示スモノナリ。然ラバ其ノ力ヲ制限スルモノハ何ゾヤ、吾人ハ今之ヲ大別シテ二トス、其一ハ、被教育者ノ稟賦ノ特性ニシテ、其ノ二ハ、知り難キ或ハ制スベカラザル外圍ノ勢力ナリ。

兒童ハ、各特別ノ身體ヲ有シ、而シテ此ノ特別ノ身體ハ、心ノ發育ノ上ニ大ナル影響ヲ及スモノナリ。身體強健ニシテ、完全ナル感覺機ヲ有スルモノハ、自信ノ念強ク、意思ノ發達速カニ、其ノ性質、活潑敏捷トナル自然ノ傾向ヲ有シ、體質虛弱、感覺機不良ナルモノハ、其ノ反對ノ傾向ヲ示スヲ常トス。其ノ他一方ニハ、神童ト呼バレテ、他人ノ秩序的教導ヲクトモ、自ラ世ニ卓越スル才能ヲ有スルモノアリ、他方ニハ、天性愚鈍ニシテ、如何ナル刺激ヲ加フルトモ、殆ト無感覺ナルモノアリ、是人性ノ兩極端ニシテ、前者ニ對シテハ、殆ト教育ノ要ナ

ク、後者ニ對シテハ、教育ノ力ノ甚ダ微弱ナルヲ感ズルヲ免
 レズ、其ノ中間ニ於テモ、特質ノ種類頗ル多ク、人ヲシテ不同
 ナル發育ノ方向ヲ取ルニ至ラシム。故ニ教育者ニ對シテ爲
 スベキ最初ノ要求ハ、兒童ノ性ヲ知レト云フニ在リ、蓋シ教
 育者常ニ能ク兒童ノ性質ヲ觀テ、之ニ應ジテ適當ナル方法
 ナ用フレバ、正ニ教育ノ效力ヲ大ナラシムベシト雖モ、其ノ
 不良ノ性ニ由リテ制限セララルコトモ、亦決シテ少カラザ
 ルナリ。

外圍ノ勢
 力

外圍ノ勢力トハ、兒童ノ外圍ヨリ之ニ及ス教育以外ノ影響
 ニシテ、之ヲ數種ニ區別スルヲ得ベシ。第一種ノモノハ、教育
 者自身ノ特性ナリ、教育者モ兒童ト同ジク、特別ノ性ヲ有ス
 ルヲ以テ、此ノ特性ハ識ラズ知ラズ兒童ニ影響スルコト少
 カラズ、尤モ善良ナル教育者ハ、能ク自己ノ性ヲ知り、其ノ弊

害ヲ生ズベキモノハ、成ルベク抑制シテ顯サズト雖モ、如何
 ナル時、如何ナル場合ニモ、完全ニ之ヲナシ得ルモノニ非ズ、
 精神ノ爽快ナル時ト、悲哀ニ沈ム時トハ、如何ニ勉ムルトモ、
 他人ニ對シテ、幾分カノ異ナル點アルハ、免レザル所ナルベ
 シ。第二自然ノ勢力ガ、個人ノ育成ノ上ニ、從ツテ又一人種一
 國民ノ氣質ノ上ニ大ナル關係ヲ有スルコトモ明カナリ、氣
 候ノ良否、山河ノ形勢、土地ノ瘠饒、天災ノ有無等ハ、自然ニ人
 ノ情意ヲ支配スルニ至ルモノニシテ、近時科學ノ進歩セル
 ニ從ヒ、自然ノ不良ノ勢力ヲ抑制シ、善良ナルモノヲ利用ス
 ルノ道、大ニ開ケタリト雖モ、尙人力ノ如何ントモスル能ハ
 ザルモノ多ク、爲メニ教育ハ、多少ノ妨害ヲ受クルコトヲ免
 レザルナリ。第三外圍ノ勢力中ノ主要ナルモノハ、社會一般
 ノ状態ナリ、總ベテ人類ハ社會ヲ構成シ、集合ノ生活ヲナス

ヲ以テ、兒童ハ生マレテヨリ以來、自ラ多クノ人ニ接シ、從ツ
 テ偶然又ハ特別ノ目的ヲ以テ、教育者外ノ人ヨリ學ブ所多
 クシテ、自ラ外圍ノ風ニ感染ス、故ニ一般社會ノ状態、及ビ特
 ニ其ノ常ニ交際スル人ノ性質ノ良否ハ、非常ニ該兒童ノ性
 質ノ良否ヲ定ムル上ニカアルモノトス、ルソーハ、社會ノ影
 響ヲ人ノ進歩ニ害アルモノトシ、少クトモ最初ノ時期ノ教
 育ハ、兒童ヲシテ社會ト隔離セシメ、唯一人ノ指導者ニ從ハ
 シムルコトヲ要ス。ト云ヘリ。然レドモ是到底ナシ難キコト
 ナルノミナラズ、吾人ハ社會ヲ全ク邪惡ノモノト視ル能ハ
 ザルモノナレバ、其ノ善キモノヲ利用シテ、教育ノ效果ヲ大
 ナラシメンコトヲ要ス。唯盡ク社會ノ不良ノ分子ヲ探知シ
 テ、全ク之ヲ排除シ、少シモ之ヲ兒童ニ近ヅカシメザルコト
 ハ、如何ナル機敏ノ教育者ニテモ、爲シ難キ所ナルベシ。且人

教育者ノ
責任

事ニ關スル社會ノ事業ハ、唯教育ノミニ非ズ、政治、宗教ノ如
 キモ、皆人類ノ進歩、社會ノ開化ニ大ナル關係ヲ有スルヲ以
 テ、若シ其ノ政治、生命、財産ノ安全ヲ保持スルニ足ラズ、邪教
 ノ力人心ヲ昏迷スルガ如キコトアラバ、教育者ノ業務ハ、少
 カラザル障礙ヲ被ルニ至ルモノトス。
 斯クノ如ク教育ハ、實地ニ之ヲ行フニ當リ、種々ノ障礙ヲ受
 ケテ、勢力ヲ限制セララルハ免ルベカラザル所ナルヲ以テ、
 或ル場合ニ於テ、教育ノ力ノ不完全ナルヲ見テ、直ニ之ヲ
 獨リ教育者ノ責ニ歸スルハ、當ヲ得タルモノニ非ズ。兒童ノ
 心身ノ特質及ビ其ノ外圍、特ニ其ノ常ニ接スル人ノ性質ト、
 一般ノ社會ノ状態トニ關シテハ、教育者ノミノ力ニテ如何
 ントモナシ能ハザルモノアルヲ察セザルベカラズ。然レド
 モ教育者ハ、亦常ニ周到ナル觀察ヲ怠ラズ、諸科學ノ補助ヲ

得、他ノ社會的事業ト相提携シテ、常ニ限界ヲ超越シ、個人ノ發達、社會ノ改良ノ上ニ、最大勢力ヲ及サンコトヲ勉ムベキハ、言ヲ俟タザルナリ。

四、教育ノ學

教育ノ實行ト其ノ理論

教育ノ實行ハ、遠ク其ノ理論ニ先立テリ、人ガ其ノ子ニ或ル技能ヲ習得セシメ、其ノ適當ト考フル所ニ從ツテ之ヲ導クコトハ、現ニ未開ノ社會ニ於テモ見ル所ニシテ、太古ノ人モ、之ヲナシタルコト疑ナシ。而シテ斯ク導クコトニ就キテ、或者ハ獨特ノ長所ヲ有シ、教育ノ術ヲ會得シタルコトアルベケレドモ、吾人ハ未ダ教育ノ理論ヲ見ル能ハズ、其ノ目的トスル所、其ノ爲ス所、單ニ個人ノ任意、手練ニ歸スル間ハ、理論ト云フベキモノノ存セザルコト明カナリ。人ハ如何ナルモノナルカ、如何ニ發達スベキモノナルカ等ノ問題ニ基キ、教

目的ト學法

育ノ目的又ハ方法ノ考察セララルルニ至リテ、始メテ教育ノ學理ヲ見ルニ至ルモノトス、而シテ斯カル考察ノ大ニ進ムニ至リシハ、十七世紀頃ニシテ、吾人ハユメニウスヲ以テ最初ノ科學的教育學者ト稱ス。

教育學ハ、即チ一ニハ目的ノ學ニシテ、一ニハ方法ノ學ナリ、理想ヲ實顯スルニ就キテノ規範ヲ定メントシ、至高ノ目的ニ達スル段階タル多クノ個個ノ目的ヲ明カニセントシ、又人性ヲ究メ、其ノ發達ノ順序ヲ觀テ、以テ理想ヲ實顯シ、目的ニ到達スル道ヲ明カニセントス、而シテ斯クノ如キ研究ノ方法ハ、他ノ科學ニ依ルコトト、實地ノ觀察經驗ニ基クコトトニ在リ。教育學ノ基礎タリ補助タル科學ニ就キテハ、次項ニ於テ之ヲ論ズルコトトシ、今特ニ第二ノ點ニ就キテ一言セントス。

教育ハ實地ノ業務ナリ、故ニ其ノ理ハ勿論實行上ノ指導タルヲ要シ、漠然虚空ノモノタルベカラズ、サレバ之ヲ單ニ他ノ科學ヨリ推究的ニ決定セントスルハ誤レリ。吾人ハ一ニハ社會ノ歴史的發達ヲ見、古代ヨリ國ノ盛衰浮沈ニ伴ヒテ、教育事業ノ消長セシ有様、國家ノ他ノ諸制度ノ變動及ビ哲學上倫理上ノ學說ノ變遷ニ伴ヒ、教育ノ目的及ビ方法ニ關スル考ニ差異ヲ生ゼシコト等ヲ明カニスルヲ要ス。總ベテ當今ノ進歩ハ、前代ニ基クテ以テ、當今ノ事物ヲ研究セントスルニハ、必ず前代ニ遡ルヲ要スル如ク、教育ニ於テモ、其ノ淵源甚ダ遠ク、之ニ關スル格言及ビ學說モ、古ヨリ幾多ノ變更ヲ受ケシコト明カナルヲ以テ、其ノ理ヲ定ムルニハ、是非トモ其ノ歴史的觀察ニ依ラザルベカラズ、而シテ斯カル攻究ハ、教育史ノ務トスル所ニシテ、教育史ハ即チ教育學ノ重

要ナル部分ヲナスモノナリ。吾人又次ニハ、大ニ現時ノ狀況ヲ考ヘ、國情ヲ察シ、且人性ノ必要ヲ觀テ、又ニ最モ適當ナル目的ヲ定メ、之ヲ達スルニ必要ナル材料又ハ方法ヲ心理的ニ攻究シ、其ノ實地ノ效果ヲ試驗シテ、以テ成ルベク廣ク通ズル法則ヲ發見スルコトヲ勉メザルベカラズ。故ニ教育者ハ、無益ノ推究ニ時ヲ費スコトナク、不活潑ニ他ノ科學者ノ研究ノ結果ヲ待ツコトナク、自ラ進ンデ、實地ニ就キテ種種ノ經驗ヲナシ、以テ理論ヲ歸納スルコトヲ勉ムベシ。其ノ根據トスル材料益多ク、其ノ觀察益精細トナルニ從ヒ、其ノ理ハ益正確ニシテ、廣ク通ズルモノトナルハ、自然ノ理ナリ、實地價值アル教育ノ理ハ、斯クシテ始メテ定立スルモノトス。

五、教育學ノ他ノ科學トノ關係

教育學ハ、經驗ノ學ナリト雖モ、他ノ學ニ於テ、既ニ決定セラ

レタル理ヲ參考スルコト亦少カラズ。而シテ多クノ教育者ハ、倫理學ト心理學トヲ教育學ノ重ナル補助科學トナセリ、倫理學ハ、人生ノ目的、人類ノ行爲、義務ヲ明カニスルモノナレバ、目的ノ學トシテ、教育學ノ之ニ依ルコトハ明カナリ。然ルニ有ルベキ所ヲ實顯セントスルニハ、現ニ在ル所ヲ基トシテ進マザルヲ得ズ、目的既ニ明カナルモ、心的作用ノ性質及ビ其ノ發育ノ理不明ナレバ、如何ニシテ人ヲ導クベキカナ知ル能ハザルヲ以テ、方法ノ學トシテ、教育學ハ心理學ニ待ツ所多シ。然レドモ教育學ヲ單ニ倫理學若シクハ心理學ノ一部ト見做シ、或ハ教育ヲ倫理・心理ノ進歩ニ伴ヒテ自ラ發達スルモノトシテ、教育學ニ固有ノ研究ノ範圍ナシト考フルハ誤レリ。倫理學ハ、行爲ノ目的ヲ與フルモノナレドモ、如何ニ之ヲ達スベキカナ説カズ、善ノ何タルヲ論ズレドモ、

教育學ト
倫理及ビ
心理外ノ
補助科學

之ニ依ツテ人ヲ陶冶スル道ヲ明カニセザルナリ。心理學ハ、單ニ事實ヲ明カニスルモノニシテ、規範ヲ決定セズ、如何ナル能ヲ發達セシメ、如何ナル性ヲ抑制スベキカナ論ズルモノニ非ズ。是等ノ學ノ顧ミザル所ハ、即チ教育學ノ研究スベキ範圍ニ屬ス。

教育學ハ、即チ應用ノ學ニシテ、目的ヲ實顯シ、規定ヲ實行セシムルガ爲メニ、心理的法則ヲ使用スルモノナリ、而シテ其ノ目的トスベキハ、單ニ善ノミナラズ、眞モ美モ、之ト並ンデ人生ニ價值アルモノナレバ、倫理學ノミナリ以テ其ノ基礎トスルハ不可ナリ。教育ハ美感ヲ養成セントスル點ニ於テハ、美學ニ依リ、又正シキ思想ヲ發展セシメ、眞理ヲ好ム精神ヲ練ラントスルニ就キテハ、論理學ニ依ル所少カラズ。其ノ他教育ハ社會ノ一事業トシテ、他ノ社會的事物ト連關シテ、變遷發

達スルモノナレバ、歴史及ビ社會學トモ關係シ、又身體ノ養護育成ニ注意スルニ就キテハ、生理・衛生等ノ學ノ說ク所ヲ參考スルコト多シ。故ニ深ク教育ノ學理ヲ究メントスルモノハ、右ニ掲ゲタル諸學ヲモ兼修シ、是等ノ諸科學上ノ學理ノ變遷發達ニ對シテ、深ク注意センコトヲ要ス。

六、教育ノ術

一般ニ理論ハ概通ノモノニシテ、個個ノ場合ニ於ケル特別ノ差異ヲ見ズ、從ツテ例外アルヲ認ムト雖モ、實行ハ常ニ特殊ノ場合、特殊ノ材料ニ關ス。教育ニ於テモ亦然リ、教育者ハ、特別ノ個性ヲ有スル兒童ヲ或ル事情ヲ有スル社會ニ於テ取扱フモノナレバ、兒童ノ外貌舉動ヲ觀テ、直チニ其ノ意思感情ヲ推察シ、事情ニ應ジテ、迅速ニ最モ適當ナル處置ヲ行フノ技術ヲカルベカラズ、之ヲ教育上ノ手練ト稱ス。而シテ

教育上ノ
手練ト稱ス
育ノ理論

是ハ天性ニ歸スルコト多ク、古語ニ「教育者ハ、成サレタルモノニ非ズシテ、生マレタルモノナリ。」ト云フコトアリト雖モ、他ノ術ニ於ケルト同ジク、他人ノ模範ニ倣ヒ、又自己ノ工夫ニ由リ、實地練習ヲ重ヌル結果トシテ、達セララル所トス。ツイツ曰ハク、「或ル特別ノ場合ニ於テ、生徒ノ上ニ顯レタル著シキ點ヲ急速ニ知得シ、正シク之ヲ結合連關シ、種種ノ事情ヲ其ノ價值ニ應ジテ適宜ニ顧慮シ、理論的考察ヲ速カニ且巧ミニ實地ニ行ヒ、場合ニ應ジテ、必要ナル變更ヲナシ、時ノ損失ナクシテ、確實ニ遂行スルコト等ハ、教育ノ術ニ屬スルモノニシテ、是ハ唯實地練習其ノモノニ於テ、且其レニ由リテノミ達シ得ラルベキモノナリ。」ト、吾人ハ此ノ言ヲ信ズト雖モ、之ガ爲メニ理論ヲ輕視スルハ不可ナリトス。理論ハ多クノ經驗ノ基礎ニ於テ定メラレタルモノナレバ、個人ノ經

驗ヲ補フコト少カラザルベシ、假令教育上ノ神才アル人ニ
 テモ、最初ヨリ自ラ經驗ヲナスコトト、他人ノ既ニナシタル
 經驗ニ依リ、又其ノ經驗ヨリ抽出セラレタル理論ニ從フコ
 トトノ孰レヲ便利トスルカハ、云ハズシテ明カナリ、況ヤ尋
 常ノ才ヲ有スルニ過ギザルモノナヤ。理論其ノモノハ、固ヨ
 リ教育者ヲ作ルニ足ラズ、巧ミニ教育スル人、必ズシモ理論
 ニ精通スル人ニ非ズ、且又理論ハ、往往極端ニ走り誤謬ニ陷
 ルコトアリテ、古來不當ノ理論ヲ述ブルモノ少カラズ、唯其
 ノ實地ノ運用ヲ考ヘ、實驗上ヨリ其ノ誤謬ヲ正スニ由リテ、
 始メテ之ヲ精美ナラシメ得ルモノナリ。然レドモ正シク之
 ヲ試驗シ得ルニハ、先ヅ理論ノ基礎ヲ要ス、理論ハ實地爲ス
 ベキコトニ付キテ、豫メ大體ノ見當ヲ定メシメ、又實地ノ經
 驗ヨリ得タル所ニ付キテ、正當ノ解釋ヲ加ヘシメ、從ツテ實

行者ナシテ疑惑スル所ナクシテ、確信斷行スルヲ得シム。若
 シ唯實習ノミヲ勉メテ、理論ヲ學ブコトヲ怠ルモノハ、機械
 的的教育者タルヲ免レザルベシ。故ニ吾人ハ「理論ノ、實驗ヲ支
 配スルハ至當ニシテ、實驗上不都合ノ點アレバ、理論ハ之ヲ
 矯正セザルベカラズ。」ト云フザーステ、ルウエツヒノ言ヲ正
 當ト考フルモノナリ。

第一篇 教育ノ目的

第一章 教育ノ目的ニ就キテノ異說

人生觀ノ
變遷

古來異ナル時代ニ於テハ、異ナル人生觀ヲ生ゼリ、是後代ガ、前代ノ缺ヲ補ヒ弊ヲ正サントシテ、其ノ極端ニ走り、再ビ反動ヲ生ゼシメタルニ歸ス。又異ナル國民間ニ、異ナル理想ヲ生ゼシメタルコトモ事實ナルガ、是ハ其ノ自然的及ビ歴史的事情ノ異ナルニ因レリ。是ニ由ツテ教育ノ目的ニ就キテモ、多クノ異ナル考アリ、次ニ其ノ重ナルモノヲ舉ゲン。

實利主義

實利ヲ目的トスル教育 是ハ人ヲシテ成ルベク早ク獨立ノ生活ヲナシ、以テ個人トシテ大ナル幸福ヲ得、且社會有用ノ人物タラシメント欲シ、從ツテ實業ニ關スル學科ニ重キヲ置キテ、實用上ノ知識技能ヲ授ケ、教育ヲシテ早クヨ

宗教主義

リ實地ノ準備タラシメントスルモノナリ。
宗教的教育 是ハ現世ヲ解脱シテ、彼岸ニ到達スルヲ、人生ノ目的トスル宗教思想ニ依ルモノニシテ、現世ニ於ケル苦樂ヲ輕視シ、身體ノ必要ヲ制シ、以テ精神ヲ清淨ニシテ、未來ノ生活ニ適セシメントスルモノナリ。

自然主義

自然的教育 人性ハ其ノ自然ノ儘ナレバ、善ナルモノト豫定シ、而シテ教育ノ影響ヲ消極的トシ、唯幼者ノ自然ノ發育ヲ妨害スルモノヲ排除スベキモノトス。

審美主義

美ヲ目的トスル教育 實利ノ爲メニ學問スルヲ陋トシ、人ノ價值ヲ、氣韻ノ高クシテ、嗜好ノ優美ナル點ニ置キ、實用的知能ヲ進ムルヲ勉メズシテ、諸能力ノ調和的發育ヲ主トシ、特ニ美術文學ヲ教育ノ重ナル材料トナサントスルモノナリ。

道德主義

道德ヲ目的トスル教育 是ハ道德ヲ以テ人生ノ最モ
貴重スベキモノトシ、而シテ道德ノ要素ヲ意思ニ置キ、教育
ニ由リテ、確乎タル道德的意思ヲ發達セシメントスルモノ
ナリ。

諸主義ノ
長短

以上ノ諸説ハ、各多少採ルベキモノアレドモ、一方ニ偏スル
時ハ、何レモ正當ト云フベカラズ。教育ヲ實地生活ノ必要ニ
應ズルモノトスルハ可ナリト雖モ、根據ヲ作ラズシテ、早ク
ヨリ特別ノ知能ヲ進メ、多クノ利ヲ得シムルコトヲ目的ト
スル時ハ、往々輕浮賤劣ノ人ヲ生ジ、拜金ノ風ヲ盛ナラシム
ルニ至ルベシ。又吾人ハ、人生ニ於ケル宗教ノ價值ヲ認ムト
雖モ、教育上現世ノ利害、身體ノ必要ヲ輕視スル能ハザルハ
勿論ナリ。自然的教育ヲ主張スルモノハ、「自然」ノ意義ヲ解ス
ルコト明瞭ナラズ、今若シ自然ノ發育トハ、人ノ具フル總ベ

テノ性質ノ發育ヲ自然ニ任スコトヲ意義ストセバ、是殆ト
教育ヲ不要ト云フト同義ナリ。然ルニ若シ心理ノ法則ニ從
フチ自然ト云フトスレバ、則チ教育ノ方法ヲ定ムル上ニハ、
必要トスベキモ未ダ其ノ目的ヲ示スニ足ラズ。次ニ人格ヲ
高尚優美ニシ、又堅固ナル道德的意思ヲ發達セシムルコト
ハ、教育ノ要務タルニ相違ナシ、然レドモ之ガ爲メニ、吾人ハ
知識ヲ賤シミ、實用的技能ノ練習ヲ排斥スルヲ得ズ、殊ニ美
ハ往往奢侈怠惰ノ風ヲ伴ヒ來リ、窮屈ナル道德主義ハ、人ノ
一舉一動ヲ規定シテ、其ノ天真爛漫ノ性ヲ滅殺シ、乾燥ナル
氣質ヲ生ゼシメントスル恐アリ。斯カル傾向ハ、教育上皆矯
正ヲ要スル所トス。斯クノ如ク一方ニ偏スル論ハ、總ベテ多
少ノ弊ヲ生ズベキモノニシテ、其ノ弊ハ、又屢實地ニ經驗セ
ラレタル所ナリ。サレバ吾人ハ時勢ノ變遷ヲ考へ、諸説ノ誤

レル點ト探ルベキモノトヲ區別シ、前代ノ經驗ヲ基トシ、其ノ失敗ニ鑒ミテ、正シキ目的ヲ定メザルベカラズ。

第二章 教育ト生活

生存競争

教育ハ實地生活上ノ必要ニ應ズベキモノナリ、生存競争ハ、古來常ニ行ハレタレドモ、今日ニ於テハ、益其ノ烈シキ形ヲ取ルニ至リ、人ヲシテ繁忙ナル業務以外ニ立テテ、獨リ靜カニ安逸ニ耽ルコトヲ得ザラシム。此ノ時ニ當リ、人ヲシテ此ノ競争ニ應ジテ、敢テ敗レザルニ至ラシムルコトノ必要ナルハ無論ナレバ、吾人ハ教育上、此ノ目的ヲ以テ、先ヅ幼者身體ノ發達ノ良カラシムコトニ注意ス。現今ノ人ハ、其ノ職務假令身體的ノモノニ非ズトモ、衛生及ビ體育ニ就キテ、特別ノ養護鍛鍊ヲ要スルコト大ナリ、其ノ生活上必要ナル心的活動ヲ保持シ得ルハ、實ニ此ノ基礎ニ依ルモノトス。知力ノ大

生存競争ノ弊

ナル發達モ、亦現時ノ社會ニ必要ナリ、知識ハ力ナリト云フ語ハ、今日ニ於テモ正當ト見做スベキ所ニシテ、人事ノ關係益複雑トナリ、生活上ノ業務益困難トナル時ニ於テハ、鋭敏ナル知覺ヲ以テ、自然及ビ一般外界ノ現象ヲ其ノ細微ノ點マデ觀察シ、善キ記憶ヲ以テ、種種ノ印象ヲ保持シ、正シキ思考力ヲ以テ、其ノ觀察シ記憶スル所ヲ、生活上ノ目的ノ爲メニ利用スルコトノ益必要ト感ゼラルルハ自然ノ理ナリ。斯クノ如ク教育ハ、生活上ノ競争ガ要求スル活力ヲ發達セシメントスルモノナルガ、人ハ單ニ生活センガ爲メニ爭フベキモノニ非ズ、則チ競争ノ結果トシテ、價値アルモノヲ收得シテ、高尚ナル満足ヲ生ズルニ至ラザルベカラズ。人ヲシテ競争ノ爲メニ全力ヲ消費セシメ、生活ハ爭ヲ以テ始リ爭ヲ以テ終ル如ク感ゼシムルハ、甚ダ危險ナリ。故ニ吾人ハ、幼

生活上ノ
高尚ナル
興味

學習ノ興
味

者ヲシテ生存競争ニ耐ヘシメントスルト同時ニ、又生活ノ
 價値ヲ感シテ、其ノ争フニ足ルコトヲ覺ラシメンヲ要ス。而
 シテ眞ニ生活ヲ貴重スベキモノトナスハ、物質上ノ利益ニ
 モ非ズ、欲情ノ満足ニモ非ズシテ、理想ノ發達、高尚ナル興味
 ノ惹起ニ在リ。故ニ吾人ハ、教育ニ於テ、此ノ高尚ナル精神上
 ノ財産ヲ得シムルコトヲ務メザルベカラズ。
 人ノ高尚ナル精神上ノ働ニハ、種種アレドモ、之ヲ大別スレ
 バ三トナル。宗教上ノ興味、學習ニ就キテノ興味、審美的興味
 是ナリ。而シテ教育ニ於テ特ニ注意スベキハ、後ノ二者ニ在
 ルヲ以テ、次ニ之ニ就キテ一言セントス。
 學習ニ由リテ知能ヲ啓發スルコトノ、實地世ニ處スルニ付
 キテ必要ナルコトハ、既ニ述ベタリ。然レドモ吾人ハ、尙事物
 ヲ認識シ、眞理ヲ追究スル働トシテ、學習ノ大ナル價値ヲ認

ム、斯カル働ハ、實ニ幸福ナル人ニハ、高尚ナル粧飾トナリ、不
 幸ナル人ニハ、其ノ憂苦ヲ慰撫スルニ足レリ、且人ハ此ノ働
 ニ由リテ、自然界及ビ人類界ノ理ヲ明カニスルモノナレバ、
 迷信ヲ去リ、偏見ヲ正シ、闇愚ヨリ生ズル不當ノ行爲ヲ防グ
 ニ足レリトス。人或ハ云ハン、學ヲ好ミ眞理ヲ愛スルコトハ、
 一身ヲ科學ニ委スルモノノ始メテ能クスル所ニシテ、普通
 ノ人ニ之ヲ望ムハ過當ナリト、然レドモ學習ノ興味トハ、單
 ニ高尚ナル學理ノ研究ノミヲ指スニ非ズ、一般ニ知ヲ磨キ
 疑ヲ解カントスル傾ヲ指スモノニシテ、斯クノ如キ働ハ、普
 通ノ人ニ於テモ、大ニ必要トスル所ナリ。下層社會ノモノガ、
 其ノ勞動ノ餘暇ニ於テ、有益ナル書類ヲ購讀シ、或ハ教師ニ
 就キテ、講演ヲ聽キ疑ヲ質シ、或ハ會合ヲ催シテ、意見ヲ交換
 スルガ如キハ、實ニ喜ブベキ現象ニ非ズヤ。

美ニ對スル嗜好ヲ進ムルコトモ、人ヲシテ其ノ樂ヲ高尚ニシ、其ノ心身ノ勢力ヲ野鄙ナル慾情ノ満足ノ爲メニ消費セシメザル上ニ於テ、大ニ必要トスル所トス。而シテ美術ハ、單ニ上流社會又ハ之ニ就キテ特別ノ才能アルモノノ私有財產トシテ視ルベキモノニ非ズ、一般人民ノ共同ノ所有トシテ、共ニ樂シムベキモノナリ。故ニ吾人ハ下層ノ人ニモ、其ノ休養ノ時ニ於テ酒色ニ沈溺セズ、音樂ヲ聽キ、文學、繪畫ヲ樂シマシメンコトヲ勉メザルベカラズ、此ノ事ハ、一般ニ社會ノ嗜好ノ益粗野ニ流レントスル時ニ於テ、特ニ必要トスル所ナリ。サレバ吾人ハ、小學ノ教育ニ於テモ、美術ニ關スル教材ヲ授ケ、是ニ由リテ幼者ノ技能ヲ練習シ、以テ正シキ美的嗜好ヲ養成セントス。是美術ノ眞ノ價值ヲ感シ得ルニハ、自ラ之ヲ試ムルヲ必要ノ條件トスレバナリ。

第三章 教育ト道德

前章論シタル所ニ由レバ、教育ハ生活上ノ高尚ナル興味ヲ惹起スルニ由リテ、生活ヲ價值アルモノト感ゼシメ、以テ此ノ世ニ於ケル生存ヲ競ハシメントスルモノナリ。然レドモ是ノミニテハ、教育ハ競爭ヲシテ常ニ益烈シカラシムルニ過ギズ、何ントナレバ人ハ教育ノ普及ニ由リテ、益多ク競爭シ得ル状態ニ導カルルヲ以テナリ。斯クノ如キハ、個人ノ爲メ又社會ノ爲メ、決シテ喜ブベキコトニ非ザルガ故ニ、吾人ハ次ニ生存競爭ヲ寬ニシ、之ヲ制限スルコトヲ勉メザルベカラズ、人ハ一方ニテハ競爭ストモ、他方ニテハ又相扶持シ相協力シテ、以テ相互ノ進歩ヲ計ルベキモノナリ。動物ノ群ニ就キテ見ルモ、共同ニ服従スベキ規律アルモノノ如ク、其ノ一個體ハ、自己ヲ制シテ、全體ト一致ノ運動ヲナシ、場合ニ

道德ト意

由リテハ、他ノ爲メニ一身ヲ犠牲ニスルコトアリ、況ヤ人類
 界ニ於テ此ノコトナクシテ可ナランヤ。サレバ人ヲシテ倫
 理ヲ明カニシ、之ニ因ツテ身ヲ修メ、徳性ヲ發達セシムルハ、
 總ベテノ代ニ於テ必要トスル所ナリ。殊ニ人ヲシテ相隔離
 セシメントスル強キ傾ノ、一方ニ存スル時ニ於テハ、大ニ此
 ノ點ニ注意センコトヲ要ス。

人ノ道德ヲ進歩セシムルコトノ、教育ノ一大目的タルコト
 ハ、多言ヲ要セズ、而シテ道德ニハ、意思ヲ最モ重ナル要素ト
 ス。倫理ヲ辨へ、善惡ノ區別ヲ知ルコト、及ビ善ヲ好ミ惡ヲ嫌
 フコトモ、道德發達ノ條件タルニ相違ナケレドモ、是ノミニ
 テハ、決シテ道德ヲ生ゼズ、倫理ニ反シテ、惡ナルガ故ニ、拒避
 スベク、善ニシテ貴重スベキモノナルガ故ニ、之ヲ遂行スベ
 シト云フ決意ニ由リテ、實際ノ行爲ノ動クニ至リ、茲ニ始メ

國家主義
ト世界主義

テ道德ト稱スベシ、是德育上特ニ意思ノ陶冶ヲ必要トスル
 所以ナリ。

右ニ述ベタル如ク、教育ハ人ヲシテ能ク其ノ務ヲ盡スニ至
 ラシムベキモノナルガ、人ハ各皆人類社會ノ一員タリ、而シ
 テ之ト同時ニ、又特別ノ國家ニ屬スルモノナルヲ以テ、教育
 上ニモ、世界主義ト國家主義トノ區別ヲ生ズルニ至レリ。世
 界主義ハ、世界ヲ一體トシテ、國國ノ差別ヲ見ズ、人ヲシテ、人
 類トシテ其ノ當ニ爲スベキ所ヲ行ハシメントシ、國家主義
 ハ、人ヲ國民ト視テ、先ヅ國民タル務ヲ盡サシメントス。兩者
 共ニ採ルベキ點ヲ有スレドモ、極端ニ走ルニ至リテハ、共ニ
 弊害アルヲ免レズ、前者ノ弊ハ、國體ヲ重ンゼズ、國ノ特別ノ
 事情ヲ考ヘズ、他國ニ於テ正當ナルモノハ、事情ノ相違アル
 ニモ關セズ、直チニ之ヲ我ニ移サントシ、或ハ猥リニ他ヲ羨

ミ他ヲ貴ミ、求メテ自己ヲ卑屈ニスル等ノ諸點ニ在リ。又國家主義ヲ唱フルモノハ、往往固有ノ事物ニ執着シ、他國ノ例ヲ模範トシテ改良ヲ計ルヲ卑屈ト考ヘ、井蛙ノ見ヲ以テ他國ヲ卑シミ、他國ノモノヲ敵視スルガ如キ弊害ニ陷ルニ至ル。現今ノ多クノ國ハ、多少其ノ發達ノ道ヲ異ニシ、特別ナル歴史的事情ニ基ク状態ヲ有スルモノナレバ、一國ノ利害得失ハ、必ズシモ他國ノ利害得失ト同ジキ能ハズ、故ニ個個ノ國內ニ行フ教育ハ、國家ノ特質、人民ノ習慣及ビ進歩ノ程度等ニ注意シ、特別ナル國風ヲ後進者ニ傳ヘ、之ヲシテ能ク國家ノ要求ニ應ジ、國風ヲ貴重シ、且其ノ改良進歩ヲ計ラシムルコトヲ要ス。此ノ意味ニ於テハ、教育ハ則チ國家的タルベキモノナリ。然レドモ人類トシテ、吾人ハ互ニ相助ケ、禮義ヲ重シ、高尚ナル思想ヲ交換スル上ニ於テ、彼我ノ差別ヲ立

テズ、狹隘ナル牆壁ヲ設ケズ、度量ヲ大ニシ、廣ク人類ノ進歩ヲ計ルコトヲ要スルモノナレバ、眞ノ國家的教育ハ、狹量ナル人物ヲ養成スベキモノニ非ズ。又萬國ノ交通頻繁トナリ、業務上ノ關係一層親密ヲ加ヘタル今日ニ於テハ、吾人ハ人ヲシテ其ノ働ク場所ヲ世界ニ求メシメザルヲ得ズ。故ニ眞ノ國家的教育ハ、人ヲシテ狹隘ナル範圍ニ籠居セシメズ、能ク世界ノ舞臺ニ立ツノ勇氣アラシメントスルモノニシテ、是畢竟國威ヲ發揚シ、國力ヲ増加スル道ニ外ナラザルナリ。

第四章 教育ノ特殊ノ目的

一般ニ教育ノ目的トスベキ所ハ、既ニ述ベタリ。然ルニ個人ノ状態ノ均シカラザルト、人事ノ煩多、社會ノ複雑ナルトニ由リ、其ノ間ニ行フベキ教育ハ、一般ノ目的ニ附加スルニ、特別ノ事情ニ應ズル特別ノ目的ヲ立テザルヲ得ズ、因ツテ今

人ノ能力
ト其ノ地
位

左ニ其ノ事情ノ最モ著シキモノヲ舉グベシ。

(二) 社會ノ階級 社會ニ階級ノ別アルハ免ルベカラザル所ニシテ、人ノ能力ヲ一樣ニシ、貧富ノ差異ヲ絶テ、諸人ノ運命ヲ同一ニセザル以上ハ、到底之ヲ消滅セシムルコト能ハザルベシ。故ニ一時人工的ニ階級ヲ絶滅シ得ト假定スルモ、直チニ再ビ下層ノ地位ニ立ツモノ、中等ノ業務ニ從事スルモノ、及ビ社會ノ上流ニ立ツモノノ區別ヲ生ズルハ明カナリ、是啻ニ自然ノ勢ナルノミナラズ、社會ノ進歩上、又最モ必要ノコトトス。社會ハ、上流者ノミニテ成立シ得ルモノニ非ズ、下層ニ立ツ勞動者ノ如キモ、亦必須ノモノタルニ相違ナク、善良ノ性質ヲ有シ、熟練ニシテ且能ク其ノ務ヲ守ル勞動者アルハ、社會ノ爲メニ甚ダ賀スベキコトトス。故ニ教育ハ、被教育者ノ能力及ビ社會ノ階級ヲ斟酌シテ、相應ナル方針

ヲ決シ程度ヲ定ムルコトヲ要スルモノニシテ、強ヒテ資財ナク才能ナキ子弟ヲ驅ツテ、學者トナリ政治家トナルニ必要ナル素養ヲ受ケシムル時ハ、志望ノミ高尚ニシテ、實力足ラザル人ヲ生ズルニ至ルベシ。而シテ此ノ種ノモノハ、一方ニ於テハ、其ノ力ニ應ジタル普通ノ業務ニ就クヲ欲セズ、他方ニ於テハ、固ヨリ其ノ志望ヲ満足スル地位ヲ得ル能ハザルヲ以テ、終ニハ不平不満ノ情ヲ有スル無頼ノ徒トナルニ過ギズ、個人ノ上ヨリ見ルモ、社會ノ上ヨリ見ルモ、危険コレヨリ甚ダシキモノナカルベシ。故ニ吾人ハ、教育ノ普通ノ基礎ヲ置キタル後ハ、尋常ノ地位ニ立ツベキモノニハ、之ニ最モ適切ナル教導ヲ行ヒ、中等以上ノ位置ニ進マントスルモノニハ、一層深キ基礎的陶冶ヲ受ケシムルヲ至當ノ順序トス。

男女ノ性
職務ト其ノ

四二
二 男女ノ別 男子ト女子トハ、其ノ體格ノ異ナルガ如ク、性質ヲモ異ニスルモノニシテ、教育ノ時期間ニ於テ、既ニ其ノ差異ヲ認メ得ベク、而シテ此ノ差異ハ、彼等ノ實地取ル所ノ生活ノ事業ニ區別ヲ生ゼシム。男子ハ、通常生存競争ノ正面ニ立テ、外ニ働キ、公共ノ業務ニ從事シ、一家ノ主トナリテ、其ノ家族ヲ養フ任ヲ有スルモノニシテ、其ノ强健ナル身體ハ、能ク心身ノ勞動ニ適シ、其ノ深厚ナル思考ハ、能ク永遠ヲ察スルニ足り、容易ニ感動セズシテ、熟慮決行ノ能ノ、比較的優等ナルハ、之ヲシテ難事ニ當ルニ便ナラシムルモノナリ。女子ノ働ハ、主ニ男子ノ得タルモノヲ保持シ、家内ノ事務ヲ處理スルニ在リテ、其ノ體格ノミナラズ、心モ亦之ニ適ス。一般ニ女子ハ、深慮遠謀ヨリモ、寧直觀的知識ニ富ムモノト云フベク、其ノ思考及ビ意思ヲ現ニ感知スル所ノモノニ就キ

地方ノ事
情ト教育

テ働カシムルコト多ク、又容易ニ感動シ、且其ノ感ズル所ヲ深ク心ニ銘スル傾アルガ如キハ、皆能ク神速ニ廣ク細事ヲ會得シ、親切丁寧ナル仕事ヲナスニ適スルヲ示スモノトス。而シテ男女ヲシテ各其ノ特質ヲ保存セシメ、各其ノ長ズル所ニ從ツテ働カシムルコトハ、個人ノ上ヨリ見ルモ、社會ノ上ヨリ見ルモ大ニ希望スベキ所ナレバ、初等ノ教育ニ於テ、男女兒ヲ共同ニ教育スル場合ニ於テモ、其ノ取扱上、多少ノ斟酌ヲ加ヘ、其ノ生長スルニ從ツテ、益深ク此ノ點ニ注意セシコトヲ要ス。

三 土地ノ狀況 一國內ニ行フ教育ハ、其ノ大體ノ方針ヲ一定スベキハ勿論ナリ、然レドモ同一ノ國ニ於テモ、異ナル事情ヲ有スル土地アリ、又特別ノ狀況ヲ有スル團體アルヲ以テ、教育モ、亦之ニ適應セザルベカラズ。農業地ノ教育ハ、後

來農業ニ從フモノノ便利ヲ計リ、商業地ノ教育ハ、後ニ商人
タルモノニ有效ナラシメントスルガ如キハ、普通教育ニ於
テモ、尙大ニ注意スベキ所トス。

第二篇 教育ノ方法

第一章 教授

第一節 教授ノ目的

知識ノ必
要

教授ハ、主ニ知識技能ヲ發達セシメントスル教育ノ方法ナ
リ、而シテ何ノ爲メニ知識技能ヲ發達セシムベキカハ、前ニ
述ベタル教育ノ目的ヨリシテ決定シ得ベシ。即チ一ニハ、實
地生活ニ有益ナル知識ト技術トヲ授ケ、二ニハ、倫理的思想
ヲ付與シ、美想ヲ傳ヘテ、美的技能ヲ練習セシメ、三ニハ、自發
的動作ヲ惹起シテ、心力ヲ練磨セシメンガ爲メナリ。其ノ第
一ト第二トハ、傳ヘ知ラシムルコトヲ務メ、知能ニ養料ヲ與
ヘ、其ノ實質ノ増進ヲ計ルモノナレバ、之ヲ教授ノ實質的目
的ト云ヒ、第三ハ、既ニ付與セラレタル知能ヲ活動セシメ、之

實質的
目的式

ナシテ更ニ他ノ知能ヲ習得スル資本タラシメ、大ニ自ラ働カントスル意氣ヲ養成スルヲ務ムルモノナレバ、之ヲ教授ノ形式的目的ト云フ。

教授ノ實質的目的ノ必要ナルハ明カナリ、近來自然ニ關スル研究大ニ進ミ、其ノ法則ヲ應用スル道ノ大ニ開ケタルコトト、人事ノ複雑ニシテ、兒童ノ後來取ルベキ職務ノ同一ナラズ、其ノ自ラ修ムベキ所、及ビ人ニ對シ國ニ對シテ有スル關係ノ複雑ナルコトトハ、自ラ人ヲシテ自然的及ビ社會的事物ニ就キテ、多ク知ル必要ヲ感ゼシムルニ至レリ。サレバ知識技能ノ傳授ハ、實用上ヨリ見ルモ、善良ニシテ高尚ナル人物ヲ養成スル上ヨリ見ルモ、決シテ忽ニスベカラズ、且吾人ハ實質ヲ増加スルコトナクシテ、形式的目的ヲ達スルコト能ハズ、則チ身體ノ力ヲ強メントスルニハ、滋養物ヲ供給

セザルベカラザル如ク、心ヲシテ大ニ自ラ發動セシメントスルニハ、先ヅ其ノ養料タルモノヲ授與セザルベカラザルハ明カナリ。然レドモ之ガ爲メニ、決シテ教授ノ形式的目的ヲ輕視スベカラズ、單ニ個個ノ事實ヲ教ヘ、個個ノ理法ヲ知ラシムルノミニテハ、恰モ金子ヲ空シク箱中ニ藏ムルガ如ク、何ノ價值モアルコトナシ、金子ノ貴キハ、種種ノ事業ノ基トナルニ在ルガ如ク、知識技能ノ貴キハ、之ガ種種ノ場合ニ活用セラレテ、研究ノ基礎トナルニ在リ。サレバ教育上、教授ノ價值ハ、死知死術ヲ授クル上ニ存セズ、一事一物ニ就キテ得タル知識ヲ、他ノ事事物物ヲ研究スル上ニ活用スル力ヲ養成スル點ニ在リト云フベシ、是ヘルバルトガ、多方ノ興味ノ惹起ヲ教授ノ目的トシタル所以ナリ。然ルニ世ニハ一時ノ結果ヲ見テ、人ノ價值ヲ評シ、一學校ト他ノ學校トノ得失

教育的教授

ヲ論ズルモノアリ、從ツテ往往猥リニ許多ノ知識ヲ傳へ、受クルモノノ力ヲ量ラズシテ、徒ニ多ク之ヲ注入セントスル弊ヲ生ゼシメタリ。一時ノ外面ノ知識ハ、斯クシテ與フルコトヲ得トスルモ、之ガ爲メ兒童ノ活氣ヲ殺ギ、教授ニ對スル興味ヲ減却シ、從ツテ學ブ所ヲシテ深ク痕跡ヲ止ムル能ハザラシム。之ニ反シテ、若シ兒童ノ力ニ應ズルモノニ就キテ、大ニ其ノ力ヲ働カシメ、研究ノ興味ヲ養フコトヲ得バ、教フル所ハ多カラザルモ、彼ヲシテ後ニ自力ニ由リテ、大ニ學バシメ得ベシ。故ニ教授ノ實質的目的ハ、常ニ其ノ形式的目的ト並行シ、相待ツテ教授ノ效果ヲ大ナラシムベキモノナリ。實質的目的ト形式的目的トノ能ク調和シタル教授ヲ教育的教授ト云フ、何ントナレバ教授ハ、斯クノ如キ調和ニ由リテ、始メテ能ク教育ノ目的ニ適合スルヲ以テナリ。算術上ノ

知識ヲ得テ、之ガ興味ヲ感シタルモノハ、學校ニ於テ學ビタル所ヲ、日常ノ生活上、計算ヲ立テ金錢ヲ使用シ、又ハ貯蓄スル場合ニ應用セントシ、理科ニ就キテ興味ヲ感シタルモノハ、野ニ出デ山ニ登リ、種種ノ動植物ヲ捕獲採集シテ、自ラ其ノ學ビタル所ニ從ヒ、種種ノ觀察ヲナス志ヲ生ズベシ。之ヲ彼ノ學校ニ於テ強ヒテ教ヘラルルガ爲メ、嫌惡ノ情ヲ有シナガラ、已ムヲ得ズシテ學ビ、自由ヲ得ルニ及ンデ、忽チ之ヲ放棄スルモノニ比スレバ、實用上及ビ學問ヲ好ム傾ヲ生ゼシムル點ヨリ見テ、何レヲ優レリトスルカハ、言ハズシテ明カナリ。又傳ヘラレタル美想、教ヘラレタル美術ニ就キテ、興味ヲ感ズルモノハ、自ラ之ニ倣ヒ、且想像ヲ働カシテ、優美ニ其ノ思想ヲ發表シ、或ハ美麗ナル形ヲ構成スル技藝ヲ練習シ、從ツテ大ニ美的嗜好ヲ進ムルニ至リ、修身科ニ就キテ、興

味ヲ感ズルモノハ、善行ノ實例ニ倣ハントシ、又其ノ學ビタル所ヲ種種ノ場合ニ活用スル道ヲ考へ、或ハ之ニ基キテ、種種ノ人物ノ行爲ヲ判斷シ、以テ其ノ道德的品性ノ發達ニ資スルコト少カラズ、教授上ノ諸學科ハ、斯クノ如ク總ベテ教育的性質ヲ帶ブルヲ得ベシ。ワイツ曰ハク、教授ノ如何ナル科目モ、若シ正當ニ教ヘラルル時ハ、心情ノ發育ニ效能アラザルコトナシ、若シ方法宜シキヲ得ザレバ、如何ナル材料モ、心情ヲ發達セシムルニ足ラザルナリ。ト、故ニ吾人ハ、常ニ教師其ノ人ヲ得、正シキ教授ノ方法ヲ研究シ、以テ教授ヲ常ニ教育的タラシメザルベカラザルナリ。

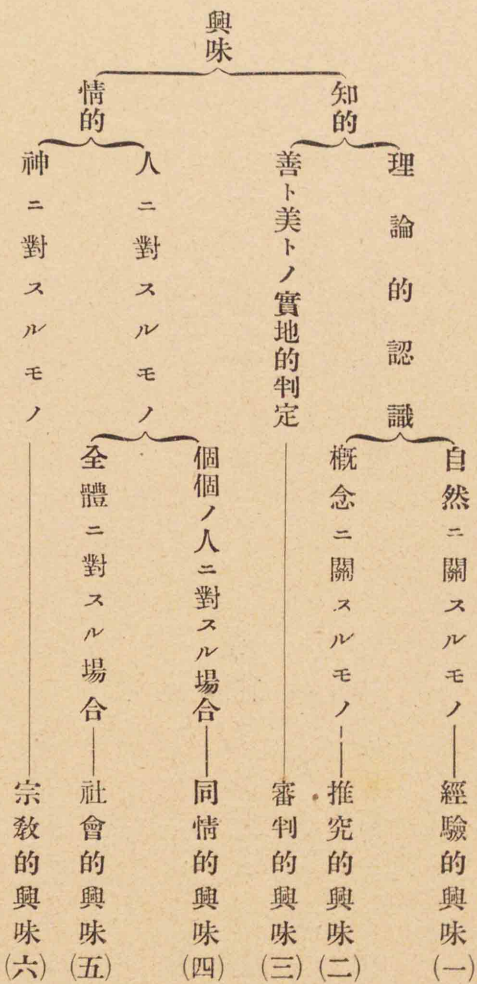
第二節 教授ト興味

興味ノ意義

ヘルバルトハ、興味ヲ以テ、事物ニ連關シテ發スル繼續的自發力ナリトシ、之ヲ一時ノ快情、及ビ無頓着又ハ嫌避ニ反ス

ヘルバルトノ六興味

ル心的状態トセリ。氏ノ考ニ由レバ、興味ハ、教授ノ手段タルモノニ非ズシテ、目的タリ。提示スル教授ノ材料ハ、興味ヲ生ズル手段タルヲ要ス、教フル事柄ハ、一時ニテ消失スルモ、是ニ由リテ生ゼシメラレタル興味ハ、全生活間殘留スベシ。故ニ教フル事柄ヲ明瞭ナラシムルノミニテハ、教育的教授ノ目的ハ達セラレズ、生徒ヲシテ、心ヲ之ニ傾ケ、獨力永ク之ニ關スル研究ヲ續ケントスル熱心即チ興味ヲ生ゼシムルニ至リテ、始メテ其ノ達セラルルヲ見ル、何ントナレバ斯クノ如クナルニ至リテ、教授ハ眞ニ人ノ價值ヲ決定スル意思ノ發達ニ大ナル影響ヲ及シ得ルモノナレバナリ。ト云ヘリ。尙ヘルバルトハ、興味ノ六種類ヲ分テリ、之ヲ表ニテ示セバ左ノ如シ。



第一、經驗的興味トハ、觀察ヲ廣クシ、種種ノ經驗ニ由リテ、知ヲ求メントスル傾向ヲ指スモノナリ。例ヘバ、歴史教授ニ於テ、諸般ノ出來事、諸人ノ功業等ニ就キ、成ルベク詳細ニ種種ノ方面ヨリ之ヲ知ラントスル熱望ヲ生ゼシムルガ如キハ、即

チ經驗的興味ヲ惹起シタルモノト云フベシ。第二、推究的興味トハ、一現象ノ原因、結果ヲ追究シ、諸現象ノ相關ノ理ヲ知ラントスル熱心ヲ指スモノナリ。例ヘバ、兒童ガ、一戰爭ノ起リシ理由、之ガ一國又ハ一社會ノ上ニ來シタル影響等ヲ研究スルヲ喜ブ如キハ、即チ推究的興味ヲ有スルモノト云フベシ。第三、審判的興味トハ、善美ノ觀念ニ基キテ、種種ノ事柄ノ價值ヲ定メントスル傾向ヲ指スモノナリ。吾人ガ忠臣孝子ノ事蹟ヲ讀ミ、敬服贊美ノ念ヲ生ジテ、自然ニ之ニ模倣セントシ、又ハ之ニ反シテ、不忠不孝ノ行ヲ惡ミテ、之ヲ非難スルハ、即チ審判的興味ヲ有スルナリ。第四、同情的興味トハ、他人ノ幸不幸ニ對スル同情ノ發動ヲ指スモノナリ。人ノ薄命ヲ憐ミ、忠臣孝子ノ成功ヲ喜ブガ如キハ、此ノ興味ニ屬スルモノトス。第五、社會的興味トハ、廣ク社會ニ對シ、國家ニ對シ

テ有スル同情的興味ト見做スベキモノナリ。國史ヲ讀ミテ、我ガ國體ノ貴ムベキヲ知り、我ガ同胞ノ共同シテ事ヲナシ、辛苦ヲ經テ、今日ノ有様ヲ來シタルヲ覺リ、廣ク人類ノ進歩、社會ノ繁榮ノ爲メニ盡ス所アラントスルハ、即チ社會的興味ナリ。第六、宗教的興味トハ、因果・應報ノ嚴正ナルヲ知り、世ニハ人力ノ測リ知ルベカラザル大勢力アルヲ覺リ、天命ヲ畏レ天道ヲ敬スル念ノ發動ヲ指スモノトス。

教授ニ於テ、右ノ諸興味ノ惹起セララルルハ、大ニ希望スベキコトナレドモ、教授ノ各科目ハ、勿論、六興味ヲ總ベテ一様ニ能ク生ゼシメ得ルモノニ非ズ。故ニ一方ニ情ヲ動カスニ足ル材料ヲ採ラバ、他方ニ於テハ、靜平ナル考察ヲ要スルモノヲ用ヒ、互ニ相補充セシメテ、以テ心的諸作用ノ圓滿ナル發育ヲ期スベシ。但シ謂ハユル情的興味ヲ生起セシムルニハ、

直接興味
ト間
接興味

教授ノ外ニ、尙大ニ他ノ教育ノ方法ヲ要スルコトニ注意セザルベカラズ。

吾人ハ、又興味ヲ直接ノモノト間接ノモノトニ區別シ得ベシ、教授スル事柄其ノモノガ、能ク心力ニ適シ、一般ニ人ノ早クヨリ有スル學習的本能ヲ滿ス時ハ、直接ノ興味ヲ生ズ、之ニ反シテ、興味ガ材料其ノモノヨリ發セズ、外部ニ之ヲ刺激スルモノアル場合ニハ、則チ間接ノ興味ヲ見ル。例ヘバ、試験賞品ノ如キモノガ手段トナリ、生徒善キ成績ヲ得テ、賞譽ヲ取ランガ爲メニ、勉ムル場合ノ如シ。故ニ吾人ハ、教授上全ク間接ノ興味ヲ排斥スルヲ得ズト雖モ、主トシテ直接ノ興味ノ惹起ヲ目的トシ、之ニ就キテ、教授材料ノ選擇、排列及ビ教授ノ順序ノ研究ニ最モ重キヲ置キ、又他ノ手段ヲ用フル場合ニ於テモ、單ニ之ヲ直接興味ノ補助タラシメンコトヲ要

教授ノ各
進行ト興
味

ス。
興味ハ、常ニ教授ニ件フベキモノナリ、今日興味ナクトモ、後日之ヲ生ズルニ至ルベシト云フコトハ、拙劣ナル教師ノ口實トスル所ニ過ギズ、良キ教師ハ、步步苟モセズ、其ノ教フル時ニ於テ、其ノ授クル事柄ニ就キテ、直チニ興味ヲ發セシムル如ク、意ヲ用フルモノナリ。ゲーテ曰ハク、吾人ハ單ニ目的ニ向ツテ進ムコトヲ以テ満足スベカラズ、各歩其ノモノニ於テ、目的ヲ有セザルベカラズ。ト是教授ノ上ニモ、適切ノ言ト云フベシ。

興味ト勉
強

興味ハ、繼續シテ發スル自己動作ナルガ故ニ、怠惰逸樂ト相反スルモノナリ。或ル教育家ハ、生徒ヲシテ遊ビツ、學バシムルコトヲ要トス云ヒシカド、是誤謬ノ考ナリ。又生徒ニハ、勉メテ業務ヲ輕減シ、平易ナル事業ニ從ハシムベシト云フ

價值ノ理
會ト興味

モノアレドモ、是亦適當ノ考ニ非ズ。吾人ハ、寧興味ヲ以テ勉強ノ本タルベキモノトス、生徒能ク一事ヲ成就シテ、其ノ興味ヲ感ズルニ至レバ、之ニ連關シテ、一層困難ナル事ニ從ハシメ、生徒ヲシテ成ルベク自力ヲ以テ之ヲ遂行セシムベシ、斯クナシ行ケバ、生徒ハ其ノ業務ニ就キテ、益興味ヲ深クシ、益多ク勉メントスルニ至ル。興味ト勉強トハ、相反セザルノミナラズ、勞力ヲ費サザレバ、眞ノ興味ナク、眞ノ興味ナケレバ、活潑ナル自動力ナシ。唯吾人ハ、到底生徒ノ爲シ得ザル事ヲ強ヒ、之ヲシテ徒ニ壓迫ヲ感ゼシメザランコトヲ要ス。生徒ニ、其ノ學ビタル所ヲ實地ニ活用スル機會ヲ與ヘテ、學問ノ價值ヲ知ラシムルハ、興味ヲ生ゼシムルニ有效ナル手段ナリ。若シ幼者ニシテ、其ノ教ヘラレタル所ガ、屢實地ニ用ヒラレ、是マデ不能タリシコトノ漸次ニ減少シテ、學校ニ於

テ、得タル知能ノ、如何ニ多ク學校以外ニ適用セラレルカヲ見ルニ至レバ、學問ノ眞價ヲ覺リ、從ツテ深キ興味ヲ感ズルニ至ルベシ、是教授上、應用練習ヲ貴重スル所以ナリ。

第三節 教案

教フベキ諸學科ノ教授要旨ヲ示シ、各學科内ニ於テ用フベキ材料ヲ選擇シ、之ヲ適當ノ順序ニ排列整理スルモノヲ教案(教授細目)ト名ク。サレバ一學校ニ於ケル教案ハ、其ノ校ニ於テ用フル總ベテノ教材ヲ示シ、如何ナル時期ニ於テ、個個ノ材料ガ始メテ教ヘラレ、學校教育ノ終リマデニハ、如何ナル點マデ進ムベキカヲ明カニシ、從ツテ一學年一學期ニ向カヒ、教授材料ノ配合ヲ定立シ、且一週間ニ於テ、各材料ニ向カヒテ、必要ナル時間ヲ豫定セシムルモノナリ。是限リアル時ニ於テ、數多ノ事項ヲ教フル場合ニ、最モ必要トスル所ニ

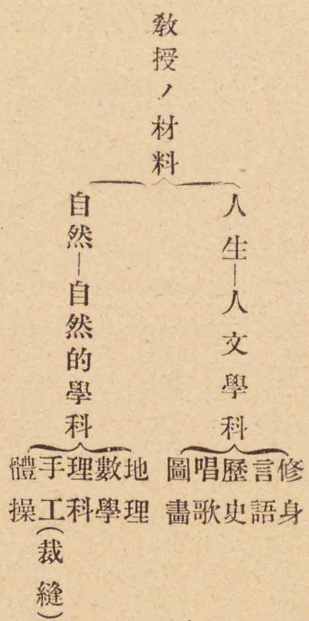
教案ノ必要

人文的
科的
自然
的
教科

シテ、生徒ノ程度ト各事項ノ價值性質トヲ考ヘ、之ニ應ジテ時間ヲ分配シ、不必要ナル所ニ多クノ時ヲ費スコトナク、緊要ナル所ニ時間ノ缺乏ヲ生ズルコト無カラシムルハ、教授ノ成功上、缺クベカラザル所トス。蓋シ教授上大體ノ規定ハ、法令ニ由リテ、示サルト雖モ、一地方ノ學校ハ、其ノ地方ノ自然的、經濟的及ビ開化的狀況ヲ考ヘテ、最モ適切ナル教案ヲ作ランコトヲ要ス。

教授上、如何ナル教科ヲ選擇スベキカヲ見ルニ、總ベテ知識ヲ發達シ、技能ヲ練習スル材料ハ、人類界ト自然界トヨリ供給セラレルモノナリ。人類相互ノ關係ヨリ生ズル事柄、人類ガ社會ヲ構成スルニ付キテ爲スベキコト、及ビ之ガ理性アル生物トシテ作爲セル事物ハ、即チ人類界ヨリ來ル材料ニシテ、之ヲ人文的教科ト云フ。自然ノ諸現象及ビ其ノ基ク理

法ハ、即チ自然界ノ供給スル材料ニシテ、之ヲ自然的教科ト云フ。今此ノ二教科中ヨリ、更ニ特ニ初等教育上重要ナルモノヲ選擇スレバ、左ノ如シ。



右ニ掲ゲタル諸教科ノ目的及ビ價值ニ就キテハ、教授法教科書(大瀨・立柄兩氏共著)ニ於テ述ブルコトトシ、次ニ教材ノ排列上、注意スベキ點ニ就キテ一言セントス。

一教科内ノ連關ト異教科間ノ連關

一、**教授材料ノ連關** 吾人ハ、生徒ニ異ナル教科ヲ教ヘ、又一教科ニ於テモ、種々ノ事項ヲ付與ス、故ニ吾人ハ、一ニハ、一

教科内ニ於ケル材料ノ連關ヲ善クシ、其ノ順序ヲ正シクシテ、以テ十分ニ其ノ教科ノ價值ヲ顯サシムルコトヲ要シ、二ニハ、異ナル教科間ノ相互ノ連絡ヲ保チ、之ヲシテ相補助シテ、正確ナル知識ヲ得シムルコトヲ要ス。中等以上ノ教育ニ於テ、諸學科ガ専門ノ教師ニ由リテ教授セララルル場合ニハ、第二ノ點、屢粗略ニセラレ、各學科孤立シテ、相顧ミザルガ如キコトアリ。然ルニ又教育者中ニハ、第二ノ點ヲ見ルコト重キニ過ギ、總ベテノ教科ナ一ノ中心教科ニ結合セントシテ、之ガ爲メニ一教科ノ固有ノ價值ヲ蔑視シタルモノアリ。或ル教授家ハ、宗教科ニ由リテ、總ベテノ教科ヲ結合セントシ、經典ヲ中心ノ教科書トシ、理科ノ教授ハ、其ノ書中ノ動・植・礦物ヲ叙述シ、地理教授ハ、其ノ書ノ示ス土地ヲ取扱ヒ、唱歌ハ、讚美歌ヲ用ヒントセリ。又ナルレルハ、歴史ヲ以テ、心情ノ發

一教科ニ由ル統合ノ不可能

育ニ最モ多ク關係アルモノトシテ、之ヲ中心ノ教科タラシメ、他ノ教科ヲ盡ク其ノ補助者トシ、此ノ教科ノ教授ニ便ナラシメントセリ。
斯クノ如キ統合ハ、總ベテ不成功ニ終リタルガ、又到底成功シ得ベキモノニ非ズ。諸教科ハ、各獨立ノ價值ヲ有シ、其ノ教授ノ方法モ、亦特別ノ進路ヲ有スルガ故ニ、其ノ進路ヲ障害セズシテ、固有ノ價值ヲ十分ニ顯サシムルコトハ、教授上大ニ貴重スベキ所トス。然ルニ一教科ノ教授ヲ、關係ノ最モ薄キ他ノ教授ニ附從セシメントスレバ、却ツテ正シキ進路ヲ妨害シ、内部ノ連絡ヲ離析シ、其ノ教科ノ特別ノ效果ヲ抑壓シ、而シテ又他ノ教科ニモ裨益スル所ナシ、算術教授及博物教授ノ貴キ所以ハ、倫理的若シクハ歴史的教授ニ附從スル爲メニ非ズ、又十分ニ附從シ得ベキモノニモ非ザルナリ。

連絡ノ利益

固有ノ價值ヲ有スル諸教科ヲ、主屬ノ關係アル様ニ作り做シ、或ハ之ヲ混合シテ、各教科ノ自由ノ働ヲ障害スルハ材料整理上、宜シキヲ得タルモノニ非ズ。然レドモ教科中ニハ、性質ノ相類似スルモノ、相關係スルモノ少カラズ、而シテ是等ヲ連絡スルコトハ、啻ニ相互ノ損害ヲ生ゼザルノミナラズ、却ツテ大ニ利益アリ。例ヘバ、書キ方讀ミ方綴リ方ハ一根幹ノ枝條タル如キモノナレバ、成ルベク親密ニ連結セシメ、兒童ヲシテ書ク所ハ之ヲ讀ミ、讀ム所ハ之ヲ書キ又ハ綴ラシムベシ。其ノ他物體ノ觀察ト言語教授トヲ連結シ、兒童ヲシテ實物或ハ模形物、圖畫ヲ見ルト同時ニ、其ノ名稱ヲ知ラシメ、地理ヲ教フル時ニハ、兒童ノ既ニ知レル歴史的事實ヲ談リ、歴史ヲ授クル時ニハ、其ノ事實ノ發生シタル土地ヲ叙述シ、算術ノ問題ニハ、地理又ハ理科中ノ事柄ヲ選ミテ、之ヲ解

セシムベシ。斯クノ如キ意義ヲ以テ教授ヲ統合シ、諸教科ヲシテ、連關錯綜シテ、一大團結ヲナサシメ、ノコトヲ要ス。而シテ今其ノ利益トスル點ヲ舉グレバ、次ノ如シ。(一)時ヲ省略シ得ルコト。(二)諸材料ノ多樣ノ連合ニ由リ、兒童ハ一方ニテ了解シ得ザルコトヲ、他方ニ於テ理會シ得ルコトアリ、又一方ニ於テ、唯聽クニ止リシ所ノモノ、他方ニ於テ實際ニ應用セララルルヲ以テ、其ノ理會及ビ信用ヲ益深カラシムルコトアリ。(三)教授ノ活潑ノ度ヲ増シテ、興味ヲ深カラシムルヲ得、兒童ガ書キ方教授ニ於テ覺エタルコトノ、讀本中ニ在ルヲ知ル時、又ハ歴史教授ニ於テ傳ヘラルル事實ノ、嘗テ地理教授ニ於テ學ビシ市府ニ生ゼシコトアル場合等ニハ、是等ノ教授ニ對スル興味ヲ増加シ、注意ヲ強クスルハ、自然ノ理ナリ。以上ノ三點ハ、教授ノ成功上、必須ノコトナレバ、教材ノ排

列、教科書ノ編纂、及ビ實際ノ教授ニ於テハ、能ク之ニ注意セシムルコトヲ要ス。

進歩的排列

二、教材ノ進歩的排列 兒童ハ、常ニ進歩シツ、アルヲ以テ、教授材料モ、亦進歩的ニ排列セララルルヲ可トス。(イ)近キモノヨリ遠キモノニ及ブベシ。即チ兒童ノ常ニ接シテ、其ノ周圍ニ於テ見ル所ヨリ、漸次ニ遠ク隔リタル事柄ニ及ブテ、教授ノ正シキ順序トス。例ヘバ地理・博物ノ教授ヲ始ムル時ニハ、兒童ノ住スル處ニ於テ、其ノ材料ヲ選ミ、漸次ニ隔リタル土地及ビ其ノ地ノ動植物ニ及スガ如シ。(ロ)具體的ヨリ抽象的ニ及スベシ。元來知識ノ基礎ハ、直觀ニ在ルヲ以テ抽象無形ナル理ハ、具體有形ナルモノノ觀察ニ基カザルヲ得ズ、若シ此ノ基礎ヲ有セザル兒童ニ向カヒテ、直接ニ抽象的知識ヲ與ヘントスレバ、機械的誦讀ノ弊ニ陥ルヲ免レザル

ベシ。是最初ノ教授ノ直觀的ナランコトヲ要スル所以ナリ。ベスタロツチー曰ハク、若シ兒童ガ教師ノ説明スル所ニ就キテ、明瞭ナル直觀ヲ缺ク時ハ、兒童ハ徒ニ他人ノ音聲ヲ模擬シテ、言葉ヲ弄スルニ至リ、決シテ正實ナル概念ヲ有スルニ至ラザルベシ。ト、(ハ)單簡ナルモノヨリ、複雑ナルモノニ至ルベシ。單簡ナルモノ、必ズシモ兒童ニ適シ、複雑ナルモノ、必ズシモ之ニ適セズト云フ能ハザレドモ、一般ニ複雑ナル事實、長キ章句等ハ、幼者ニハ不適當ト云ハザルヲ得ズ、故ニ綴リ方ノ教授ハ、短句ノ練習、假名遣ヒ、文字ノ用法等ヲ先トシ、歴史ノ教授ニ於テハ、最初ハ單簡ナル事柄ヲ一口嚙ノ形ニ於テ教フルヲ適當トス。

缺損ナキ
排列

三、缺損ナキ排列 教授ノ材料ヲ進歩的ニ排列スルニ當リ、吾人ハ又其ノ進歩ノ善キ經過ヲ保ツコトニ注意セザル

ベカラズ。一事ヲ教フルニ付キテハ、必ズ先ヅ其ノ豫備タルモノヲ教ヘ、一ノ教授ヲ次ノ教授ノ準備タル如ク整理スルコトヲ要ス。ベスタロツチー曰ハク、教授材料ノ排列ハ、兒童ノ心ノ自然的發育ノ順序ト、精密ニ一致セザルベカラズ。最も單簡ニシテ平易ナルモノヲ以テ始メ、此ノ初歩ノモノヲ、最も確實ニ又最も完全ニ練習シタル後、順序正シク缺損ナキ進歩ニ於テ、常ニ唯僅少ノ新シキ事柄ヲ之ニ結合スベシ。斯クノ如ク、事物ノ根據タリ最要タル部分ヲ深ク心ニ銘セシメ、而シテ他ノ部分ヲ漸次ニ且絶エズ此ノ要部ニ連結スルコトニ由リテ、全部ヲ一ノ生氣アル統一體トナスコトヲ得ベシト。

圓周的
列直進
的排列

四、圓周的排列 圓周的排列トハ、最初教ヘタル教授材料ヲ、後級ニ於テ、更ニ其ノ内容及ビ外延ヲ擴張シテ教ヘント

スルモノニシテ、彼ノ一教科又ハ一教科中ノ或ル部分ヲ一級ニテ取扱ヒ、後ノ級ニテ、他ノ教科又ハ一教科中ノ他ノ部分ヲ取扱フ直進的排列ニ反スルモノナリ。今初等ノ教授ニ於テ、若シ近キヨリ遠キニ及ビ、平易ヨリ困難ニ及ブト云フ順序ヲ善ク保持セントスルニハ、圓周的排列ヲ用ヒザルヲ得ズ、即チ最初ヨリ一教科全體ニ就キ、兒童ニ近クシテ、其ノ力ニ應ズルモノヲ選ミ、困難ナル部分ヲ漸次ニ追加スルコト、恰モ圓ノ中心ヲ變ゼズシテ、其ノ周邊ヲ漸次ニ擴張スルガ如クセンコトヲ要ス。斯クノ如キ排列ノ利益トスル所ハ、下ノ如シ。(一)材料選擇ノ範圍ノ廣キ爲メ、最モ適切ナルモノヲ選ム便アリ。(二)前級ノ事柄ガ、後級ニテ確メラレ、他ノ方面ヨリ再ビ觀察セララル便アリ。直進的排列ニテハ、初メ取扱ハレタル事項ハ、漸次ニ忘却セラレ、又其ノ困難ナル方面ヲ

後ニ明カニスルコト難キ不便アルヲ免レズ。(三)一教科ノ種ノ部分ノ、偏頗ヲキ取扱ヒナシ得ベシ。直進的排列ニ由レバ、後級ニ配當セララル部分ハ、比較的精密ニ授ケラレ得レドモ、初級ニ配當セラレタル部分ノ取扱ハ、大略ニ止メザルヲ得ズ。(四)兒童ヲシテ教科ノ全部ニ就キテ、早ク大體ノ觀念ヲ得シムルガ故ニ、後ニ教フル新事項ヲ會得セシムルコト速カニシテ、從ツテ之ニ對シ、深キ興味ヲ感ゼシメ得ベシ。斯クノ如ク、吾人ハ教授上材料ノ圓周的排列ヲ擇ブト雖モ、每學年ニ於テ必ズ同一材料ヲ循環セシムベシト云フニ非ズ。教科ニ由リテハ、度度ノ循環ヲ不可トスルモノアリ、斯クノ如キモノニハ、此ノ排列法ト直進的排列法トヲ折衷シテ用ヒンコトヲ要ス。例ヘバ長キ歴史ヲ有スル國ニ於ケル歴史科ノ如キハ、一年間ニテ、全體ニ行キ渡リタル大體ノ知識

ナ與フルコト容易ナラザル故ニ、初メ二年程ハ、直進的ニ材料ヲ排列シ、後ニ至リ、更ニ再ビ之ヲ取扱フコトトスルヲ善シトスルガ如シ。ナルレルノ如キハ之ニ反シ、人間ハ、一生ニテ人類發達ノ有様ヲ繰リ返スモノナレバ、幼少ナルモノニハ、人類ノ幼稚ナル時代ノ事實ヲ授ケ、生長スルニ從ヒテ、漸次ニ中古近代ノ事柄ニ移ルヲ最モ適當トス。ト云ヘリ。然レドモ古代ノ事、必ズシモ皆兒童ニ適スト云フ能ハズ、時代ヲ經ルコト遠キガ爲メニ、今ヨリ想像シ難キコトアリ、又近代ノ出來事、必ズシモ皆兒童ニ適セズト云フヲ得ズ、手近キモノハ、容易ニ理會セラルルコト多ク、且早クヨリ知ラシムルヲ可トスルモノアリ。故ニ吾人ハ、大體ニ於テ圓周的排列法ヲ用ヒ、而シテ循環ノ時期ニ付キテ斟酌スルヲ至當トス。

第四節 日課案

日課案ノ必要

一週間又ハ一日ニ於テ教授スベキ教科ノ順序ヲ定メ配合ヲ定ムルモノヲ日課案ト云フ、教科ノ難易ノ度ハ、一樣ナラズ、生徒ノ活力ハ、時ニ由リテ變化スルモノナレバ、教科ノ性質ト生徒ノ疲勞ノ増減スル狀況トヲ考ヘテ、正シキ日課案ヲ作ルコトハ、教授上ノ一要務タリ、今之ニ就キテ、注意スベキ點ヲ舉グレバ、次ノ如シ。

時間ト心力

(一)困難ナル教科ハ、心身ノ新鮮活潑ナル時ニ教ヘラレシコトヲ要ス。午前ハ、概シテ兒童ノ心身活潑ニシテ、午後ニハ、多少ノ疲勞ヲ生ズルヲ以テ、一般ニ心的勞動ヲ要スルコト大ナル教科ハ、午前ニ置クヲ適當トス。然レドモ是困難ナル教科ハ、悉ク午前ニ集ムベシト云フニハ、非ズ、蓋シ午前ハ、前夜ノ睡眠ニ由リテ復活シタル心、活力ニ富ミ、思考力ヲ要スル仕事ニ能ク適スルニ相違ナシト雖モ、一時ニ多ク之ヲ働カ

シ、之ヲ緊張スルコト、永キニ過グル時ハ、其ノ力ヲ永續セシムルヲ得ズ、故ニ教育者ハ、尙次ノ條件ニ注意センコトヲ要ス。

(二)心ヲ勞スルコト多キ教科ノ後ニハ、容易ニシテ心ヲ勞スルコト少キモノヲ置クベシ。ワイツ曰ハク、一日ノ何レノ時モ、一樣ニ心的勞動ニ適スルコトナク、又最モ困難ナル事柄ハ、兒童ノ心ノ收得力最モ強ク、教師ノ活力、亦最モ强健ナル時ニ教ヘラルルヲ要スト云フコトハ、一般ニ人ノ能ク知ル所ナリ。故ニ今異ナル數教科ヲ繼續シテ教フル場合ニハ、困難ナルモノヲ以テ始メ、比較的容易ナルモノヲ以テ終ルヲ善シトスレドモ、若シ其ノ教授時間ヲ四時間トスレバ、第一時間ト第二時間トノ困難ノ場合ヲ、第三時間ト第四時間トニ於ケルモノニ等シカラシメ、第三時間ヲ幾分カ第二時間

ヨリ困難ナラシメテ、以テ難易張弛ヲ更代スベシ。而シテ心情ニ關スル教科ニハ、特ニ心ノ新鮮ナル時ヲ配當スルヲ善シトス。又長者ニ於テスラ、或ル時ノ心ノ状態ハ、其ノ前ニナシタル仕事ト、大ニ關係アルモノニシテ、遊戯ナドノ後ニハ、心ノ散亂スルコト甚ダシク緻密ノ思考ヲナスヲ難シトスルモノナレバ、兒童ニ對シテハ、一層深ク此ノ點ニ付キテ注意センコトヲ要ス。心ノ勞動ノ最少度ヨリ始メテ、漸次ニ其ノ度ヲ強ムル如キ日課配當ハ、自然ニ反スルモノト云ハザルヲ得ズ、云々。

(三)教科ニ對スル兒童ノ記憶及ビ興味ヲ損害セザル爲メ、一週間内ニ各教科ヲ適當ノ間隙ニ於テ再現セシムベシ。サレバ算術教授ヲ一週間ノ初メ三四日ニ集メ、又歴史ヲ終リノ二三日ニ集メテ教フル如キハ、不當ト云ハザルヲ得ズ、殊ニ

引續キ二三時間、同事ヲ教授スルハ、最モ嫌惡スベキ所トス。下級ノ兒童ニハ、一時間ト雖モ、同事物ノ教授ハ、其ノ倦怠ノ情ヲ惹起スル恐アリ、故ニ教師ハ、一時間内ニ於テモ、場合ニ由リテハ、一事ヨリ他事ニ移リ、新事物ヲ以テ、再ビ其ノ注意ヲ勵マサンコトヲ要ス。ワイツ曰ハク、一時間間斷ナク心ヲ勞スルコトハ、長者スラ困難トスル所ナリ、假令一時ナリトモ、兒童ノ活力ヲ或ル事ノ爲メニ全ク消耗セシムル時ハ、其ノ事ニ對スル嫌惡ノ情ヲ生起セシムル危險アルヲ以テ、教授ハ一時間内ニ於テ、兒童ノ勞動ヲ其ノ耐ヘ得ベキ頂點マデ緊張セザルヲ要ス。五六時間モ、科學ノ教授ヲ續クルハ、兒童ノ力ヲ減殺シテ、歸家ノ後、事ヲナスノ勇氣ヲ消滅セシムルモノトス。故ニ一授業ノ間ニモ、心ノ働ニ張弛アラシムベク、又科學ノ教授ノ間ニハ、習字圖畫又ハ手工ヲ交フルヲ要ス。

ス。ト云ヘリ。

日課ト健康

(四)日課案ハ、兒童ノ健康ニ注意シテ定メラルルヲ要ス。正坐傾聽ヲ要スベキ授業ノ後ニハ、起立ヲ要スルモノヲ置キ、一教授ト次ノ教授トノ間ニハ、心ヲ休止スルニ足ルベキ休憩ヲ與フベシ。食事前ニハ、甚シキ心的又ハ身體的勞動ヲ避ケシメ、食後ニハ、消化ニ必要ナル休憩時間ヲ與ヘ、視力ヲ要スルコト多キモノノ後ニハ、之ヲ休ムルニ足ルモノヲ置クガ如キハ、何レモ大ニ注意スベキ所トス。

第五節 教授ノ階段

教授階段ノ意義

一事ヲ教授スルニ當リ、其ノ事ヲ成ルベク完全ニ知覺シ了解セシメテ、之ヲ確實ニ生徒ノ所有トナサントスルニハ、心理ノ規則ニ基キテ、一定ノ順序ニ由ルベキモノナリ。此ノ順序ヲ教授ノ階段ト稱ス。此ノ事ハ、ヘルバルト・チルレル學派

ノ教育家ニ由リテ、大ニ唱ヘラレシ所ナレドモ、階段ノ區別ニ就キテハ、同派中ノ人ニモ、多少ノ異見ナキニ非ズ。今一般ニ心理ニ由リテ大體ノ區別ヲ立ツレバ、左ノ如クナスヲ得ベシ。

直觀ノ階段

一、直觀ノ階段 知識發育ノ基礎ハ、直觀ニ在リ、吾人ハ實地ノ經驗知覺ニ由リテ、知識ノ養料ヲ集メ、此ノ基礎ニ由リテ、其ノ遠ク隔リテ實地經驗スル能ハザル事柄及ビ虛形ノ理ヲ了解スルヲ得。故ニ教授上、最初ニ爲スベキ所ハ、直接ニ實物ヲ觀察セシムルカ、又ハ模形、繪畫ヲ示スカ、又ハ兒童ノ既ニ直觀シタル所ニ結合シテ、言語ニ由リテ新事項ヲ傳フルカニ在リ。然ルニ今新ニ或ル事ヲ教ヘントスルニハ、兒童ノ心ヲシテ先ヅ之ヲ受取り得ル状態ニ至ラシメザルヲ得ズ、殊ニ言語ニ由リテ傳ヘントスルニハ、兒童ヲシテ豫メ之

ヲ類化スルニ必要ナル過去ノ經驗ヲ追想シテ、其ノ既有ノ觀念ヲ復起セシメンコトヲ要ス。斯クシテ兒童ハ、能ク注意ヲ以テ新事物ヲ迎へ、興味ヲ以テ之ヲ把握スベシ、即チ新觀念ハ、兒童ノ思想界ニ於テ、直ニ特ニ己ノ爲ニ設ケラレタル適當ノ位置ヲ發見シ得ルモノナリ。故ニ直觀ノ階級ハ、教授上更ニ之ヲ分チテ豫備ト提示トノ二トナスコトヲ得、然レドモ豫備ノ多少ト其ノ形トハ、場合ニ應ジテ異ナルベキモノニシテ、一般ニ生徒ノ幼少ナルト、教授ノ材料ノ直觀的性質ニ遠キトニハ、之ヲ要スルコト多ク、高級生ニ對スト、教授ノ材料ノ直觀的ナルトニハ、之ヲ要スルコト多カラズ、最モ單簡ナルモノニテ、既ニ兒童ノ觀念界ニ存スル事柄ヲ材料トスル時ニハ、其ノ事柄ノ前告ガ、既ニ教授ノ豫備タルベシ、又實物ニ就キテ教フル場合ニハ、則チ其ノ物ヲ示シ、生徒ヲ

シテ其ノ既ニ知ル所ニ基キテ、其ノ何タルヲ判断セシメ、之ニ就キテ二三ノ問答ヲナスヲ以テ、豫備トナスベク、而シテ教授ガ前回ノ繼續ナル時ニハ、單簡ナル復習ヲ行フヲ以テ、豫備トナスベシ。

考察ノ階段

二、考察ノ階段 吾人ハ、直觀ノ基礎ニ由リテ收得シタル材料ヲ整理シ、其ノ關係ヲ考へ、其ノ中ニ存在スル理ヲ究メ、個個ノ現象ヲ一貫スル法則ヲ覺リテ、概念ヲ得ルニ至ルモノナリ。故ニ教授ニ於テハ、新ニ提示シタル所ヲ兒童ノ既ニ知レル同様ノ事柄ト比較シテ、其ノ關係ヲ明カニセシメントスル連結ト、普通ノ理法又ハ概念ヲ定立スル總括トノ二階段ヲ區別スベシ。然レドモ新舊事項ノ比較連結ハ、既ニ豫備中ニ於テ行ハルルコトアリ、又提示中ニ於テモ行ハルルモノナレバ、特ニ此ノ階段ヲ置クコトヲ要セザル場合少カ

ラズ、強ヒテ之ヲ一階段トシテ、關係少キモノヲ比較セシムル如キハ、時間ヲ徒費シ、生徒ヲ混亂セシムルニ過ギザルナリ。總括ノ如キモ、吾人ハ廣ク之ヲ解シ、提示ノ結果ヲ一括シテ、簡明ナル言語ヲ以テ之ヲ表示スルコト、及ビ一ノ實例又ハ標本ニ就キテ見タル所ヲ、其ノ屬スル種類ニマデ廣ク推及スルコトヲ含マシメントス。然ルニ之ヲ單ニ概念ヲ抽象シ、法則ヲ發見スルモノト解スル時ニハ、此ノ階段ハ、屢之ヲ缺カザルヲ得ズ、何ントナレバ、概念又ハ理法ハ、容易ニ知得セシメ得ベキモノニ非ザレバナリ。殊ニ技能ニ關スル事柄ニ於テハ、模範ノ指示ト練習應用トヲ主トシ、兒童ヲシテ觀察ニ基キ、模倣的練習ト應用トヲ重ネテ、始メテ覺ル所アラシムルヲ常トス。故ニ猥リニ形ニ拘泥シテ、之ガ爲メニ教授ヲ機械的タラシメザランコトヲ要ス。

三、應用ノ階段 吾人ハ、如何ニ多クノ知識ヲ貯藏ストモ、多様ノ應用ヲ缺ク時ハ、死知ヲ有スルニ過ギズ。故ニ教授ニ於テハ、應用ノ階段ヲ置キ兒童ヲシテ既ニ知り得タル所ニ基キテ、新ナル場合ヲ判断セシメ、一方ニテ學ビタル所ヲ他方ニ利用シ、普通ノ理ヲ個個ノ事項ノ上ニ試ミシメ、以テ既有ノ知識ヲ益確實ニシ、且新ニ得ル所アラシメンコトヲ要ス。即チ修身科ニ於テハ一旦勤勉・信義・忠孝等ニ付キテ、一般ノ思想ヲ與ヘタル以上ハ、兒童ヲシテ個個ノ適例ヲ發見セシムルカ、又ハ教師自ラ個個ノ例ヲ提出シ、兒童ヲシテ之ヲ判断セシムルカ、或ハ又歴史・傳記中ヨリ、種種ノ人物ヲ取來リテ、其ノ行爲・性質ヲ談話シ、兒童ヲシテ其ノ既ニ有スル倫理思想ニ基キテ、之ヲ批評セシムベシ。言語教授ニ於テハ、其ノ講讀シタル所ヲ談シ又ハ綴ラシメ、算術教授ニ於テハ、數

理ヲ實地ノ賣買・貸借等ノ計算ニ應用セシメ、理科ノ教授ニ於テハ、新ナル動植物等ヲ取來リテ、其ノ何レノ部類ニ屬スベキカヲ判断セシムルガ如キハ、最モ有益ナル練習トス、其ノ他技術ニ關スル事柄ノ應用ト練習トヲ主トスルハ、言ヲ俟タザルナリ。

以上述べタル如ク、教授ノ階段アルコトヲ認ムルハ正當ナレドモ、其ノ區別ハ、場合ニ應ジテ決スベキモノナリ。豫メ不動ノ階段ヲ立テテ、如何ナル材料ヲ取扱ヒ、如何ナル生徒ヲ教フルニモ、之ニ依ラントスルハ、不當ト云ハザルヲ得ズ。然レドモ教師ハ、豫メ個個ノ場合ニ於テ、何レノ階段ヲ如何ニ用フベキカヲ考定シ、其ノ用フル階段ノ必要ナル所以、又ハ或ル階段ヲ廢スル理由等ヲ明カニセザルベカラズ。斯クノ如クナス時ハ、教授ハ一方ニハ機械的トナラズ、而シテ他方

目的ノ前告

ニハ、錯雜・無規律ニ陥ルヲ免ルベシ。
 ナルレハ、教授ノ諸階段ノ外ニ、目的ノ前告ヲ必要トセリ。
 是ハ教授ヲ始ムルニ當リテ、教授スベキ事柄ヲ前告シ、兒童
 ナシテ、明カニ教師ノナサントスル所ヲ前知シ、其ノ心ヲ集
 合シテ、新ナル働ニ應ズル準備ヲナシ、希望ノ状態ヲ生ジテ、
 目的ニ到達センガ爲メ、自ラ大ニ働クニ至ラシメントスル
 モノナリ。然ルニ往往之ヲ誤解シテ、或ハ教授ノ終リニ於テ、
 始メテ兒童ノ知ルニ至ル事柄、又ハ抽象的事項ヲ豫告シ、或
 ハ談話ノ結果ヲ述ベ盡スモノアリ、是其ノ前告ヲ單ニ儀式
 的トナシ、又ハ却ツテ教授ノ興味ヲ減ズルニ過ギザルモノ
 ナリ。故ニ教授ノ際、前告スル事柄及ビ言語ハ、兒童ニ了解シ
 易キモノタルベキハ勿論、談話ノ結果、實例中ニ含有セル眞
 理ノ如キハ、屢兒童自身ヲシテ探求セシムベキコトアルナ

以テ、教師ハ、此ノ場合ニハ其ノ眞ノ目的ヲ前告セズ、其ノナ
 サントスル談話ノ事實ニ基キテ、單簡ナル題目ヲ示スニ止
 ランコトヲ要ス。

備考 教授ノ階段ヲ區別シテ、三段トナスモノアリ、五段
 トナスモノアリ、又其ノ名稱ニ就キテモ、一樣ナラズ。今二
 三ノ例ヲ舉グレバ、左ノ如シ。

ヘルバルト	明瞭	聯想	系統	方法
チルレル	分解	總合	聯想	系統
ライン	豫備	提示	連結	總括
ドルプフェルド	直觀	思考	應用	應用
ウキルマン	受納	思索	應用	應用

本邦ノ小學校中ニハ、豫備・教授・應用ノ三階段ヲ以テ、教
 授ノ大體ノ順序トナスモノアリ。

教授ノ形
ノ區別

第六節 教授ノ形

教授ノ形トハ、教師ト生徒トノ間ニ於ケル働ノ關係ヲ指ス
 モノナリ。而シテ吾人ハ、場合ニ應ジテ、其ノ正シキ關係ヲ決
 定セザルベカラズ。今教師ノ働主トナリテ、生徒ノ、寧受動的
 ニ働ク時ニハ、現示的教授(示教・示範)及ビ講演的教授(物語・叙
 述・説明)ノ形ヲ生ジ、生徒ノ働主トシテ、彼自身ヲシテ大ニ
 考察シ解決セシメントスル場合ニハ、練習的教授(問答・課題
 ノ形)ヲ生ズ。

一、現示的教授

一、示教 示教ハ、主ニ兒童ノ直觀ニ依リ、其ノ教授セントス
 ル物ヲ成ルベク兒童ノ感覺ニ觸レシメ、其ノ部分及ビ全體
 ニ就キテ、最モ確實ナル知覺ヲ得シメントナリ。目的トス、而
 シテ此ノ教授ノ效用ヲ大ナラシムルニハ、次ノ諸點ニ注意

示教ノ目
的

スベシ。

示教上ノ
注意

(イ)示教スベキモノハ、成ルベク實物タルコトヲ要ス、唯到底
 實物ヲ得ルコト能ハザル時、又物ノ性質上、學校ニ於テ現示
 スルニ適セザル時、或ハ不完全ナル實物ノミ存在スル時ニ
 ハ、模形物及ビ繪畫ニ由ルヲ善シトス。
 (ロ)直觀セララルベキ物體ヲ、總ベテノ兒童ノ、同様ニ能ク觀察
 シ得ベキ位置ニ在ラシムベシ。多數ノ兒童ヲ有スル級ニ於
 テハ、往往此ノ點ニ於テ不完全ナル所アリ、或ハ位置ノ卑キ
 ニ過グル爲メ、後ヘニ坐スルモノハ、十分ニ觀察シ得ザルコ
 トアリ、或ハ教師ノ不注意ヨリ、自己ノ身體ヲ以テ物體ヲ蔭
 蔽スルコトアリ、或ハ光線ノ工合宜シキヲ得ザル爲メ、物體
 ナ不明瞭ニシ、又ハ觀察者ノ眼ヲ眩晦スルコトアリ、是等ハ、
 勉メテ避ケザルベカラザルモノナリ。又若シ物體小ニシテ、

多數ノモノ、一時ニ十分觀察スル能ハザルコトアラバ、之ヲ
兒童ノ間ニ、巡回セシムルカ、又ハ一時幾人カヲシテ、觀察ノ
爲メ特ニ之ニ近ヅカシムルヲ善シトス。

(ハ)現示ニ伴フ教師ノ言葉ハ、物體ノ要點及ビ其ノ知覺ノ順
序ヲ了解セシムルニ足ラザルベカラズ。又兒童ノ注意ヲ散
亂セシメザランガ爲メ、教師ハ其ノ眼ヲ、一度ハ物體、一度ハ
生徒ノ上ニ注クベシ、物體ノミニ注視シテ説明スル如キハ
不可ナリ。且時時教授ヲ問答的トシ、兒童ヲシテ自ラ其ノ觀
察スル所ヲ陳述セシメ、誤謬ノ觀察ヲナシタルモノニハ、注
意ヲ加ヘテ、之ヲ矯正セシムベシ。又一時ニ多クヲ現示スル
コトナク、一物ノ十分ナル知覺ニ、必要ナル時ヲ與ヘ、以テ其
ノ主要ナル點ノ遺漏ナキ觀察ヲ主トスベシ。

示範上ノ
必要

二、示範 教科中ニハ、唯言葉ノミニテハ、習得セシメ難キモ

示範上ノ
注意

ノアリ、特ニ技能ノ熟練ヲ要スル事柄ニ就キテハ、善キ模範
ヲ與ヘ、適例ヲ示シ、兒童ヲシテ之ニ倣ヒテ、實地ニ練習セシ
メザルベカラズ。例ヘバ善ク讀ミ、善ク談話セシメ、又唱歌・體
操・圖畫等ニ熟達セシメントスルニハ、教師自ラ之ヲナシ、而
シテ兒童ヲシテ實地之ニ倣ヒテ行ハシムルガ如シ。尙之ニ
付キテ、注意スベキ點ヲ舉グレバ、下ノ如シ。

(イ)教師ノ示スベキ例ハ、勿論模範タルベキ價值ヲ有シ、且徐
徐明瞭ニ示サレンコトヲ要ス。若シ教師ニシテ、身體ノ不健
康ナルヨリ、自ラ善良ナル模範ヲ示シ得ザル時ニハ、生徒中
ノ最モ熟達シタルモノヲ選拔シテ、之ヲナサシムルヲ適當
トス。

(ロ)模範ヲ示スト共ニ、説明ヲ加フルハ善シ、然レドモ是ハ簡
明ニシテ、多クハ生徒ノ模倣ノ働ニ就キテ行ハレ、能ク指導

的タランコトヲ要ス。模範ヲ示ス前ニ、長キ説明ヲ行フハ甚ダ不可ナリ。
(ハ)教師ハ、完全ナル模倣ヲ要求スベシ、即チ教師ハ、能ク兒童ノ模倣的舉動ニ注意シ、其ノ不完全ナルモノヲ以テ満足セズ、若シ不當ナル點アラバ、必ズ之ヲ矯正シ、模範ヲ再示シテ、必要ナル注意説明ヲ加ヘ、其ノ模倣ノ宜シキヲ得ルマデハ、屢之ヲ繰返サシメンコトヲ要ス。

二、講演的教授

講演ニハ、物語ト叙述ト説明トヲ區別ス、物語トハ、人世ノ出來事又ハ人ノ動作ニ就キテノ談話ヲ云ヒ、叙述トハ、物ノ狀態、土地ノ狀況ヲ述べテ、人ヲシテ恰モ實地觀察スル思ヒアラシムルモノヲ云ヒ、説明トハ、事物ノ要點ヲ知り、其ノ正シキ觀念ヲ得、言語ノ意義ヲ明カニシ、思想ノ連關ヲ覺ラシメ

講演ノ種類

講演上ノ注意

ンガ爲メノ談話ヲ云フ。故ニ講演的教授ハ、連關繼續スル談話ニ由リテ、兒童ノ自ラ觀察シ自ラ領會シ得ザル所ヲ助ケテ、其ノ理會ヲ進ムルモノナリ、次ニ此ノ形ノ使用上、最モ必要ナル注意ヲ舉グ。

(一)講演ハ、通常ノ談話的タルベク、朗讀的タルベカラズ、通常ノ談話ニ於ケル如ク、平易ナル言語ヲ用フレバ、兒童ノ理會ヲ容易ニシ、從ツテ其ノ興味ヲ起スコト多カルベシ。又談話ナレバ、教師ハ始終生徒ニ注視シ得ルヲ以テ、能ク其ノ注意ヲ保持セシムベキ便利アリ、然レドモ其ノ談話ニ就キテハ、豫メ心ヲ用ヒテ準備スベシ、教場ニ於テ俄ニ想起シ、多クノ時間ヲ費スコトナカルベシ。

(二)教師ハ、明瞭且適度ノ音聲ヲ以テ、徐徐ト談話スベシ、其ノ談話スベキ事柄ノ性質、教場ノ廣狹、生徒ノ多寡等ニ由リテ

ハ、音聲ニ緩急高低ノ別ヲナサザルヲ得ザレドモ、一般ニ談話ノ早キニ過グルハ、理會ノ緩ナル兒童ニ對シテ、不適當ナルノミナラズ、往往發音ノ不明瞭、用語ノ錯誤等、種種不良ノ結果ヲ來シ、時ニハ笑ヒヲ招クコトナキニアラズ、故ニ徐徐トシテ慎重ノ言語ヲ用ヒ、特ニ重要ノ處ニ於テハ、兒童ノ十分ニ會得スベキ程ノ間隙ヲ置キ、強ク且永ク印象ヲ止ムルニ足ルベキ語氣ヲ用フルハ、教授上大ニ貴重スベキ所トス。徒ニ高聲ヲ發スルハ、自然兒童ヲ不穩ニシ、其ノ注意ヲ散亂スル恐アリ。且又談話ニ於テ教師ノ用フル言語ハ、兒童ノ模範トナルモノナレバ、教師ハ、其ノ用語ヲ謹ミ、文法上ノ誤謬ナク轉訛ナク、明瞭ニシテ澁滯ナキコトヲ期セザルベカラズ。

(三)教授ハ、一般ニ直觀的ニシテ、且活潑ナルベキコトハ、既ニ述ベタルガ、是殊ニ講演ニ於テ必要トスル所ナリ。蓋シ講演ノ時ハ、兒童ノ謹聽ト深キ注意トヲ要スルモノナルヲ以テ、教師ハ其ノ教フル所ノ事ニ就キ、自ラ先ヅ興味ヲ感シテ、適切ナル比喻、實例ヲ用ヒ、大ニ兒童ノ想像ヲ動カシ、興味ヲ發動シ、以テ倦怠ナカラシメザルベカラズ。

(四)講演ニハ、必ず秩序アルベシ、事實ノ前後スルコト、照應ノ不完全ナルコト、同様ノ事柄ノ屢繰リ返サルルコト等ハ、共ニ談話ノ意義ヲ不明瞭ニシテ、之ガ理會ヲ困難ナラシムルモノナリ、而シテ秩序ノ必要ハ、教フル事物ノ範圍ノ大ナルト、材料其ノ物ノ秩序的準備ヲ有スルコト少キトニ從ヒ、益多ク之ヲ感ズルモノトス。

(五)講演ニハ、必ず段落アルベシ、且一段落ノ終リニ於テハ、教授ノ形ヲ變更スベシ。特ニ下級ノ兒童ハ、長キ談話ニ堅ク注

意シ、興味ヲ以テ永ク之ヲ傾聽シ難キ故、必ズ適當ノ段落ヲ設ケ、其ノ終リニ於テ、教授ヲ問答的トナシ、其ノ段落中ノ事柄ニ就キ、種種ノ問ヲ發シテ、兒童ノ力ヲ試ミ、更ニ兒童ヲシテ一段落ヲ總括シテ述ベシメントコトヲ要ス。斯クノ如クスレバ、兒童ハ最初講演ヲ傾聽スル時、一層ノ注意ヲ加ヘテ、倦怠疲勞ヲ感ズルコト少ク、且能ク其ノ聽キタル所ヲ確ムルヲ得、而シテ教師モ、亦其ノ講演シタル所ノ、如何ニ兒童ニ理會セラレシカ、如何ナル點ガ、兒童ノ最モ困難トスル所ナルカナ知ルノ便ヲ得ルナリ。

三、練習的教授

一、問答 問答ハ、種種ノ目的ヲ以テ行ハルルモノナリ。(一)吾人ハ、生徒ノ收得シタル知識ノ分量、及ビ正實ノ度ヲ確メンガ爲メニ、問ヲ發ス。(二)吾人ハ、又新事項ノ教授ノ豫備トシテ、

的問答ノ目

弊問答上ノ

舊觀念ヲ惹起シ、且之ヲ整理センガ爲メニ、問答ヲ行フ。(二)直觀的事物及ビ其ノ他複雑ナル事柄ヲ分解シ、知覺ヲ正シキ方向ニ導キ、漸次ニ眞理ヲ發展セシメントスルニモ、亦問答ヲ以テ最モ適當トス。(四)生徒ヲシテ既ニ學ビタル所ヲ復習シ、其ノ知識ヲ確實ニセシメントスルニモ、吾人ハ、屢問ヲ以テ之ヲ導クモノナリ。(五)其ノ他學校ニ於テ、問答的教授ヲ必要トスルハ、其ノ能ク常ニ師弟ノ思想交換ノ手段トナリ、教師ヲシテ生徒ノ言語・應對ニ由リテ、其ノ稟性・氣質等ヲ詳ニセシメ、其ノ注意ヲ進メ、倦怠ヲ防ギ、言語ヲ練習セシメ、且師弟共ニ働クヲ以テ、自ラ教授ヲシテ活氣アラシメ、兩者間ニ、親切愛慕ノ情ヲ發セシムル等ノ效益アレバナリ。然ルニ注入的教授ニ反對スル爲メ、屢其ノ極端ニ走り、問答ヲ以テ殆ト開發ノ唯一ノ手段トナシ、問ヲ以テ生徒ヲ追窮

シテ、強ヒテ答ヲ引出サシメントシ、又生徒ノ能ク連續シテ述ベ得ル所ヲ、殊更ニ問ヲ以テ切斷セントスルモノアリ、是誤謬ノ法ナリ。前ニモ述ベタル如ク、兒童ハ、或ル度マデハ、喜ンデ連關シタル談話ヲ聽クモノナレバ、教師ハ、是ニ由リテ兒童ノ經驗ノ不足ヲ補フコトヲ要シ、且又兒童ヲシテ漸次ニ連關シタル談話ヲナシ、一ニハ言語ノ自由ノ使用ヲ練リ、一ニハ思考ノ獨立ノ働ヲ養ヒ、能ク談話ノ秩序ヲ立ツル力ヲ得シムルコトヲ勉メザルベカラズ。間斷ナク問ヲ繼續スルハ、兒童ヲ混迷シ、其ノ鎮靜ノ思考ヲ妨グ、其ノ獨立ノ働ヲ障害スルニ至ル恐アルモノナリ。

發問上ノ注意

教授上、發問ニ就キテノ注意ハ、左ノ如シ。
(一)問ハ、言語上及ビ論理上、共ニ明瞭ニシテ、正實ナルコトヲ要ス、是ニ就キテハ、尙次ノ諸點ニ注意スベシ。(イ)總ベテノ生

徒ノ、聽キ取り得ベキ音聲・發音ヲ用フルコト。(ロ)兒童ノ知ラザル言句ヲ避ケ、且言語ノ使用上、錯誤ヲカルベキコト。(ハ)成ルベク單簡ニシテ、不要ノ形容ヲ加ヘズ、又徒ニ迂回シ、殊更ニ難問ヲ發セザルコト。(ニ)一問ニ、多クノ疑點ヲ混合スベカラザルコト。(ホ)語調ヲ正シクスルコト。即チ特別ニ注意ヲ以テ答ヘラルベキ所ニ於テ、語氣ヲ強メ、兒童ヲシテ問ノ要點ヲ容易ニ覺ラシムルヲ云フ、同ジ形ノ問モ、音調ニ由リテ、其ノ疑問ノ要點ニ差異ヲ來スコトアレバナリ。(ヘ)問ハ、事實ニ合シ、且唯一ノ正當ナル返答ヲ可能タラシムルコト。或ハ殊更ニ虛偽ノ問ヲ發シ、兒童ヲシテ其ノ誤ヲ發見シ、且之ヲ矯正セシムルチ一ノ練習ト考フルモノアレドモ、是ハ變則ノ方法ニシテ、無益ニ兒童ヲ迷ハシムルモノト云フベシ。若シ兒童屢斯クノ如キ場合ニ遭遇スレバ、常ニ教師ノ問ヲ疑ヒ、

深キ思慮ヲ費スノ價值ナキモノトスルニ至ルベシ。又一ノ問ガ、「何」「何所」等ノ不定ノ語ヲ以テ發セララルル時ニハ、屢疑問ノ要點ヲ不明ニシ、多クノ答ヲ可能タラシム、是則テ論理上不當トスル所ナリ。

(二)問ハ、能ク思慮ヲ誘動スルニ足ランコトヲ要ス、故ニ問ノ難易ハ、兒童ノ程度ニ應ズベキモノナリ、兒童ノ思考ノ程度ニ超過スル問ハ、心ノ働ヲ進ムルニ足ラザルト同ジク、其ノ平易ニ過ギテ、判斷思慮ナク、殆ト機械的ニ答ヘ得ラルルモノモ、亦價值ナキナリ、兒童ハ、一般ニ記憶ノ强健ナル爲メ、能ク數多ノ文章ヲ誦讀シ、教師ノ言語ヲ誦記シ、機械的ニ之ヲ繰リ返ス如キコト少カラズ、尤モ能ク其ノ意義ヲ解シタル上ニテ、之ヲナスハ可ナリト雖モ、往往眞意ヲ解セズシテ、之ヲナスコトアルヲ以テ、教師ハ、唯答ノ形ノ正シキヲ以テ滿

足スベカラズ、必ズ其ノ形ノ眞ニ兒童ノ思慮ニ基クカ否ザルカヲ確ムベシ。故ニ問ノ中ニ、答ヲ含有スルガ如キコトヲ避ケ、特ニ上級ノ生徒ニハ、成ルベク自身ノ言語ニ由リテ答ヘシムル様ニシ、教師ノ語氣ヲ伺ヒテ、推測的ニ返答ヲナスヲ止メ、又「然リ」、「然ラズ」等ノ單簡ナル思慮ナキ答ヲナサシメザルヲ善シトス。

(三)多クノ兒童ヲ一時ニ教授スルニハ、問ノ分配ヲ宜シクスベシ、始メヨリ一童ヲ指定シテ、問ヲ發スル時ハ、他ノモノノ不注意ヲ招ク恐アリ、教授ハ、全級ニ向カツテナスモノナレバ、總ベテノ兒童ヲシテ問ニ就キテ思考シ、何時ニテモ、之ニ答ヘシメン様ニセンコトヲ要ス。故ニ教師ハ、先ヅ全生徒ニ對シテ問ヲ發シ、而シテ之ヲ考フル少許ノ時ヲ與ヘ、答ヘ得ルモノニハ、手ヲ舉ゲテ之ヲ知ラシメ、而シテ後指名スルヲ

正當トス。然レドモ時時舉手セザルモノナモ指名シテ、答ヲ促スコトハ、其ノ思考ヲ誘動シ、怠惰ヲ拒グ上ニ效アリ。且又問ハ、成ルベク平等ニ各生徒ニ行キ渡ラシムベキモノナレバ、一生徒ガ、虚偽又ハ不十分ナル答ヲナシタル場合ニハ、他ノ生徒ニ、之ヲ正シ又ハ補ハシメ、多クノ生徒ヲシテ、永ク無事ニ苦シマシメザル様ニ注意スベシ。

尙發問ニ就キテオ―フェルベルグハ、次ノ如キ注意ヲ教師ニ與ヘタリ。(一)教師ハ、其ノ問ハントスル事柄ノ明瞭確實ナル知識ヲ有スベシ、即チ教師ハ、自ラ先ヅ其ノ問ハントスル所ヲ十分ニ學ビ、永ク考フルコトヲクシテ、其ノ總ベテノ點ヲ心中ニ浮バシムルコトニ意ヲ用フベシ。(二)教師ハ、問ヲ發シタル時、迅速ニ生徒ガ總ベテ之ヲ理會シタルカヲ見、又生徒ノ答ノ如何ナル點ガ、不十分ナルカヲ明カニセザルベカ

ラズ、而シテ之ヲナスニハ、先ヅ生徒ノ顔ヲ注視シ、又其ノ返答ノ語調ニ注意センコトヲ要ス。(三)永ク考フルコトヲク、機ニ臨ミテ、適切ナル問ヲ考出シ、且之ヲ簡明ナル形ニ於テ發スルコト、最モ必要ナリ。而シテ此ノ技能ハ、特別ノ練習ヲ要スルモノナレバ、教師ハ、生徒ニ對セザル時ニ於テモ、發問ノ方法ニ就キテ、研究セザルベカラズ。即チ生徒ニ對シテ、發問シツ、アルコトヲ想像シ、又自ラ其ノ問ニ對シテ、生徒ノ呈スル返答ヲ推測シ、之ニ就キテ、更ニ發スベキ問ヲ考出スベシ。若シ教師ニシテ、斯クノ如キ練習ヲ筆記シ置キ、或ル時期ノ後、再ビ之ヲ驗視シテ、其ノ誤謬ノ點ヲ訂正スル心掛ヲ有スルナラバ、其ノ技能ノ進歩上、更ニ大ニ見ルベキモノアラ

答ニ對スル注意

問ニ付キテ注意スベキ點ハ、大略以上述べルガ如シ、然ルニ

善キ問ニハ、善キ答ヲ要スルモノナレバ、教師ハ、生徒ノ答ニ就キテ研究シ、之ヲシテ善ク答ヘシムル術ヲ學バザルベカラズ。因ツテ今答ノ正實ナル場合、虚偽ナル場合及ビ答ナキ場合ヲ區別シ、單簡ニ其ノ注意スベキ點ヲ論ゼントス。

(一)答ノ形及ビ内容トモ、正當ナル場合ニハ、教師ハ、通常其ノ教授ヲ進メ、他ノ事ヲ談リ、他ノ問ヲ發スベケレドモ、多クノ兒童ヲ一時ニ教授スル時ニハ、唯一人ノ理會シタルヲ見テ、満足スベカラズ、優等生ノ答フル所ニハ、劣等生ノ理會シ能ハザルモノナキニ非ズ、故ニ若シ斯クノ如キ徵候アラバ、教師ハ優等生ヲシテ其ノ答ヲ詳解シ、或ハ之ヲ繰リ返サシメ、或ハ言ヲ更ヘテ之ヲ陳ベシメ、更ニ劣等ノ生徒ヲシテ答ヘシムルガ如キ手段ニ由リテ、一般ノ了解ヲ進メンコトヲ要ス。或ハ答ハ正シキモ、諸記的記憶ニ由リ、十分ナル理會ニ基

カザルモノモアルベケレバ、教師ハ、少シク疑ハシキ場合ニハ、問ノ形ヲ變ジテ、再ビ同事ヲ問ヒ、又答者ヲシテ己ノ言語ニ由リテ、其ノ答ヲ説明セシムルヲ善シトス。

(二)答ノ正シカラザル時ニハ、第一、其ノ内容ノ虚偽ナルト、第二、其ノ用語ノ不當ナルトノ二點ニ注意スベシ。答ノ内容正シカラザルニハ、教師ハ、其ノ助言・諸示等ヲ以テ、答者ヲシテ自ラ誤謬ヲ覺リ、正當ナル答ヲ想起セシムベシ。臆スルモノニハ、勇氣ヲ注入シ、其ノ虚偽ノ答ニ對シテハ、罵詈ニ類スル言語ヲ加フルコトナク、其ノ信ズル所ヲ云フニ、少シモ憚ル所ナカラシメ、不注意ノモノニハ、教師ノ問ノ何タルヲ云ハシメ、又ハ他人ノ答ヘタル所ヲ繰リ返サシムル等ヲ必要トス。答ノ形ノ不當ナルハ、下級ノ生徒ニ最も多ク見ル所ナルガ、若シ一一之ヲ矯正スル時ハ、殆ト教授ヲ進ムルコト能ハ

ザルベケレバ、初メハ最モ甚ダシキ誤謬ヲ矯正シ、高級ニ進ミテ、言語ヲ自由ニ使用スルニ從ヒ、其ノ用法ノ正實明瞭ヲランコトヲ期スベシ。若シ不明不當ナル語法ヲ用フルモノアラバ、教師ハ、假令其ノ答ノ意義ノ正當ナルヲ推察スルモ、一層明晰ナル言語ヲ以テ、之ヲ繰リ返サシムベシ。且答ハ、成ルベク完全ナル句ヲナスヲ要スルモノナレバ、章句ノ形ヲナサザル切レ切レノ返答ヲナサシメザルコトニモ注意スベシ。

(三)兒童答ヲナシ得ザル時ニハ、或ハ諳示ニ由リ、或ハ問ノ形ヲ變更シテ、其ノ答ヲ誘出シ、猶其ノ效ナクバ之ヲ他生徒ニ移スベシ。只其ノ際永ク一生徒ニ止リテ、教授ノ活氣ヲ失フコトナカルベシ。又兒童總ベテ答ヲナシ得ザル時ニハ、必ズ其ノ問ノ内容又ハ外形ニ、不當ノ點アルヲ證スルモノナレ

課題ノ種類及價値

バ、教師ハ、自ラ内ニ顧ミテ、其ノ誤ヲ正シ、兒童ニ不適當ナルモノヲ除キ去ルベシ。

二、課題 課題的教授トハ、問題ヲ與ヘテ、之ヲ考ヘシメ、又答案ヲ書カシムルガ如キ教授ヲ指スモノニシテ、教師ノ直接ノ監督ヲ離ルルコト、問答的教授ヨリモ多ク、從ツテ生徒ノ獨立ノ働ヲ要求スルコトモ、一層大ナルモノナリ、課題ニハ、學校ニ於テ爲サシムルモノト、宿題トシテ、家ニ於テ爲サシムルモノトノ別アリ、孰レモ生徒ノ獨立自動ノ氣力ヲ養ヒ、業務ヲ好マシムル如キ訓育的價値アル外、既得ノ知識ノ應用ヲ正確迅速ナラシメ、又教師ヲシテ、問答ノ場合ニ於ケルト同シク、生徒ノ知能ノ度ト種類トヲ確メシムルモノナリ。其ノ他教師ハ、一方ノ生徒ヲ直接ニ指導シ、他方ノモノヲ課題ノ解決ニ從事セシムルニ由リテ、異ナル組ヲ同時ニ教

授シ得、又宿題ヲ課スルニ由リテ、學校ノ教授時間ノ不足ヲ補ヒ、父兄ヲシテ學校ノ事業ニ注意セシメ得ベシ。然レドモ是等ノ效果ヲ收ムルニ付キテハ、能ク次ノ諸要求ニ適應スルコトヲ勉メザルベカラズ。

教授上ノ注意

(イ)課題ハ、明瞭ニシテ、兒童ヲシテ、要求セララルル點ヲ十分善ク知得セシムル如キ形ニ於テ付與セラレンコトヲ要ス、是同様ノ課題ノ嘗テ與ヘラレタルコト少キニ從ヒ、又生徒ノ幼少ナルニ從ヒ益多ク注意スベキ所ナリ。故ニ教師ハ、課題ヲ提出シタル後、兒童ヲシテ之ヲ繰リ返シテ述ベシメ、例ヲ示シテ、答フベキ點ヲ直觀的トシ、尙問ヲ發シテ、全生徒ガ、能ク教師ノ求ムル事項ヲ了解セシカ否ザルカヲ確メンコトヲ要ス。

(ロ)課題ハ、勿論、兒童ノ力ニ相應スベシ、同一級ノ生徒中ニモ、學力ニ相違アルハ免レザル所ナレバ、精密ニ其ノ相違ノ度ヲ定メテ、一一之ニ應ズル課題ヲ與ヘントスルハ、到底望ムベカラザル所ナレドモ、課題ノ範圍ヲ優ニシテ、劣等者ニ多キヲ望マズ、優等者ヲシテ十分ニ働ク餘地ヲ有セシムルコトニ注意スベシ。嚴密ナル範圍ヲ設ケ、劣レルモノヲ強ヒテ、優レルモノヲ制限セントスルガ如キハ、甚ダ不當ノ事ナリ。
(ハ)課題ハ、兒童ノ健康及ビ其ノ家業ノ有様ニ由リテ斟酌スベシ、是ハ特ニ小學校ニ於テ注意スベキ所ナリ、即チ其ノ生徒ハ、社會ノ種種ノ階級ヨリ集合セルヲ以テ、是等ヲ一様ニ取扱フコトノ難キハ、怪シムニ足ラズ、貧民ノ子弟中ニハ、其ノ都合ニ由リ、自宅ニ於テ十分勉強シ難キモノ少カラザルヲ以テ、一般ニ家ニテ爲サシムベキ課業ハ、僅少ナルヲ可ナリトス。又身體ノ薄弱ナル兒童ニハ、運動休養ノ機會ヲ成ル

ベク多ク與ヘザルベカラザルヲ以テ、其ノ状態ニ應ジ、家ニ於ケル課業ヲ輕減シ、又ハ之ヲ全廢スルヲ適當トス。

(三)一旦課題ヲ與ヘタル以上ハ、生徒誠實熱心ニ之ニ從事シテ、定メラレタル時ニ於テ、能ク之ヲ成就シ、且答案ハ、順序正シク、清潔ニ認ムベキコト等ニ意ヲ用フベシ。

(ホ)教師ハ、場合ニ由リテハ、課題ヲ解クニ、最モ良キ方法ノ大體ヲ指示スベク、又兒童ノ爲シタル課業ヲ慎重丁寧ニ審査シ、且誤謬ノ點ニハ、印ヲ附シテ、成ルベク生徒ヲシテ自身之ヲ訂正セシムル様ニ注意スベシ。

第七節 誦讀齊唱復習

一、誦讀 誦讀トハ、一定ノ事項ヲ表示スル言語ヲ、其ノ形ノ儘ニ記憶セシメントスルモノニシテ、古キ時代ニハ、一般ニ行ハレタル教授法ナリ。現今ノ教授ハ、大ニ之ヲ制限シタレ

誦讀ノ要及上ノ注意

ドモ、吾人ハ決シテ之ヲ廢止スルヲ得ズ、如何ナル教科ニ於テモ、言葉通りニ學バシムベキモノノ存セザルコトナケレバナリ。然レドモ之ヲ行フニ付キテハ、能ク次ノ諸點ニ注意センコトヲ要ス。

(イ)誦讀セシムベキモノハ、豫メ能ク理會セシムベシ、理會シタル事柄ハ、記憶シ易シ、理解シ難キモノヲ機械的ニ誦讀セシムルハ、無益ニ兒童ヲ苦シメ、教授ニ對スル興味ヲ減殺シ、思考作用ノ發達ヲ妨害スルモノナリ。

(ロ)唯價値アルモノノミ誦讀的ニ學バシメヨ。誦讀スベキ事柄ハ、實地上又ハ學術上、重要有益ノモノニシテ、其ノ用語モ、亦實ニ模範的タルモノナラザルベカラズ。

(ハ)誦讀スベキ事柄ハ、先ヅ能ク讀ムベキコトヲ要ス、正シキ語調及ビ發音ハ、記憶ヲ容易ナラシムルモノナリ。

齊唱ノ價値

(三)教師先ヅ自ラ諳誦シ、言語ノ正實ト、語調ノ適宜トヲ以テ、生徒ノ模範タルベシ。

(ホ)諳誦セシメタルコトハ、更ニ之ヲ述ベシムベシ、或ハ個個ノ生徒ニ命ジ、或ハ一齊ニ述ベシメテ、一人モ黙スルコトナキ様ニ注意スベシ。

(ハ)一度諳記セシメタルモノハ、屢之ヲ繰リ返サシムベシ、ザラステラルウエツヒ曰ハク、諳誦的ニ學バシムベキ程重要ナルモノハ、決シテ之ヲ忘失セシムベカラズト。

二、齊唱 齊唱ハ、一組又ハ全級ヲ一人トシテ取扱フモノニシテ、教授ノ事項ガ、兒童ノ既ニ知レル言葉ニ由リテ總括セラレ得ルニ至リタル時、若シクハ總ベテノ生徒ガ、一定ノ形ニ於テ記憶スベキ事項(格言、諺等)ニ到達シタル時ニ行フベキモノナリ。其ノ他下級ノ生徒ニ、教師ノ言ヲ模倣シテ諳誦

復習ノ必要

セシメントスル時、又ハ地理、歴史、博物上ノ新ナル名及ビ特質ヲ心ニ印セシメントスル時、若シクハ幼者ノ怯心ヲ消失セシメ、教授上ノ變化ヲ保持シ、一事項ヲ特ニ注意スベキモノトシテ示ス時ニモ、用ヒテ效アリ然レドモ是ハ精密ナル練習ニ適セザルモノナレバ、練習ノ主要ナル方法トシテ用フルコトナキ様ニ注意スベシ。

三、復習 總ベテ教師ノ教ヘ傳フル所ノモノハ、生徒決シテ忘却スル能ハザル様ニ習得シテ、何時ニテモ、迅速ニ應用セラレ得ル様ニ至ラシムベシ、而シテ知識ノ、堅ク保持セララルト否ザルトハ、最初之ヲ收得スルノ不完ニ由ルコト大ナリ。然レドモ最初善ク會得シタルコトニテモ、時日ヲ經過スルニ從ヒ、漸ク其ノ明瞭ノ度ヲ減ジテ、再ビ之ヲ想起スルコトノ困難ナルハ、心理上免ルベカラザル所ナリ。唯之ヲ拒グ

ノ道ハ、一度知得シタル所ヲ、時時意識内ニ復現セシムルニ在リ、故ニ教師ハ、時時復習ヲ行ヒ、嘗テ教ヘシ事ニ就キ、生徒ヲシテ再ビ觀察思考シ、又ハ之ヲ行ハシムルコト等ヲ、其ノ要務トス。而シテ此ノ務ヲ盡スニ當リテハ、次ノ告示ニ從フベキナリ。

(イ)復習ハ、屢之ヲ行フヲ善シトス。一事ヲ教授スルニ付キテハ、嘗テ教ヘタル事柄ニテ、其ノ豫備タルモノヲ復習セシメ、一教授時間ニ於テモ、一小段落ノ後ニハ、其ノ中ノ事項ヲ繰リ返シ、一章ノ終リニ於テハ、全章ノ大意ヲ總括シテ述ベシメ、大段落ノ後、又ハ一定ノ時期ノ後ニハ、其ノ間ニ學習シタルモノノ大復習ヲ行フベシ。

(ロ)復習ハ、材料ノ性質ニ應ジテ、或ハ之ヲ精密ニシ、或ハ之ヲ簡短ニスベシ。教授ノ異ナル事項ニ由リテ、記憶ニ難易アリ、

其ノ具體的ノモノハ、抽象的ノモノヨリモ、其ノ興味深キモノハ、薄キモノヨリモ、其ノ連關ノ廣キモノハ、獨立ノモノヨリモ記憶スルコト容易ナルヲ以テ、復習ヲ要スルコトモ、比較的僅少ナルベシ。又重要ナル教科、及ビ一教科ノ主眼トスベキ箇所ハ、深ク之ヲ心ニ印セシメンガ爲メ、特ニ注意シテ、其ノ復習ヲ重ヌベキモノトス。

(ハ)教師ハ、教材ノ連結統合ノ上ニ、復習ヲ利用スベシ。故ニ復習ニテハ、唯嘗テ學ビタル所ヲ其ノ儘ニ繰リ返サシムルノミニテ満足セズ、異ナル形、異ナル見方ヲ以テ、之ヲ行ハシムルコトヲ勉メザルベカラズ。例ヘバ嘗テ讀マシメタルコトヲ材料トシテ、文ヲ作ラシメ、算術ノ復習トシテ、理科ニ關スル事項ノ計算ヲサシムルガ如シ。斯カル復習ハ、倦怠ヲ防止シ、練習ヲ喜バシムル上ヨリ見ルモ、必要トスル所ナリ。

(三)教師ハ、復習ニ由リテ、兒童ノ力ヲ試ミ、其ノ理會ノ猶不十分ナルヲ認メタル時ハ、直チニ再ビ其ノ完全ナル理解ニ必要ナル例證・説明等ヲ用フベシ。

第二章 訓育

第一節 訓育ノ目的及ビ訓育ト教授ト

ノ關係

訓育トハ、主ニ兒童ノ感情及ビ意思ニ及ス教育上ノ働ヲ指スモノニシテ、情ニ厚ク、優美ニシテ快豁ナル氣風ト、確乎タル道德的意思トヲ發育スルヲ目的トス。故ニ訓育ハ、狹義ノ教育ト云フベク、家庭ノ教育ハ勿論、學校教育ニ於テモ、特ニ其ノ普通ノ性質ヲ有スルモノハ、常ニ訓育的性質ヲ有セザルベカラズ。

的訓育ノ目

授訓育ト教

知情意ハ、密接ニ連關シ、實際上分離シ能ハザルモノナルガ故ニ、訓育ト教授ト相待テ相助クルニ非ザレバ、陶冶ノ效果ヲ見ルコト能ハズ。兒童ヲ教ヘントスルニハ、先ヅ彼ヲシテ教ヘテ受ケ得ル状態ニ至ラシメザルベカラズ、秩序・規律等ノ概念ヲ授ケントスルニハ、先ヅ其ノ必要及ビ貴重スベキコトヲ實地ニ感ゼシメザルベカラズ、故ニ教授ハ、訓育ヲ以テ其ノ豫備的條件トセンコトヲ要ス。且教授ハ、謹嚴ナル業務ニシテ、教授中ハ、生徒ヲシテ從順・靜肅ニ勉メシムルモノナレバ、訓育ハ、常ニ教授ト共ニ行ハルベキナリ。殊ニ被教育者ノ數多ク、其ノ理心未ダ發達セズ、其ノ自然的性欲強ク、氣質ノ差違著シク、從來ノ習慣ニモ異ナル所多キ場合ニ於テ、之ガ訓育ヲ缺ク時ハ、教授モ終ニ之ヲ行フヲ得ザルベシ。又教授ニ於テ、貴重スベキ修身上ノ事項ヲ己ニ能ク知ラシム

トモ、之ヲ實地ニ練習スル機會ヲ與ヘザレバ、其ノ效ヲ生ゼシメ難シ、故ニ訓育ハ、又教授ニ後レテ、教授ノ效果ヲ實地ニ及サシムルモノナリ。尙教授ノ訓育ノ上ニ及ス影響ニ付キテハ、後ニ論ズル所アルベシ。

第二節 抑制ト誘導

教育以外ニテ、人心ニ影響スルモノ多シ、其ノ善良ナルモノハ、教育上之ヲ利用シ、不良ナルモノハ、勉メテ之ヲ遠ザクベシ。且又兒童ハ、早クヨリ一種ノ性ヲ示シ、種種ノ傾向ヲ有スルモノナレバ、訓育ニ於テハ、其ノ惡シキモノヲ抑壓シ、善キモノヲ多ク働カシメテ、益多ク發達セシムベキナリ。故ニ訓育ノ働ヲ大別スレバ、兒童ノ外圍ノ惡シキ影響及ビ其ノ内圍ノ惡シキ萌芽ヲ抑制スルモノト、外圍ノ良キ狀態及ビ内圍ノ善キ傾向ヲ誘導スルモノトノ二トナスベシ、サレド是

訓育ノ働
ノ區別

ハ固ヨリ嚴密ニ區別スベキモノニ非ズ、一方ヲ抑制セズシテハ、他方ヲ誘導シ難ク、不良ノ性ヲ抑制スル良法ハ、善キ性ヲ誘導スルニ在レバ、訓育ノ此ノ兩方面ハ、相待テ相助ケ、實際決シテ分離スベカラザルモノナリ、唯兒童生長ノ時期ニ應ジテ、多少斟酌スル所アルベキニ過ギズ。

被教育者
發育ノ時
期ト訓育

最モ幼少ナルモノニハ、未ダ直接ニ其ノ心ニ影響セシムルコト難ケレバ、姑ク之ヲシテ不良ノ事情ニ遠ザカラシメ、其ノ榮養・運動等ニ注意シテ、身體上ノ缺點ニ基ク不良ノ結果ヲ避ケシムルコトヲ主トスベシ。然レドモ幼兒ハ、久シカラズシテ種種ノ性欲ヲ發シ、欲望ヲ生ズルモノナレバ、此ニ至リ、教育者ハ、自己ノ心ヲ以テ幼者ノ内心ヲ支配シ、其ノ行爲ヲ規定シ、之ヲシテ教育者ノ心ヲ以テ其ノ心トナサシメザルベカラズ。從順ノ習慣ヲ養フハ、特ニ最初ノ訓育ニ於ケル

一 要務ナリ、邪惡ノ傾向ニ對スル抑制ハ、決シテ寛ナルベカラズ、幼少ノ頃ヨリ自己ノ上ニ他ノ勢力ヲ感ズルコトナク、其ノ欲望ノ常ニ滿タサルコトヲ經驗スルモノハ、總ベテノ物ヲ自己ノ爲メニ存在スル如クニ考へ、善惡ニ關セズ我意ヲ張り通シ、他人ヲ輕侮シ、自己ヲ中心トスル惡風ヲ生ズルニ至ルベシ。一般ニ祖父母ノ手ニ生長シタル兒童ノ、我意強ク、教育上大ナル困難ヲ來スハ、其ノ抑制ノ寛ニ失スルニ由レリ、是上流社會ノ子弟ノ、訓育上特ニ注意スベキ所ナリ。然レドモ教育者ハ、從順ノ爲メニ、從順ヲ要求スベキモノニ非ズシテ、兒童ノ利益ノ爲メニ、之ヲ求ムベキモノナリ、更言スレバ、從順ハ訓育ノ目的ヲ達スル一手段タルヲ以テ、教育者ガ自己ノ便利ノ爲メ、或ハ意ノ如ク人ヲ使用スルコトノ快ナル爲メ、之ヲ要スルガ如キハ、假令其ノ結果善良ナルモ、

猶非難スベキコトニシテ、是即チ教育ノ權利ヲ誤用スルモノト云フベシ、況ヤ其ノ結果、屢兒童ノ活力ヲ滅殺シ、其ノ善良ナル個性ノ發育ヲ妨害スルノ恐アルヲヤ。教育者ハ、其ノ眞ニ醜ト感シ、不當ト認ムル點ニ就キテ、抑制ヲナシ、又嚴格ニ從順ヲ要求スト雖モ、兒童ノ性質中ノ善良ナルモノニ對シテハ、勿論、其ノ無邪氣ナル願望及ビ行爲ニ對シテモ、勉メテ寛優ナラザルベカラズ、若シ強ヒテ細末ノ點ニマデ干涉シ、兒童ヲシテ一一其ノ命ヲ受ケ、其ノ許可ヲ得テ、事ヲナサシメント欲シ、特質アルモノヲ總ベテ一様ナル模型ニ投ゼントモバ、反ツテ訓育ノ目的ニ反シ、弱キ性質ノモノハ之ガ爲メニ無氣力、不決斷ノ人トナリテ、常ニ他人ノ意ヲ伺ヒ、他人ノ後ヘニ附キテ事ヲナスニ至リ、少シク強剛ノ性ヲ有スルモノハ、表ニ從順ヲ示スモ、内ニ服從ノ念ナク、教育者ノ目

ヲ儉ンデ、反對ノ舉動ヲナシ、終ニハ狡猾陰險等ノ惡風ヲ生ズル恐アリ、兒童ノ漸ク生長シテ、其ノ事理ヲ辨ズル力ノ増加スルニ從ヒ、吾人ハ、之ヲシテ益多ク自己ノ意思ヲ以テ事ニ當ラシメ、善キ方向ニ於テ、成ルベク多ク活動セシメザルベカラズ、自力ニ由リテ、多クノ困難ト戰ヒ、種種ノ誘惑ト爭ヒ、而シテ後始メテ確乎タル性格ヲ生ズルモノナリ。俗ニ「愛子ニハ旅行セシムベシ。」ト云ヒ、又「ゲーテガ」才知ハ、靜中ニ熟シ、性格ハ、世ノ激流中ニ成ル。」ト云ヒシハ、此ノ理ヲ示スニ外ナラズ。蓋シ教育ノ時期ニ於テハ、吾人ハ生徒ヲシテ世ノ激流ヲ經驗セシムルヲ得ズト雖モ、其ノ監督模範ノ下ニ働クコトヨリ、漸次自己ノ意思ヲ以テ事ヲナス状態ニ移リ、以テ他日世ノ激流中ニ立チテ屈撓セザル準備ヲ得シムルハ、此ノ時期ニ於テモ、既ニ大ニ注意スベキ所ナリ。

訓育ノ身體的基礎

第三節 身體ニ對スル注意

身體ニ對スル注意ハ、訓育ノ出發點ニシテ、又其ノ一要務ナリ、心ノ良キ發達ヲ望ムモノハ、必ズ身體ノ良キ發育ニ注意セザルベカラズ、健全ナル身體ヲクシテ、健全ナル精神ヲ得ルコトハ、實ニ難キ所ナリ。彼ノ勉強ヲ好マズ、不注意ニシテ、直チニ倦怠シ、理會ノ不敏ナルガ如キハ、榮養ノ不十分、換氣ノ不完全、運動ノ不足等ニ基クコト大ナリ、故ニ不十分ナル養育ヲ受ケタル小兒ニシテ、一旦善キ養育ヲ受クルニ至レバ、大ニ心ノ活力ヲ増加シ、喜ビテ物ヲ學ビ、確實ニ觀察シ、善良ニ記憶シ得ル如キコト少カラズ、又身體上ノ缺損ハ、自ラ不快、不滿ノ情ヲ起シ、人ヲ信ゼズ、同情ニ薄ク、狡猾陰險ニシテ、且勇氣ニ乏シキガ如キ惡風ヲ生ズルコト多シ。之ニ反シテ、身體上ノ必要常ニ正シク滿タサル時ハ、氣宇爽快ニシ

欲望ノ制限

テ、自ラ己ヲ信シ、人ヲ愛シ、從順ニシテ感謝ノ情ニ富ミ、且能ク事ヲ爲スノ勇氣ヲ發生ス。ルソーガ「身體弱キ程、吾人ハ是ニ由リテ支配セララルコト多ク、身體強ケレバ強キ程、之ガ吾人ニ服従スルコト深シ。」ト云ヒシハ至當ノ言ナリ。故ニ教育者ハ、常ニ深ク兒童ノ衛生ニ意ヲ用ヒザルベカラズ、今左ニ情意ノ陶冶ニ直接關係アル二三ノ注意ヲ舉グ。

(一)兒童ノ缺乏ヲ滿タス爲メニ、儉素適度ノ風ヲ重ンズベシ、過度ノ食欲、又ハ美味ヲ選食スル惡風ハ、訓育上ニ少カラザル障害ヲ與フルコト明カナリ。總ベテ快不快ノ情ハ、比較的ノモノナレバ、常ニ快樂ノ中ニ在ルモノハ、非常ニ強キ刺激ヲ受ケザレバ、一層多ク快樂ヲ感ゼザルベク、之ニ反シテ、困難勤勞ノ中ニ在ルモノハ、數時間ノ休憩又ハ單簡ナル食物モ、大ニ愉快ヲ生ズルニ足ルモノトス、故ニ教育者ハ、兒童ヲ

正シキ要求ノ満足

シテ平素質朴ニ慣レ、其ノ身ニ不相應ナル欲望ヲ懷カシメザラシムコトヲ要ス。

(一)兒童ノ正當ナル要求ハ、一定ノ時ニ於テ正シク供給スベシ。其ノ耐忍シ能ハザル身體上ノ缺乏ノ、正當ナル時期ニ於テ充足セラレザルカ、又ハ之ヲ滿タス方法宜シキヲ得ザレバ、此ノ情益昂進シテ、以テ他ノ高尚ナル心的作用ヲ妨害ス。ペスタロツチー曰ハク、幼時ノ植物的生活ヲ障害スルモノハ、其ノ覺官的即チ動物的欲情ヲ強ムル原因トナルモノナリ。若シ母ガ泣號スル幼兒ヲ久シク顧ミズシテ、其ノ缺乏ヲ滿タスヲ怠リ、爲メニ之ヲシテ永ク不快不滿ノ状態ニ在ラシムル時ハ、其ノ苦痛ノ情ハ、邪惡ナル不穩ノ状態及ビ之ニ附從シテ生ズル種種不良ノ結果ノ萌芽ヲ含有スルニ至ルベシ。假令後ニ至リテ、其ノ缺乏滿タサルルモ、母ニ對スル神

聖ナル愛及ビ信用ノ萌芽ハ、大ニ發育ヲ妨ゲラルルモノナリ。身體的快情ニ基キテ母ヲ愛シ、之ヲ信用スルコトアリテ、始メテ兒童ハ、人類の愛情ト人類の信用トヲ有スル地位ニ達スルヲ得ルモノトス、云々。サレバ必要ナル満足ヲ與ヘテ、情意ヲ鎮靜スルハ、徳性ヲ養フ上ヨリ見ルモ、決シテ忽ニスベカラザルモノナリ。

好奇心運動性及ビ名譽心ノ利用

(三)不良ノ性欲及ビ欲望ヲ抑制スルニ付キテハ、好奇心運動的性欲及ビ名譽心ノ如キモノヲ利用スベシ。一般ニ兒童ガ、其ノ感覺機ヲ働カスヲ喜ブハ、明カナル事實ナリ、即チ音響ヲ發スルモノ及ビ彩色シタルモノヲ好ミ、之ヲ打チ之ヲ弄シテ他ヲ忘レ、且其ノ間ニ自ラ觀念ヲ豊富ニスルガ故ニ、教育者ハ、之ニ相當セル遊具、圖畫等ヲ與ヘテ、之ヲ樂シマシムベシ、破損ヲ恐レテ、容易ニ手ヲ觸レシメザル如キハ不可ナ

リ。然レドモ兒童ハ既ニ一ヲ得レバ、更ニ他ヲ得ントシ、從ツテ物ニ飽キテ、氣ノ變動シ易キ惡習慣ヲ生ズル恐アル上ニ、其ノ力ノ發スルニ任セ、物品ヲ破壞シテ快トスル傾アルヲ以テ、其ノ欲スル儘ニ種種ノモノヲ與フルコトヲセズ、之ヲシテ漸次ニ物品ノ貴重スベキコトヲ覺ラシムベシ。兒童ノ運動ヲ好ムコトモ事實ニシテ、吾人ハ是ニ由リテ、亦飲食物ニ對スル欲望及ビ一般ニ其ノ劣情ヲ排シ、其ノ惰弱ノ風ヲ生起セシメザルコトヲ得ベシ。然レドモ活動モ、之ヲ其ノ發スル儘ニ放棄スル時ハ、往往訓育ノ目的ニ反スル不良ノ結果ヲ來スコトアリ、フリーエーリツヒ曰ハク、吾人ハ、屢街衢ヲ横行シテ、往來ヲ妨ゲ、庭園ニ侵入シテ、樹木ヲ損害シ、或ハ喧騒相爭ヒ、或ハ鳥獸ヲ追ヒテ、之ヲ苦シメ又ハ殘殺スル小兒ヲ見ルコトアリ、是等ノ行爲ハ、畢竟其ノ活力ノ運動的性欲

トナリテ發スルニ過ギザルモ、適當ノ監督教導ナキ爲メ、不良ノ方向ニ傾キタルモノト云フベシ。而シテ之ヲ制止スル良法ハ、説諭ニ非ズ、叱責ニ非ズ、其ノ力ヲ他ノ善良ナル方向ニ於テ、十分ニ働カシムルニ在リ、例ヘバ善キ遊戯ヲナサシムル如キハ、大ニ貴重スベキコトニシテ、特ニ其ノ競争的ノモノハ、忍耐、協力、進取等ノ氣風ヲ進メ、一般ニ意氣ヲ盛ナラシム。作業ノ如キモ、亦此ノ點ニ於テ有益ナリ、男子ニハ、花園ヲ作り、草木ヲ植エ、植物ヲ採集シ、體操ヲナサシメ、女子ニハ、特ニ室内ノ掃滌、整備等、家事上必要ノ勞動ヲナサシムベシ。要スルニ教育ハ、兒童ノ運動的性欲ヲ利用シ、遊戯、作業、手工等ノ形ニ於テ、之ヲ誘導シ、下劣ノ情ヲ制スト同時ニ、他ノ高等有益ナル情意ノ發育ヲ期スベキモノナリ、云々。次ニ名譽心ヲ利用スルコトモ、若シ正シク之ヲ導クコトヲ得バ、下劣

ノ欲望ヲ制スル上ニ、少カラザル效果ヲ生ズベシ、吾人ハ、兒童ヲシテ不當ノ行爲ヲ發セシメザルト同時ニ、之ヲ發スルコトノ、如何ニ耻ヅベキコトナルカヲ覺ラシメザルベカラズ、而シテ兒童ノ之ヲ覺ルニ至ルト否ザルトハ、其ノ周圍ノ人ノ感情如何ニ關スルモノニシテ、卑穢ノ言語、行爲ニ就キテ、醜トセザル程ノ社會ニ於テ、羞耻ノ情ノ發生ヲ望ムハ甚ダ難シ。故ニ吾人ハ、家庭及ビ學校ニ於テ、良風ヲ維持シ、習慣ノ力ニ由リテ、之ニ屬スルモノヲシテ、此ノ風ニ反スルコトヲ耻辱ト思フニ至ラシメザルベカラズ。

第四節 生活ニ由ル訓育

兒童ガ、其ノ周圍ノ人ヨリ識ラズ知ラズ受クル繼續的影響ハ、其ノ性格ヲ決定スル上ニ於テ、大ニ力アリ、何ントナレバ兒童ハ、是ニ由リテ一定ノ習慣ヲ得ルニ至ルヲ以テナリ。故

習慣ノ必要

ニ吾人ハ、訓育上習慣ノ勢力ヲ至大ナリトス、教フルコトアルモ、絶エズ之ニ從ツテ行ハシムルコトナケレバ、情意ヲ動カスニ足ラズ、殊ニ事理ヲ覺ル力ニ乏シキ幼者ニ對シテハ、先ヅ其ノ良習慣ヲ養成スルコトヲ勉メザルベカラズ。故ニ今習慣ノ根原タル生活ノ範圍ニ就キテ一言シ、而シテ後訓育ノ特殊ノ方法ヲ論ゼントス。

一、家庭生活

家庭ハ、教育ノ最初ノ且自然ノ場所ニシテ、兒童ハ、茲ニ於テ始メテ種種ノ人事的關係ヲ經驗シ、從ツテ又其ノ後來有スベキ性質ノ根據ヲ固ムルモノナリ。今社會ニ於ケル人ト人トノ關係ヲ見ルニ、總ベテ三アリ、上ノモノノ下ノモノニ對シ、下ノモノノ上ノモノニ對スル關係、及ビ同等者ノ關係是ナリ。而シテ是等ノ關係、家庭ニ於テハ、模範的形狀ヲ以テ存

家庭ノ訓育的價值

在ス、即チ親ノ子ニ對シテ爲ス所ハ、上ノモノノ下ノモノニ對スル關係ノ模範ニシテ、全ク自己ノ利害ヲ忘レ、純粹ナル慈愛・眞實・誠意ヲ以テ他ニ對スルコトハ、子ヲ保育スル親ニ於テ、始メテ見ルヲ得ベシ。子ノ親ニ對スル關係ハ、下ノモノノ上ノモノニ對スル關係ノ模範ニシテ、母ノ周到ナル養育ニ對スル感謝ノ情ハ、強固ナル愛情トナリテ、人類社會ニ最も貴重スベキ慈愛ノ情ノ基ヲナシ、一家ヲ主宰スル父ニ對スル敬服ノ情ハ、正理ヲ貴ビ、義務ヲ重ンズル氣風ノ根原ヲナスモノナリ。次ニ兄弟姊妹間ノ關係ハ、同等者間ノ關係ノ模範ニシテ、其ノ相互ノ感情ハ、尊敬・服從ノ性質ヲ帶ブルコト少シト雖モ、利害ヲ共ニスル機會ノ多キ爲メ、友愛ノ情、及ビ一致協力シテ、相依リ相助ケントスル精神ヲ養フコト大ナリ。グリム曰ハク、子ハ、親ノ兒童期ヲ知ラズ、親ハ其ノ子ヲ

成熟者又ハ老人トシテ見ル能ハズ、故ニ親子ハ、完全ナル同伴者ニ非ズ、親ノ生活ハ、過去ニ屬シ、兒童ノ生活ハ、未來ニ延ブルモノナリ。然ルニ兄弟姊妹ハ、若シ不意ノ不幸ニ由リテ、其ノ生活ノ早ク斷絶スルコトナケレバ、兒童トシテ、共ニ遊ビ、成人トシテ共ニ事ヲナシ、老年ニ至ルマデ相伴ヒテ、互ニ其ノ秘密ヲ談リ、誠心ヲ交換スルヲ以テ、弟ヲ知ルハ、兄ニ如クモノナク、兄ヲ知ルハ、弟ニ如クモノナシ。ト、其ノ他家庭ニ行ハルル勤儉忍耐禮讓秩序清潔等ノ良風ハ、夙ニ幼者ノ心情ニ染徹シテ、習終ニ性トナル。故ニ早ク父母ヲ失ヒ、家室ニ於テ親姻ト團欒相樂シムヲ得ザル兒童ハ、實ニ不幸ノモノト云ハザルヲ得ズ、只斯クノ如キ場合ニ於テハ、父母ニ代リテ其ノ教育ヲ掌ルモノ、能ク眞實ノ慈愛ヲ有シ、其ノ教育ノ場所ヲシテ、成ルベク多ク自然的家庭ノ性質ヲ存セシメン

家庭教育
補足ノ必
要

コトヲ要ス。

訓育上、家庭ノ貴重スベキコトハ明カナレドモ、家庭ノ價值ハ、唯其ノ形ニ存スルニ非ズシテ、父母ノ人トナリ、其ノ知識ノ程度、其ノ教育的技量等ニ關スルモノナリ。若シ父母ノ性行不良ニシテ、邪惡ノ例ヲ示スカ、又ハ兩者間ニ、舉動思想ノ一致ヲ缺キ、爲メニ秩序的家庭ヲ構成スルニ足ラザレバ、家庭ハ却ツテ弊害ヲ生ズルモノトナルナリ。且善良ナル家庭ニ生長スルモノモ、一定ノ年齢ニ達シタル後ハ、生活ノ異ナル範圍ニ入りテ、異ナル經驗ヲナスヲ有益トスルヲ以テ、吾人ハ、家庭ノ外ニ教育ノ場所ヲ設クルコトヲ必要トス。

二、學校生活

學校ハ、兒童ノ入込ムベキ生活ノ第二ノ範圍ナリ、而シテ其ノ價值アルハ、單ニ教授ノ場所タルガ爲メノミナラズ、其ノ

學校ノ訓
育的價値

組織其ノ物ニ於テ、大ニ兒童ノ心情ヲ動カシテ、自ラ訓育的
效能ヲ生ズルコトアルニ由ル。一般ニ學校ノ生活ハ、大ニ家
庭ト異ナル所アリ、家庭ニ於テハ、知ラシメズシテ、依ラシム
ルコトヲ主トシ、兒童ヲシテ識ラズ知ラズ秩序ヲ守リ、規律
ニ服從セシムルモノナルガ、學校ニ於テハ、種種ノ規定、明顯
トナリテ、兒童權威ノ力ヲ感ズルコト強ク、法則ヲ法則トシ
テ見、之ヲ意識シテ、之ニ從フ狀態ニ導カルルモノナリ。家庭
ニ於ケル兒童ハ、愛ノ中心トナリテ、特別ノ注意ヲ受クレド
モ、始メテ學校ニ入レバ、其ノ交際ノ範圍、俄ニ廣大トナリ、多
クノモノト共同ニ教授ヲ受ケ、業務ニ從ヒ、規律ニ服セザル
ヲ得ズシテ、最早家庭ニ於ケルガ如ク自己ヲ主トスル能ハ
ザルヲ覺リ、其ノ接スル所ノモノハ、自己ト同様ノ權利・利益
ヲ要求スルモノナルヲ經驗スベシ。而シテ學校ニ於ケル斯

教育ト社
會トノ
狀況
トノ
關係

クノ如キ關係ハ、實ニ社會生活上ノ關係ヲ表示スルモノナ
レバ、兒童ハ、茲ニ始メテ實際ノ生活ノ端緒ヲ見ルコトヲ得、
世界ハ、自己ニ私セズ、又自己ノ爲メニ存在スルニ非ズ、却ッ
テ自己ハ、其ノ一部分トシテ、之ニ適應セザルベカラザルヲ
知り、從ツテ己ノ眞價ヲ覺リ、虛傲ノ心ヲ挫キ、一般ノ規定ヲ
遵奉シ、全體ノ利益ヲ以テ自己ノ利益トスル氣風ヲ生ズベ
シ。其ノ他怠惰ニシテ學術進マザレバ、他ノ輕侮ヲ招キ、柔弱
不熟練ノ舉動アレバ、嘲笑ヲ招ク恐多キヲ以テ、自ラ奮起ス
ル所アラシムル如キモ、亦學校生活ノ效ト云フベシ。

三、社會生活

吾人ハ、兒童ヲシテ唯一人ノ教育者ノミニ接セシメテ、之ヲ
全ク社會ヨリ隔離スル能ハズ、家庭教育及ビ、學校教育ノ時
期ニ於テモ、社會ノ影響ハ、避クベカラザル所ナリ。殊ニ學校

教育ヲ終リタルモノハ、獨リ社會ノ影響ヲ受ケテ、自己ヲ進ムルモノナレバ、其ノ狀態ノ不良ナル時ニハ、啻ニ學校教育ノ不足ヲ補ヒ得ザルノミナラズ、反ツテ學校教育ノ效果ヲモ消失セシメントス。サレバ補習教育ヲ進メテ、少年ヲシテ自己ヲ進ムルニ、最モ便利ニ、且最モ適當ナル道ヲ得シメ、以テ社會一般ノ改良ノ爲メニ盡スコトハ、近時ノ社會ニ於ケル急務ト云フベシ。而シテ補習教育ノ重ナル機關ハ、補習學校ナレドモ、一般ニ學校ハ、教化上ノ一機關ニ過ギザルモノナレバ、吾人ハ、他ノ方面ヨリモ、大ニ社會教化ノ發達ヲ計ラザルベカラズ、例ヘバ圖書館ヲ設ケ、理化學・天文學等ニ關スル機械ヲ陳列シ、通俗講談會ヲ開キ、通信教授ヲ行フ如キコト是ナリ。其ノ他社會ニハ、講釋・演劇ノ類アリ、是等ハ、人情ノ細微ノ發動マデモ、言語又ハ技藝ヲ以テ巧ミニ示スモノニ

シテ、有益ナル知識ヲ傳播シ、高尚ナル娛樂ノ源トナルモノナリ、然レドモ、其ノ種類ニ由リテハ、危險ナル思想ヲ傳へ、人性ヲ腐敗セシムル原因トナルモノアリ、而シテ現ニ是等ノモノノ多クハ、大人ヲ樂シマシムル目的ナルガ故ニ、兒童ニハ甚ダ適セズ、殊ニ當今我が國ニ行ハルル演劇及ビ講釋ノ中ニハ、醜猥ニシテ、視聽ニ耐ヘザルモノ鮮カラザレバ、務メテ兒童ヲシテ之ニ近ヅカシメザランコトヲ要ス。小説類モ、特ニ兒童ノ爲メニ適當ナル材料ヨリ編成セラレタルモノノ外ハ、之ヲ益スルヨリモ、害スルコト多カルベシ。近來學事ノ進歩ニ伴ヒ、新聞雜誌及ビ書籍ノ出版日ニ増加シ、書ヲ讀ミ得ルモノノ益増加スルハ、賀スベシト雖モ、唯讀ムコトヲ教ヘテ、讀ムベキモノヲ教ヘザレバ、其ノ弊ハ、却ツテ讀ムヲ教ヘザルニ過グルモノアリ。野鄙猥褻ナル小説類ノ害ハ、措

イテ論ゼザルモ、彼ノ俠客又ハ義賊ノ傳記ノ如キモノノ、今日ノ社會ニ不適當ナルコトハ甚ダ明カナリ。西洋諸國ニテハ、大ニ少年文學ニ重キヲ置キ、讀ムコトヲ教フト同時ニ、讀ムベキモノヲ與ヘントス。我が國ニ於テモ、一般ニ小説及ビ其ノ他文學ノ、今一層進歩シテ、社會教化上ノ一勢力トナルト同時ニ、少年文學ノ見ルベキモノアルニ至ランコトハ、訓育上、吾人ノ切ニ望ム所ナリ。

第五節 示範

示範ノ效

教授ニ於テ、吾人ガ示範ヲ要スルコトハ、既ニ述べタルガ、訓育ニ於テモ、人ノ模倣性ヲ利用シ、正シキ例ヲ示シテ、之ニ從ハシムルコトニ由リテ、一定ノ良キ習慣ヲ養フコトナカルベカラズ。殊ニ幼少ナルモノハ、模倣性强ク、之ニ反シテ、理ヲ解シ自ラ裁決シ判定スル力乏シク、他人ノ例ヲ要スルコト

多ケレバ、吾人ハ、特ニ最初ノ訓育上、示範ノ效ヲ至大ナリトス。示範ハ、即チ訓育上ノ他ノ方法ノ未ダ效ナキ時ニ於テ、既ニ其ノ有益ナル勢力ヲ顯シ、且人ノ自然ノ性ニ從フヲ以テ、強迫ヲ感ゼシメズシテ、習得ヲ確實容易ナラシム、而シテ強迫的方法ハ、屢之ヲ加フレバ、遂ニ其ノ效力ヲ減少スル恐アレドモ、示範ハ規則正シク行ハレ、且永續スレバ、彌其ノ勢力ヲ大ナラシムルモノナリ。教育上善良ナル家庭及ビ學校ヲ必要トスルコトモ、兒童ニ好例ヲ示シテ、意識的又ハ無意識的ニ、其ノ意思行爲ヲ支配スルコト多キガ爲メナリ。故ニ一家内ニ於テ、父母タルモノハ、深ク自己ノ言語舉動ヲ慎ミ、又其ノ使用スル下婢從僕及ビ其ノ常ニ往復スル人等ハ、成ルベク善良ノモノヲ選ブベシ、殊ニ兒童ノ共ニ遊ブ所ノ仲間ハ、最モ注意シテ選擇センコトヲ要ス。又學校ニ於テハ、教師

心
情
外
圍
ノ
關
係

タルモノ、童ニ兒童ニ對スル時ノミナラズ、平常其ノ言行ヲ正實ニシ、兒童ヲシテ其ノ人トナリヲ敬慕セシメ、以テ其ノ模範トナルベキコトヲ勉ムベシ。自己ノ行未ダ正理ニ適ハズ、自己ノ言語未ダ誠實ナラザルニ、反ツテ兒童ノ行爲ノ正實ナラザルヲ責メ、其ノ虚偽ノ言ヲ叱スルハ、固ヨリ不當ニシテ、其ノ效能ノ薄キハ、自然ノ理ナリ。

一般ニ兒童ノ心情及ビ行爲ハ、其ノ周圍ノ状態ニ關係スルコト甚ダ密ナリ、幼ヨリ目ニ野鄙ナルモノヲ見、耳ニ淫靡ナル聲ヲ聞クモノハ、其ノ醜ヲ意識セズ、却ツテ之ヲ喜ビテ、自ラ之ニ化シ、他日正シキ教育ヲ受クルニ及ビテ、其ノ賤シムベキコトヲ知ルモ、容易ニ之ヲ脱スルコトヲ得ザルモノナリ。大人ト雖モ、其ノ行爲ノ、外圍ノ事情ニ關係スルコト少シトセズ、破壊ニ傾キタル家屋内ニ在ルモノハ、之ヲ貴重スル

念ヲ生セズ、往往自ラ益之ヲ不潔ナラシムルコトアリ。之ニ反シテ清麗ナル屋内ニ在ル時ハ、自ラ之ヲ貴重スル情ヲ生ジテ、不潔ナルコトヲサズ、而シテ雄大ナル建築物内ニ入ル時ハ、心自ラ謹肅ヲ感ズルモノナリ。故ニ兒童ヲシテ清潔秩序ノ風ニ慣レシメント欲セバ、之ヲシテ其ノ衣服身體ヲ清潔ニセシムト同時ニ、其ノ周圍ヲ整理シテ、清麗ナラシムベシ、生徒ヲシテ校舍及ビ教場ヲ清潔ニシ、之ヲ破損セザラシメント欲セバ、先ヅ其ノ掃除ヲ丁寧ニシ、其ノ建築構造ノ上ニモ、堅固ト衛生ニ適スルコトトニ反セズ、且虚飾ニ流レザル限リハ、適當ノ粧飾ヲ加ヘンコトヲ要ス。是圖畫ヲ教ヘ音楽ヲ練習セシムルガ如キ教授上ノ事業ト並ンデ、美育上大ニ注意スベキ所ナリ。

第六節 遊戯

遊戯ノ性
質ト其ノ
價値

遊戯ハ、單ニ情意ノ發達ノミニ關スルモノニ非ズ、知識ノ發達モ、直接是ニ由ルコト少カラズ、故ニ吾人ハ、次ニ之ヲ一般ニ心的陶冶ノ手段トシテ論ゼントス。

遊戯ヲ好ムハ、兒童ノ自然ノ性ニシテ、即チ自己活動ノ發表ナリ、故ニ吾人ハ、之ヲ外部ノ必要ニ應ズル働ト區別シ、又單ニ見聞ヨリ生ズル受動的快樂及ビ不活潑ナル休止的狀態トモ區別ス、而シテ遊戯ノ貴ブベキハ、實ニ此ノ點ニ在リトス。蓋シ其ノ如何ナル種類ノモノモ價値アリトハ云フ能ハザレドモ、若シ能ク其ノ選擇ニ注意スレバ、教育上少カラザル效能ヲ生ズルコト疑ナシ、今之ヲ概括スレバ、則チ次ノ諸點ニ歸ス。(一)遊戯ノ性ハ、兒童ヲシテ山野ヲ走り廻リ、又ハ花ヲ摘ミ草木ヲ集メシムルモノナレバ、即チ兒童ヲ自然界ニ導キテ、自然ト交通スル機會ヲ多クスルモノナリ。(二)運動的

遊戯ハ、特ニ筋肉ノ力ヲ増シ、身體ノ熟練ヲ進メ、一致ノ運動ニ慣レシム。(三)知覺、想像、思考ノ諸作用モ、亦遊戯ニ由リテ發達ス、是遊戯ニ於テハ、種種ノ物體及ビ玩具ヲ取扱ヒ、且畫キ數ヘ、又ハ組立ツル如キ働ヲ爲サシムルコト多ケレバナリ。

(四)遊戯ハ、又兒童ヲシテ能ク働カシムルヲ以テ、不活潑ヨリ生ズル惡結果ヲ拒止スルニ足ル。(五)殊ニ其ノ競争的ノモノハ、勇氣ヲ養ヒ、忍耐ノ風ヲ進ムルコト少カラズ。(六)爽快ノ心情ハ、特ニ兒童ニ必要ナルモノナルガ、彼ハ其ノ自然ニ傾ク遊戯ニ於テ、最能ク此ノ情ヲ保持シ得ベシ。(七)兒童ノ個性ハ、其ノ遊戯ニ於テ、最モ自然ニ發顯スルモノナレバ、教育者ハ、是ニ於テ兒童觀察ノ好機會ヲ得ルモノナリ。

遊戯ハ、右ニ述ベタル如キ效能ヲ生ズレドモ、實際之ヲ生ズト否ザルトハ、方法ノ如何ニ由ルモノナリ、故ニ左ニ其ノ

方法上ノ
注意

最モ多ク注意スベキ點ヲ舉グ。

(一)遊戯ニハ、力ノ貯藏ヲ必要トス、一身ヲ維持スルニ全力ヲ費スモノハ、遊戯ヲナスヲ得ズ、故ニ早クヨリ殊更ニ刺激ヲ加ヘテ、遊戯ヲナサシムルハ可ナラズ、先ヅ榮養ニ注意シテ、健康ヲ進メ、自然ニ發動スル種種ノ働ヲ自由ニスルヲヨシトス。又遊戯ニハ、之ニ適スル心情ヲ要スルモノナレバ、兒童ノ欲セザルニ、強ヒテ一定ノ遊戯ヲナサシメントスルハ不可ナリ、自由ノ感情及ビ興味ノ存セザル處ニハ、眞ノ遊戯ナキモノト知ルベシ。

(二)教育者ノ或ル場合ニ於テ、兒童ニ勸ムル遊戯ハ、成ルベク其ノ場合ニ、兒童ノ自ラ選擇セントスル如キモノタルベシ、故ニ遊戯ハ、獨リ教育者ノ意ヲ以テ之ヲ決スルヨリモ、兒童ヲシテ、教育者ノ指舉セシモノノ中ヨリ、之ヲ選バシムルヲ

可トス。而シテ兒童ガ一定ノ遊戯ヲ選ブハ、外部ノ狀態及ビ偶然ノ出來事ニ由ルヲ常トス、例ヘバ商家ノ多キ土地ノ兒童ハ、賣買ノ眞似ヲナシテ遊ビ、墓地ニ近キ處ノモノハ、送葬ニ關スル遊ヲナシ、喇叭ノ響ヲ聞キテハ、忽チ進軍ノ遊ヲ始ムルガ如シ。故ニ今兒童ヲシテ一定ノ遊戯ヲナサシメントセバ、命令的ニ之ヲ決定セズシテ、彼ガ自ラ之ヲ選バン様ニ、其ノ外圍ヲ整理スベシ、孟子ノ母ガ、三タビ其ノ居ヲ遷シタルハ、此ノ點ヨリ見テ、適當ノ處置ト云フベシ。

(三)遊戯ハ、決シテ兒童ノ力ヲ超過シ、其ノ健康ヲ危險ナラシムベカラズ、是特ニ競争的遊戯ニ於テ注意スベキ點ナリ、兒童ハ、一時氣ノ揚ルガ爲メ、身體ノ過勞ヲ顧ミズ、爲メニ容易ニ回復セザル疲勞ヲ招クコト多シ。

(四)競争的遊戯ニテハ、兒童ヲシテ其ノ眞ノ力及ビ熟練ノ優

レル點ヲ確ムルコトニ於テ、満足ヲ生ゼシメ、而シテ他ノ欲望ヲ發セシメズ、又眞ニ偶然ノ勝敗ヲ爭ハシメザル様ニ注意スベシ。故ニ稀ニハ賞品ヲ授與スルコトアルモ、是ハ單ニ主觀的興味ノ符表ニ過ギザルモノトスベキナリ。

(五)遊戯ノ際、教育者ハ、之ヲナスニ必要ナル規定ヲ守ラシムル外ハ、總ベテ個人ノ自由ニ任スベシ。遊戯ハ熱心ヲ要シ、興味ヲ主トスルガ故ニ、其ノ進歩ヲ妨害セザル限リハ、兒童ノ意ノ如クナサシムベシ、或者ハ、眞面目ナル容貌ヲナシ、或者ハ笑ヒ、或者ハ戲言ヲ發スルガ如キハ、皆遊戯ノ興味ヲ添フル助トナルモノナレバ、是等ニマデハ干涉セザルヲヨシトス。

(六)遊戯最モヨク進行シテ、其ノ效能ノ最モ多カラシムコトヲ欲セバ、教育者自ラ兒童ノ間ニ雜リテ、之ヲ共ニスベシ、兒童ハ大人ノ加ルヲ喜ビテ、一層活潑ニ且一層正シク遊戯ヲナスベシ、勿論此ノ場合ニハ、教育者全ク兒童ノ位置ニ立テテ、特別ノ權利ヲ有スルコトナク、率先シテ細密ニ遊戯上ノ規定ニ從ヒ、他ノ模範ヲランコトヲ期スベシ。然レドモ遊戯若シ不規律トナリ、亂雜ニ流レントスル時ハ、暫ク其ノ威嚴ノ位置ニ復シテ、之ヲ整理スベシ、或ハ便宜ニ由リテハ、之ヲ停止シ、又ハ變更スルモ妨ナシ。

(七)遊戯ハ、他ノ業務ノ遂行ヲ妨グベカラズ、兒童ハ一定ノ年齢ヨリハ、嚴格ナル業務ニ從事シ、之ヲ遊戯ト區別スベキモノナレバ、遊ブベキ時ニハ、十分ノ遊バシムルヲ適當トスレドモ、其ノ務ニハ、亦熱心ニ從ハシメザルベカラズ。

第七節 作業

的作業ノ目

兒童ハ、自由ニ遊ブ状態ヨリ、務ト云フ念ヲ以テ、直接ニハ、興

味薄キ仕事ヲモ爲ス状態ニ導カルベキモノニシテ、作業ハ即チ其ノ手段ナリ。故ニ作業ハ、遊戯ト嚴格ナル業務トノ中間ニ立チ、一方ニハ、遊戯ニ類似シテ、働其ノモノニ於テ興味アリ、他方ニハ、一定ノ目的ニ向カヒ、一定ノ結果ヲ望ムモノニシテ、吾人ハ現ニ兒童ノ動作中、斯カル種類ノモノアルヲ認ム、則チ兒童ガ、石ヲ集メ、植物ヲ採集シテ、其ノ所有ヲ喜ビ、草木ヲ培養シ、動物ヲ飼養シ、庭園ヲ造リ、標本ヲ製シ、手技ヲナシテ樂シム如キ是ナリ。斯クノ如キ作業ニ於テ、兒童ハ、自力ニ由リテ價值アル結果ヲ納ムルコトヲ經驗スレバ、仕事ニ就キテノ純粹ノ快情ヲ生ジ、自信ノ念ヲ強メ、全心ノ力ヲ之ニ集メテ、大ニ忍耐力ヲ高ムベシ。一般ニ仕事ノ面白キ爲メ之ヲナスモノハ、最も多ク道德的從順ノ氣風ヲ有シテ、懲罰ヲ用フル機會ヲ減少セシムルモノナリ。サレバ教育者ハ、

命令禁止ノ目的

兒童ノ年齢ニ應ジテ、適當ノ作業ヲ選定シ、其ノ模範ヲ示シ、必要ナル助力ヲ加ヘテ、能ク之ヲ遂行セシムベシ、初メヨリ容易ニ成功シ難キ仕事ヲ課シ、嚴ニ業務ニ從ハシメテ、以テ失望ノ念ヲ生ジ、自信ノ力ヲ消却セシメザランコトヲ要ス。

第八節 命令及ビ禁止

命令及ビ禁止ハ、或ル特別ナル場合ニ於テ、教育者ガ直接ニ兒童ニ向カヒテ爲ス所ノ要求ナリ。命令トハ、其ノ爲スベキ務ヲ行ハシムルモノ、禁止トハ、其ノ爲スベカラザルコトヲ規定スルモノヲ云フ、而シテ其ノ能ク行ハルルコトハ、教育者ノ威權ニ基クモノナルガ、之ヲ行フ方法ノ良否モ、亦大ニ教育者ノ威權ノ上ニ影響ヲ及スモノナリ、故ニ左ニ方法上、注意スベキ二三ノ點ヲ舉グ。

方法上ノ注意

(一)命令及ビ禁止ハ、必ズ正當ノ理ヲ有スベキコト勿論ナリ、

教育者ハ、善美ノ觀念ニ基キ、或ハ實地生活上、兒童ノ利益トナリ弊害トナルモノヲ考ヘテ、以テ命令シ又ハ禁止スベシ、決シテ自己ノ便利、私ノ感情ヨリ、種種ノ要求ヲナスベカラズ。又其ノ要求ハ、豫メ兒童ノ地位ニ立チテ考定スベキモノナリ、兒童ニ向カヒテ、大人ノ舉動ヲ望ミ、強ヒテ大人トシテノ徳ヲ行ハシメントスルハ、不良ノ結果ヲ來スコトナキ能ハズ。

(二)命令及ビ禁止ハ、必ズ明瞭ナルベク、又前後撞着スルコトアルベカラズ。其ノ不明瞭ナル場合ニハ、兒童ハ、思ハズ之ニ違反シテ、往往不當ノ叱責懲戒ヲ受ケ、或ハ之ガ爲メニ、往往遁辭ヲ設ケテ、之ヲ避クル方法ヲ考ヘ出スガ如キ弊ヲ生ズベシ。又其ノ命令禁止、前後一致セザル時ハ、密ニ其ノ價值ヲ減少スルノミナラズ、教育者ノ威嚴ヲ損シ、反抗者ヲ生ズル

恐アリ。故ニ命令禁止ハ、成ルベク單簡ニシテ、且斷乎タルベシ、贅言ヲ加フルハ、不明瞭及ビ撞着ノ媒介トナルニ過ギズ。(三)命令禁止ハ、慎重ナル言語ヲ用ヒ、而カモ友愛ノ情ヲ含ミ、好意ヲ示ス程ノ語氣ヲ表センコトヲ要ス。故ニ此ノ際教育者ハ、威嚴ノ容貌ヲ保チ、強固ナル意思ノ痕跡ヲ保持スル言語ヲ用ヒ、以テ其ノ違反ヲ許サザルコトヲ示スベシ、然レドモ粗暴野鄙ナル言語ヲ用フルハ、徒ニ幼者ノ情ヲ激シ、其ノ不平不滿ノ情ヲ惹起スルニ過ギズ、威嚇的言語ヲ用フルモ、亦不可ナリ、恐怖ノ情ニ基ク服従ハ、價值甚ダ少キヲ以テナリ、威嚇ヲ用ヒズシテ服従セラルルヲ、命令及ビ禁止ノ本體トス。

(四)命令及ビ禁止ハ、最モ必要ナル場合ニ於テ發スベシ、同時ニ多ク發シ、又ハ屢之ヲ發スレバ、一ニハ、之ヲ實行セシムル

ニ難ク、二ニハ、之ヲ實行セシムベキ監督ヲ困難ニシ、三ニハ、兒童ガ自身ノ意思ヲ働カスベキ餘地ヲ縮少ス。命令ヲ少クシテ、其ノ實行ヲ主トシ、漸ク追ツテ進ムコトハ、確實ナル實行ヲ促ス上ニ、最モ必要トスル所ナリ。

(五)命令禁止ハ、斷行ヲ要ス、一度之ヲ或ル事情ノ下ニ發シタル時ハ、同事情ノ繼續スル限りハ、斷然其ノ實行ヲ促シ、決シテ之ヲ徹去スベカラズ、命令ノ一徹セザルハ、大ニ教育者ノ威信ヲ害スルモノニシテ、兒童一ダビ之ヲ經驗スレバ、常ニ自己ノ意ニ適ハザル命令禁止ヲ免レントスル傾ヲ生ズベシ。通常子女ガ、母ノ命令ヲ重ンゼザルコト多キハ、之ニ因ルコト少カラズ、婦女ノ性ノ優柔ナル、往往其ノ子ノ愛ニ溺レ、一度命ジタルコトモ、強ヒテ實行セシメズ、或ハ之ヲ變更シ、又ハ竊ニ父ノ命ニ反スル如キ舉動ヲ許スコトナキニ非ザ

ルヲ以テ、其ノ威嚴ヲ保持シ得ザルハ自然ノ理ナリ。命令ハ、人爲的性質ヲ離レ、神聖ニシテ犯スベカラザル如ク見做サルルニ至リテ、最モ效能アルモノトス。

(六)教育上、正當ニシテ必要ト認ムベキコトニハ、幼者ヲシテ無條件ニ服從セシムベキモノナリ。或人ハ、理由ヲ覺ラシムルカ、又ハ利害ヲ知ラシメテ、服從セシムルヲ適當ト考ヘタレドモ、吾人ハ、幼者ニ對シテ要求スルニ、一一其ノ理由ヲ説明シ、又ハ其ノ利害ヲ教示スルノ要ナシト信ズ。尤モ稍生長シタルモノニ對シテハ、命令禁止モ、忠告ト云フ形ヲ取ルコト多ク、從ツテ理由ノ説明ヲ加フルコトアレド、此ノ場合ニ於テモ、猶言辭ニ由リテ、或ル行爲ノ道德的又ハ、實用的價値ヲ説クハ、其ノ效多シトセズ、蓋シ先ヅ行ハシメテ、實行ノ上ヨリ理由ヲ覺リ、價値ヲ感ゼシムルヲ最モ貴重スベキコト

トス。

第九節 懲罰

懲罰ノ必要

懲罰トハ、單簡ニ云ヘバ、故意ニ兒童ノ不快ノ情ヲ惹起シ、是ニ由リテ強ヒテ其ノ不當ノ行爲、不良ノ性質ヲ矯正セントスルモノナリ。而シテ是ハ實地教育上ニハ、常ニ多少用ヒラルル所ナレドモ、理論上ニハ、其ノ教育的價值ヲ否認スルモノアリ、ベネツケ曰ハク、賞罰ハ、多少物ノ眞ノ關係ヲ亂スモノナレバ、此ノ點ヨリ見ル時ハ、幾分カノ弊害ト云ハザルヲ得ズ、總ベテ道德的行爲ニハ、其ノ動機ノ貴ブベキモノアラシコトヲ要ス、故ニ教育ニ於テ貴ブ所ハ、兒童ヲシテ其ノ生活ニ關スル總ベテノ點ニ就キ、其ノ行爲ヲ支配スベキ正シキ動機ヲ得シムルニ在リ。然ルニ賞罰ハ、行爲ノ不當ナル動機ヲ作り、物ノ眞價ヲ晦マスヲ以テ、教育上價值ナキモノナ

リ。若シ教育ノ働、缺損ナク進歩スレバ、賞罰ヲ要スルニ及バザルベシ、之ニ依ラザルベカラザルハ、教育ノ不完全ヲ示スニ外ナラズ。ト、然レドモ教育ハ、如何ナル善キ教育家ニ由リテ爲サルルトモ、少シノ故障ナク進歩スルコトハ、甚ダ難ク、種種ノ事情ニ妨害セララルコトヲ免レザルベシ、故ニ若シ順路ヨリ人ヲ導クコト難ケレバ、他ノ方面ニ向カヒ、其ノ弱點ヲ利用シテ、之ヲ正路ニ就カシメザルヲ得ザルコトアリ。眞正ノ道德的行爲ハ、外部ノ目的ニ由ラズシテ、内部ノ必要ニ基キ、善其ノ物ヲ好ム爲メニ、之ヲ行ヒ、正理其ノ物ニ服従スベキモノナレドモ、是十分發達シタル人ニ於テ、始メテ望ムベキモノニシテ、人ハ直チニ斯クノ如キ状態ニ達シ得ルモノニ非ズ。幼者ハ、自己ヲ主トシ、己ノ利ナルコトハ爲シ、不利益ナルコトハ避クルモノナリ。既ニ高キ發達ノ階級ニ在

懲罰ノ目的

ルモノモ、一度ハ斯カル利己的階級ヲ經過セザルハナシ、サレバ訓育ノ手段トシテ、吾人ハ、全ク懲罰ヲ廢止スル能ハザルナリ。然レドモ其ノ效ノ有無大小ハ、教育上之ヲ用フル目的、其ノ種類及ビ其ノ方法ニ關係スルモノトス。

懲罰ノ種類

(一)懲罰ノ目的 吾人ハ、懲罰ノ目的ヲ次ノ諸點ニ總括ス、即チ一ニハ、教育者ノ命令及ビ禁止ノ力ヲ強大ニシ、兒童ヲシテ、常ニ其ノ行爲ヲ之ニ適應セシメントシ、二ニハ、不當ノ行爲ニ不快ノ情ヲ伴ハシムルニ由リテ、其ノ不可ナルコトノ記憶ヲ強メ、之ヲ拒避スル傾ヲ進メントシ、三ニハ、或ル行爲ニ對シテ、上者ヨリ避クベカラザル制裁ヲ受ケシメ、以テ世ニハ正理ノ犯スベカラザルモノアルヲ覺リテ、深キ敬畏ノ情ト、強キ義務的感情トヲ生ゼシメントスルモノナリ。

(二)罰ノ種類 罰ハ、種種ノ形ニ於テ行ハレ得ルモノナル

管理上ノ罰ノ區別

ガ、吾人ハ、其ノ大體ニ於テ、之ヲ分チテ二トナス、一ハ、規律ヲ立テ秩序ヲ維持スル爲メニ用フル所ニシテ、多少外面の性質ヲ帶ビ、一ハ、良心ニ對スル刺激ヲ主トシテ、直接ニ内心ニ影響ヲ加ヘントスルモノナリ。前者ヲ管理上ノ懲罰ト云ヒ、後者ヲ道德的懲罰ト云フ。

管理上ノ罰ハ左ノ種類ニ分タル。

(イ)叱責 罰ノ最モ單簡ナルモノニシテ、教育者ノ威嚴アル言語ヲ以テ、速カニ非行ヲ改メシメントスルモノナリ。

(ロ)利益ノ除去 是家庭ニ於テ履行ハルル所ナリ、例ヘバ兒童ノ好ム物ヲ與フルヲ拒ミ、父母兄弟ト同伴シテ外出スルヲ許サズ、又共同ノ樂シミニ與ルヲ得ザラシムル如キ類ヲ云フ。

(ハ)自由ノ束縛 是ハ兒童ノ自由ナル運動ノ性ヲ制限シ

テ、苦痛ヲ感ゼシムルモノナリ、留置・禁足ノ如キハ、此ノ部類ニ屬スルモノトス。

(ニ)體罰 迅速ニ希望スル結果ヲ生ゼシメンガ爲メ、其ノ身體ニ直接ノ苦痛ヲ與フルヲ云フ。此ノ罰ハ、歐洲諸國ノ學校ニ於テ、未ダ全廢セララルルニ至ラズ、本邦ノ學校教育ニテハ、之ヲ廢セシカドモ、家庭ニ於テハ、今尙行ハルルモノナリ。
(ホ)停學及ビ放校 學校教育ニ於テハ、非行者ニ對シテ、一時其ノ出校ヲ止メテ、悔悟ヲ期シ、且校風ヲ維持スルコトアリ、是中等以上ノ教育ニ於テ、稀ニ行ハルル所ナレドモ、程度ノ低キモノニ對シテハ、當ニ效無キノミナラズ、却ツテ不良ノ結果ヲ來ス恐アリ。又甚ダシキ不正ノ行爲アルカ、又ハ普通ノ教育ノ力ニテ、矯正ノ見込ナキ不良ノ氣質アリテ、寧之ヲ法律上ノ制裁又ハ感化的事業ノ如キモノニ委スルヲ適

道德的懲罰ノ區別

當トスル場合ニハ、其ノモノニ退學ヲ命ジテ、以テ全校教育ノ障害ヲキ進歩ヲ期スベキナリ。

道德的懲罰モ亦左ノ種類ニ分タル。

(イ)諷刺 直接ニ責問セズシテ、或ル行爲ノ非ナルヲ説キ、兒童ヲシテ良心ノ責ヲ受ケテ、後悔セシメントスルモノナリ。

(ロ)訓戒 前者ノ一步進ミタルモノニシテ、直接ニ非行ヲ責メ且諭シテ、以テ改悛セシメントスルモノナリ。

(ハ)公ニ耻辱ヲ感ゼシムルコト 或ル兒童ノ非行ト、之ニ對スル罰トヲ公告シ、之ヲシテ深ク耻ヂテ、其ノ行ヲ改メシメ、而シテ之ト同時ニ、他ノ兒童ノ戒トヲサントスルモノナリ。

(三)懲罰ノ方法 罰ハ既ニ述べタル如ク、陶冶ノ一手段タ

ルモノナレバ、決シテ復讐的性質ヲ有スベキモノニ非ズ、故ニ其ノ種類多シト雖モ、兒童ニ對スル愛ヲ以テ骨髓トスルハ、共ニ一致スルモノトス。故ニ場合ニ由リテ、嚴ナル罰ヲ用フルコトモアレド、内心ノ慈愛ハ、決シテ一刻モ脱去スベカラズ、愛アリテ、始メテ罰ヲ行フ權利アリ、兒童ヲ愛セザルモノニハ、初メヨリ之ヲ罰スル權利ナシト云フベシ。且愛情アリテ、始メテ兒童ヲシテ眞實ニ其ノ非ヲ悔イ、教育者ニ對スル尊敬ノ念ヨリ、非行ヲ謹ムニ至ラシムベシ。尙左ニ罰ヲ行フニ付キテ、注意スベキ點ヲ舉ゲン。

方法上ノ注意

(イ)罰ハ、成ルベク稀ニ行フベキモノナリ、他ノ手段ヲ以テ改善セシメ得ベキ場合ニハ、勿論之ヲ避ケザルベカラズ、罰ハ即チ教育上、最後ニ用フベキ手段ナリ。教育者ノ監視行キ届キテ、兒童ノ非行ヲ未發ニ防止シ、遊戯作業ヲ以テ、兒童ノ活

力ヲ善良ナル方向ニ發動セシメ、教授ニ於テモ、能ク兒童ノ興味ヲ惹起シ得ル時ハ、大ニ罰ヲ行フ必要ヲ減ズベシ。又教育者、兒童ノ尊信ヲ得レバ、其ノ命令忠告及ビ顔貌、能ク兒童ノ行爲ヲ制スルヲ得テ、屢罰ヲ用フルノ要ナキニ至ル、故ニ常ニ罰ニ依頼セザルヲ得ザルハ、教育者ノ不能ヲ證スルモノニテ、其ノ結果トシテ、兒童ハ之ニ馴レ、次第ニ恐怖及ビ不快ノ情ヲ減シ、終ニ之ニ對シテ無神經トナルノミナラズ、却ツテ教育者ヲ怒ラシムルヲ快トシ、又ハ師ニ對スル感謝及ビ信愛ノ情ヲ消失シテ、之ヲ怨ミ、其ノ不幸ヲ喜ブガ如キ情ヲ生ズルニ至ル。故ニ教育者ハ、深ク自ラ省ミ、罰ヲ用ヒズシテ、兒童ヲ心服セシムルコトヲ理想トシテ進マザルベカラズ。

(ロ)罰ハ、適應ナルヲ必要トス、非行ノ輕重ニ從ツテ、罰ニ輕重

アルベキハ、一般ノ理ナリ、行爲ノ正理ニ反スルコト大ナル
 モノニハ、之ヲ重クシ、小ナルモノニハ、之ヲ輕クシ、以テ兒童
 ナシテ善惡正邪ニ付キテ、正當ナル判斷ヲ得シムルヲ至當
 トス。而シテ正理ハ、人ニ由リテ異ナルモノニ非ザレバ、罰ヲ
 行フニモ、公平無私ヲ旨トシ、貴賤親疏ヲ論ゼザルハ勿論ナ
 リ。然レドモ其ノ正理ハ、單ニ外面的ノモノタルベカラズ、外
 面ニ顯ルル所ノミヲ以テ、罰ノ輕重ヲ定ムルハ、未ダ眞ノ正
 理ニ由ルモノト云フヲ得ズ、人ハ内心非常ニ異ニシテ、行爲
 ノ同シキ場合少カラズ、又罰ヲ感ズル度ニ於テモ、人人多少
 相異ナル所アリ、サレバ訓育ノ手段タル罰ハ、是等ノ事情ヲ
 考察シテ、之ニ適應センコトヲ要ス。即チ一ニハ、正不正ニ就
 キテ、兒童ノ既ニ有スル判斷力ヲ見ザルベカラズ、判斷力ノ
 發達セザル爲メ、不正ト知ラズシテ行ヒタルモノノ、大ニ恕

スベキ所アルハ明カナリ。二ニハ、兒童ノ性質ニ應ゼザルベ
 カラズ、則チ體質ノ強弱、男女ノ別異、年齢ノ差等、感情ノ銳鈍
 等ニ由リ、罰ノ度ニ於テモ、種類ニ於テモ、共ニ斟酌ヲ要スベ
 キモノナリ。三ニハ、其ノ罰スベキ非行ハ、始メテ犯シタルモ
 ノナルカ、又ハ既ニ戒メラレタルニ關セズシテ、再ビ發シタ
 ルモノナルカヲ見ザルベカラズ。四ニハ、兒童ノ從來ノ教育
 ノ狀況ヲ考ヘンコトヲ要ス、其ノ曾テ不良ナル影響ノ下ニ
 在リタル爲メ、惡習慣アルハ、畢竟憐ムベキモノニテ、之ヲ種
 種手ヲ盡スモ、憐メザルモノニ比シテ、同日ノ論ニ非ザルナ
 リ。五ニハ、非行ノ動機ニ應ゼザルベカラズ、則チ同シク虛偽
 ナリトモ、朋友ノ難ヲ救ハンガ爲メニナシタルモノト、自利
 ナ主トシテナシタルモノトノ間ニハ、大ナル差違アルベク、
 一時ノ恐怖ノ情ヨリナシタルモノハ、豫メ惡意ヲ蓄ヘテナ

シタルモノニ比スレバ、大ニ恕スベキ所アルハ、多言ヲ要セザルナリ。

(三)罰ハ、前項ニ論シタル所ト撞着セザル限りニ於テ、其ノ行為ニ相應シ、成ルベク人爲的性質ヲ離レテ、高等ナル道德的大勢力ヨリ來ル必然ノ結果タル感ヲ起サシメンコトヲ要ス。例ヘバ兒童ノ怠惰ヲ罰スルニハ、餘分ノ仕事ヲナサシメ、故意ニ遊具ヲ破毀シタルニハ、之ヲ要スル遊戯ニ與ルヲ得ザラシメ、教授中濫ニ談話シタルモノハ、他ノ兒童ヨリ隔リタル席ニ置キ、我意ヲ張ルモノハ、共同ノ愉快ニ與ルヲ得ザラシムルガ如シ。凡ソ内心ヨリ自己ノ非行ヲ後悔スルハ、斯カル制裁ニ因ルコト多シ、最初ヨリ大聲ニテ叱咤シ威嚇スルハ、一時ノ外面的效能アルノミニシテ、衷心ノ悔悟ヲ生ズルコトハ、甚ダ稀ナリ。又或ル行爲ト或ル罰トノ關係ハ、恰モ

原因ニ對スル必然ノ結果ノ如キ關係ヲ保ツベキモノナレバ、罰ハ成ルベク早キヲ貴ブモノトス。尤モ前述ノ如ク、行爲ノ原因及ビ兒童ノ性質等ヲ考フルコトハ必要ナレドモ、今日ナサレタル不當ノ行爲ヲ、二三日ノ後ニ至リテ罰スル如キハ、罰ノ勢力ヲ減ズルコト甚ダシク且其ノ間ニ、兒童ハ之ヲ免ルル種種ノ方便ヲ考ヘ、却ツテ虚偽ノ風ヲ生ゼシムル恐アリ、故ニ不正不當ノ行爲アル時ハ、其ノ記憶ノ猶新ナル時ニ懲罰ヲ加ヘテ、以テ應報ノ速カナルヲ感ゼシムベキナリ。

(四)罰ヲ加フルニ當リ、教育者ノ最モ慎ムベキハ、自己ノ私情ヲ制スルニ在リ、罰ハ慈愛心ニ基キ、兒童ノ矯正ヲ期スルモノナレバ、深ク兒童ノ利害ヲ鑒ミテ、之ヲ行フベク、決シテ自己ノ憤激ニ基クベカラズ、憤激ニ基キテ人ヲ罰スルハ、即チ

私情ヲ霽サンガ爲メニナスモノニテ、假令其ノ結果善良ナルモ、正當ノ行ト云フヲ得ズ、況ヤ憤激ハ、往往思考ノ力ヲ減縮シ、靜平ノ時ニハ、全然非ナリト認ムル所ヲモ行フコトアルヲヤ、教育者ガ、不正不當ノ行爲ニ對シテ、深ク之ヲ嫌惡スル情ヲ示スハ、固ヨリ至當ナレバ、如何ナル場合ニ於テモ、其ノ平然タルコトヲ希望スベキニハ非ザレドモ、實地罰ヲ加フルニ當リテハ、決シテ怒ニ乘ズベカラズ、殊ニ自己ガ不快ノ感情ヲ有スル時、怒ヲ移シテ、他ノ兒童ニマデ及スガ如キハ、不當ノ甚ダシキモノナリ。苟モ子弟ノ教育ニ從事スルモノハ、常ニ其ノ業務ヲ害スベキ私情ヲ制センコトヲ勉メザルベカラズ。

第十節 褒賞

賞ノ目的及ビ種類

褒賞トハ、兒童ノ善良秀逸ナル働ニ對シ、故意ニ其ノ快情ヲ

賞ノ利害

惹起シ、是ニ由リテ其ノ働ヲ繼續シ、且益多ク之ヲ練成セシメントスルモノナリ。賞ノ最モ單簡ナルモノハ、教育者ノ満足ヲ示ス言語、即チ稱賛ノ辭トナリ、尙進ンデハ、物品ノ贈與トナリ、自由ノ時間ノ許可トナリ、特別ノ地位ノ付與トナル是等ハ、兒童ノ年齢ニ應ジテ、各特別ノ價值アルモノトス。賞ハ、罰ト同ジク、直接ニ道德的行爲ヲ惹起スルモノニ非ザレドモ、其ノ間接ノ手段タルモノナリ。兒童ハ早クヨリ其ノ父母及ビ教師ノ稱賛ヲ得ンガ爲メ、善キ行ヲナシ、不良ノ舉動ヲ避クルモノニシテ、是訓育上、大ニ便利トスル所ナリ。故ニ教育者之ニ對シテ、満足ノ意ヲ表シ、稱譽ノ言中、獎勵ノ意味ヲ加フル時ハ、兒童ノ自信ノ念ヲ高メ、尙進ンデ其ノ行ヲ磨カントスル勇氣ヲ發セシムルハ、自然ノ勢ナリ。然レドモ、猥リニ賞品ヲ與へ、名譽ヲ彰表スル時ハ、其ノ手段タルモノ、

變シテ確乎タル目的トナリ、兒童ハ唯之ヲ得ンガ爲メニ、或ル行爲ヲナシ、從ツテ之ヲ得ザレバ、不平ノ情ヲ生シテ、再ビ之ヲ爲スヲ肯ゼズ、終ニハ已ムヲ得ズ、却ツテ罰ヲ用ヒザルヲ得ザラシム。且一人ヲ賞スルハ、屢他ノ猜忌ヲ招ク媒トナリ、若シ又一旦誤認ニ由リテ賞ヲ與フルコトアレバ、之ニ加フルニ嘲罵ノ念ヲ以テシテ、教育者ノ信用、爲メニ地ニ墜ツルニ至ルベシ。故ニ賞與ハ、成ルベク稀ナルヲ要シ、且最モ顯著ナル場合ニ於テ、之ヲナスヲ適當トス。教育者若シ能ク兒童ノ尊信ヲ得レバ、其ノ顔容・動作・言語ノミニテ、能ク善行ヲ獎勵シ、外物ノ補助ヲ借ルコト少カルベシ、而シテ賞與ハ、兒童ノ生長スルニ從ヒ、漸次虚形的ニナスベキモノナリ。例ヘバ最初食品ヲ與ヘタルモノヲ、漸次有益ナル遊具又ハ書物トナシ、遊戯・遊歩及ビ面白キ談話トナシ、次ニハ、他ニ超越ス

知識トノ關係

ル名譽ヲ以テ満足セシメ、教育者及ビ朋友ヨリ受クル同情・信賴ヲ無上ノ快樂トナサシムルガ如シ。斯クノ如クシテ、終ニハ義務ヲ盡スト云フ考ニ於テ、愉快ヲ感シ、良心ノ満足ヲ以テ、最大ノ樂トナサシムベシ。

第十一節 教授ニ由ル訓育

教授ノ善ク行ハルルニ付キテハ、豫メ善キ訓育ヲ必要トスルモノナルガ、吾人ハ、又善キ教授其ノ物ニ於テ、大ニ訓育的價值アルヲ認ム、而シテ是一ニハ、其ノ傳フル材料ニ由リ、二ニハ、其ノ方法ニ由ルモノナリ。

道德ニハ、健全ナル知力ヲ必要トス、事理ヲ辨へ、因果ノ關係ヲ明カニシ、正シキ判斷ヲ下ス力ハ、激情ヲ制シ、不當ノ欲望ヲ抑壓スル上ニ缺クベカラズ、常ニ情ニ由リテ働クモノハ、往往不徳ノ行ヲナシ、愚鈍ナルモノハ、善キ意思ヲ有シナガ

教授ノ方
ト訓育

ラ、屢不當ノ舉動ヲナスコトアルハ事實ナリ。故ニ教授ニ於テ、人類界及ビ自然界ヨリ適當ナル材料ヲ採リ、種種ノ方面ニ於テ、健全ナル知力ヲ養成スルコトハ、道德的陶冶ニ資スル所少カラズ、殊ニ修身倫理ニ關スル教授ハ、直接ニ善惡正邪ノ觀念ヲ傳へ、其ノ區別ヲ明カニシ、人類トシテ又國民トシテ爲スベキ務ヲ知ラシメ、以テ吾人ニ依ルベキ原則ヲ與フルモノナリ。又美的陶冶ニハ、優美ナル思想ヲ傳へ、且實地美的技能ヲ練習スルヲ必要トスルモノニシテ、言語・唱歌・圖畫ノ諸教授ハ、此ノ點ニ關シテ、大ニ價值アルモノナリ。教授ノ貴ブベキ材料モ、機械的方法ニ由リテ傳ヘラルル時ハ、斯クノ如キ價值ヲ生ズルニ足ラズ、教授ノ諸方法ガ、教師ノ貴重スベキ人格ニ由リテ活用セララルルニ至リテ、始メテ之ヲ生ズルモノナリ。故ニ良教師ハ、授業中、自然ニ其ノ人格

ヲ發顯シ、其ノ教授ニ活氣アリテ、以テ兒童ニ強キ印象ヲ殘サシム、即チ其ノ誠意熱心ハ、自ラ兒童ノ心情ヲシテ之ニ和シテ興奮セシメ、其ノ明晰ナル言語ハ、久シク兒童ノ耳底ニ止リ、其ノ親切ナル説明・訓話ハ、永ク感謝ノ情ヲ以テ記憶セラレベシ。サレバ良教師タラント欲スルモノハ、自己ノ修養上、深ク此ノ點ニ注意スベキナリ。

第三篇 教育ノ場所

第一章 個別的的教育ト共同教育

個別的教
育及ビ共
同教育ノ
意義

個別的的教育トハ、父母ガ家庭ニテ自ラ其ノ子ニ教フルカ、又ハ之ヲ一教育者ニ委囑スルコトヲ云ヒ、共同教育トハ、多クノ生徒ヲ同時ニ指導シ教授スルヲ云フ。兩者孰レヲ採ルベキカニ付キテハ、古ヨリ種種ノ意見アレドモ、今日多數教育者ノ意見ハ、兩者ヲ結合シ、相待チ相助ケシムベシト云フニ在リ。

個別的教
育ノ利害

個別的的教育ニ於テハ、教育者其ノ力ヲ一兒童ノ上ニ集注スルヲ以テ、共同教育ヨリモ、一層精密ニ其ノ個性ヲ觀察シ、其ノ必要トスル所ヲ知り、之ニ應ジテ、速カニ適當ノ處置ヲナスヲ得ベシ、殊ニ父母ニ由ル教育ノ、訓育上ニ價值アルコト

共同教育
ノ利害

ハ、既ニ訓育論ニ於テ之ヲ述ベタリ。然レドモ父母ハ、必ズシモ總ベテ教育者ニ適スル性質、知識及ビ伎倆ヲ有スルモノニ非ズ、又專ラ其ノ子女ノ教育ニ從事スルヲ得ザルナリ。而シテ之ヲ一教育者ニ委囑スル場合ニ就キテ見ルモ、一人ニテ教育上ノ總ベテノ業務ニ從ヒ、能ク總ベテノ教科ヲ教ヘ得ルハ、或ル度マデニ限ラルルコトニシテ、兒童ノ益生長シテ、成熟期ニ近ヅクニ從ヒ、益其ノ困難ナルヲ見ル、然ノミナラズ、始終一人ノ指導者ノミニ接スルハ、遂ニ偏頗ノ發育ヲ來ス恐アリ、殊ニ被教育者唯一人ナル時ハ、之ヲ他ト比較シテ觀察スルノ便ナク、又競争シテ、切磋琢磨セシムルノ道ナク、從ツテ單調無趣味ノ生活ヲナサシムルヲ免レズ、故ニ吾人ハ、個別的的教育ニ偏スルハ不可ナリトス。

共同教育ニハ、寄宿舎教育ト、幼稚園及ビ學校教育トノ別ア

リ、前者ハ、共同教育ヲ以テ、全ク個別的的教育ニ代ラシメントシ、後者ハ、個別的的教育ノ缺ヲ補ハントスルモノナリ。殊ニ學校ハ、共同教育ノ重ナル機關ニシテ、現時ノ社會ハ、文化ヲ普及セシムルニ付キ、決シテ之ヲ缺クテ得ズ。而シテ國運ノ盛大ナル處ニハ、概シテ學校ノ見ルベキモノアリ、國勢ノ振ハザル處ニハ、其ノ見ルベキモノ甚ダ少シ、故ニ學校教育ノ發達ハ、即チ國家ノ進歩隆盛ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナリ。然レドモ一般ニ共同教育ニテハ、十分個人ノ事情ヲ顧慮スルコト難ク、多少一樣機械的ノ取扱ヲナシ、從ツテ生徒ノ個人的特質ノ發達ヲ妨グル恐ナキニ非ズ、故ニ共同教育ハ、又個別的的教育ニ由リテ補足セラレベキモノトス。小學教育ノ時期ニ於ケル寄宿舎教育ノ如キハ、家庭及ビ社會ノ特殊ノ事情ニ由リ、個別的的教育ノ全ク不可能ナルカ、又ハ却ツテ不

幼稚園ノ
主旨

良ノ結果ヲ生ズルコトアルガ爲メ、已ムテ得ズ之ヲ行フモノナリ、次ニ幼稚園及ビ學校ニ付キテ一言セントス。

第二章 幼稚園

幼稚園ハ、千八百三十七年、獨逸人フレーベルノ創立セル所ニシテ、滿三年ヨリ小學校ニ就學スルマデノ幼兒ヲ集メテ、其ノ心身ニ適當シタル教育ヲナス場所ナリ。フレーベルノ言ニ由レバ、幼稚園ハ、童ニ學齡前ノ兒童ヲ集メテ、之ヲ監視スルノミニ非ズ、之ニ相當ノ働ヲナサシメテ、以テ其ノ身體ヲ強クシ、其ノ感覺ヲ練リ、其ノ漸ク覺起セントスル精神ヲ發動シテ、自然界及ビ人類界ノ觀察ヲナサシメ、特ニ心情ノ誘導ニ意ヲ用ヒ、同情ニ厚キ風ト、敬神歸依ノ情トヲ發揮セントスルモノナリ。ト又氏ハ、幼兒教育所ニハ、必ズ庭園ヲ設ケ、草木ヲ植エ、幼者ヲシテ茲ニ遊バシムルト同時ニ、植物ノ

生活ヲ觀察ト實地ノ培養トニ由リテ知ラシメザルベカラ
 ズトシ、且曰ハク、一ノ植物ヲ生長セシムルニハ、神ノ保護ト
 經驗アル園丁ノ注意トヲ要スル如ク、人間ノ萌芽タル兒童
 ナ善良ニ發育セシムルニハ、適當ナル養育者ガ、神ノ助ヲ受
 ケ、自然ノ法則ト一致シテ、保育ノ勤ニ當ルヲ要ス。總ベテ植
 物ノ種子ノ後ニ大ナル植物トナル要素ヲ盡ク含有スルガ
 如ク、人ニ於テモ、大人トシテ有スル性質ハ、總ベテ兒童ニ於
 テ其ノ萌芽ヲ見ルモノナリ、故ニ人ヲ養フハ、植物ヲ培養ス
 ルニ異ナラズ。ト是氏ガ幼稚園ノ名ヲ選ビシ所以ナリ。
 幼稚園ハ、家庭ノ足ラザルヲ補フモノニシテ、子女ヲ教育ス
 ル才能ナク、又時ヲ有セザル父母ノ、一日一定ノ時間、自己ニ
 代リテ之ヲ教育スル所ヲ要スルハ、自然ノ勢ナリ。假令父母
 ニ教育的才能アリ且時アリトスルモ、常ニ小兒ヲ其ノ膝下

幼稚園ノ
 價値及ビ
 其ノ教育
 法

ニ置クヨリハ、毎日一定ノ時間、大凡同年齡ノ他童ト會合シ
 テ、相樂シミツ、共ニ事ヲサシムルハ、其ノ心身ノ發育上、
 效能アルコト疑ナシ。然レドモ其ノ教育法ニ就キテハ、大ニ
 注意ヲ要スルモノアリ、學齡ニ達セザルモノハ、未ダ眞ニ務
 メ學ブベキモノニ非ザレバ、吾人ハ、幼稚園教育ノ手段トシ
 テ、遊戯及ビ唱歌ヲ最モ適當トス、則チ幼時ニ於テ著シキ遊
 戯ノ性ヲ導キ、遊ビ歌フ間ニ、運動ノ熟練ヲ得、感覺ヲ練リ、高
 尙ナル心的作用ノ萌芽ヲ健全ニ生育セシムベシ。又幼兒ニ
 適セル談話ヲナシ、單簡ナル手技ヲサシムルコトモ、其ノ
 心身ノ練習上必要トスル所ナリ。此ノ事ハ、フレイベルノ既
 ニ認メタル所ニシテ、氏ハ六歳前ノ兒童ハ、未ダ務ムベキモ
 ノニ非ズシテ、遊ブベキモノトシ、其ノ有スル無限ノ遊戯的
 傾向ヲ導キテ、自然ニ他ノ總ベテノ性ヲ發展セシムルコト

ヲ最モ緊要トシ、且遊戯ニ於テハ、一切強迫ヲ避ケ、唯兒童ヲシテ自ラ之ヲナサントスル位地ニ至ラシムル様ニ誘導スベシトシ、又遊戯ヲ運動的ノモノト精神のノモノトニ分テ、運動的遊戯ニ於テハ、手足及ビ感覺ヲ練習シ、精神的遊戯ニ於テハ、積木・折物・組物・圖畫等ヲナサシメテ、心ノ諸作用ヲ其ノ發育ノ初級ニ於テ練ラントセリ、是實ニ正當ノ考ナリ。然ルニ氏ハ、又兒童ハ遊戯ニ由リ、實地生活ニ導カレテ、生活上ノ規律ヲ了解スルモノナリト考ヘ、遊戯ヲ餘リ方法的ニナシ、強ヒテ之ヲ實用的トシ、從ツテ直接兒童ニ興味ナキモノトナセリ。是ハ疑モナク誤謬ノ思想ニシテ、之ガ爲メ一時ハ幼稚園ニ於テ、理ニ偏シタル乾燥無味ノ方法的教育ヲ見ルニ至リ、世ノ非難ヲ速テ、此ノ教育事業ノ進歩ニ一頓挫ヲ來シタルコトアリ、幼稚園教育ニ從事センモノハ、深ク此ノ點

ニ注意スベキナリ。

第三章 學校

學校ノ種類

學校ハ、共同ノ教授及ビ訓育ヲ行フ場所ナリ、然ルニ社會ニ於ケル人ノ能力一樣ナラズ、從ツテ階級ノ別ヲ生ジ、又土地ニ由リテモ、種種異ナル事情アルヲ以テ、學校ニモ亦異ナル種類アルハ、自然ノ理ナリ。今其ノ主ナルモノヲ舉グレバ、左ノ如シ。

一、小學校

小學校ノ本旨

本邦小學校令ニハ、小學校ハ、兒童身體ノ發達ニ留意シテ、道德教育及國民教育ノ基礎竝其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識・技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス。トアリ、小學校ハ、即チ一般ニ人トシテ又國民トシテ、世ニ立ツ上ニ必要ナル根本的素養ヲ得シメントスル處ナリ。サレバ早ク實地ノ業務ニ就キ、

生計ノ路ヲ求メントスルモノモ、中等・高等ノ教育ヲ受ケン
トスルモノモ、先ヅ之ニ入リテ、同様ノ教育ヲ受クベキモノ
トス。

義務教育

小學校ニハ、尋常小學校ト高等小學校トノ別アリ、前者ノ修
業年限ヲ四箇年トシ、後者ノ修業年限ヲ二箇年・三箇年又ハ
四箇年トス。尋常小學校ノ四年ハ、即チ義務教育ノ時期ナリ、
然ルニ六歳ニテ入學スルモノヲ教育スルコト、僅僅四箇年
ニシテ止ムコトノ甚ダ不十分ナル爲メ、近時之ヲ延長セン
トスル議アリ、外國ノ例ヲ引ケバ、獨國ニ於テハ八年、佛國ニ
於テハ六年ヲ義務教育ノ年限トナス。

補習教育

尋常小學校及ビ高等小學校ニハ、二箇年以内ノ補習科ヲ置
クコトヲ得ル規程アリ、又尋常小學校ヲ卒業シタルモノニ、
小學校教育ノ補習ト同時ニ、其ノ從事シ又ハ從事セントス

ル實業ニ要スル知識技能ヲ授クルヲ目的トスル實業補習
學校ノ設ケアリ。蓋シ補習教育ヲ進ムルハ、年少子弟ノ品位
ヲ高メ、社會ヲ改良スル上ニ、最モ必要ナル所ナレバ、歐洲諸
國ニ於テハ、大ニ意ヲ茲ニ注ギ、既ニ強迫的補習教育ヲ決行
セル處アリ。

又既ニ小學校教育ヲ卒ヘテ、工業・農業・商業ニ從事セントス
ルモノノ爲メニハ、工業學校・農業學校・商業學校及ビ商船學
校アリテ、其ノ業務ニ須要ナル教育ヲ授ク。

二、中學校及ビ高等女學校

中學校ハ、男子ニ、高等女學校ハ、女子ニ必須ナル高等普通教
育ヲナスヲ以テ目的トス。而シテ執レモ、滿十二年以上ニシ
テ、高等小學校第二學年ノ課程ヲ終リタルモノ、又ハ之ト同
等ノ學力ヲ有スルモノヲ入學セシメ、中學校ハ五箇年、高等

中學校及
高等女
學校ノ日

女學校ハ四箇年間、修業ヲナサシム。蓋シ社會ノ業務ハ、上位ニ進ムニ從ヒ、精細緻密ナル考ヲ要スルモノナレバ、中等以上ノ業務ニ從事スルモノハ、下層ニ立ツモノヨリモ、一層高キ普通教育ヲ要スルハ自然ノ理ナリ。然ルニ中學校生徒中ニハ、其ノ教育ヲ受ケタル後ハ、早ク實地ノ業務ニ就カントスルモノト、尙進ンデ高等ノ學校ニ入り、高等ナル科學的教育ノ素養ヲ要スル職務ニ就カントスルモノトノ別アルヲ以テ、中學校教育ニ於テモ、實地ノ生活ニ直接連關スルモノト、高等ノ專門學校ト連絡シテ、其ノ豫備教育ヲナスモノトヲ分ツヲ要スト云フ議アリ、是本邦中等教育上、解決ヲ要スル重要ナル一問題ナリ。

中學校教育ヲ卒ヘテ、專門ノ學術ニ就キ、又ハ實業ニ關シテ、高等ノ教育ヲ受ケントスルモノノ爲メニ、高等學校及ビ諸

種ノ專門學校アリ。又大學ニ入ラントスルモノニ對シテハ、高等學校ニ大學豫科ノ設置アリ。

三、大學

的
大學ノ目

我が大學令ニハ、帝國大學ハ、國家ニ須要ナル學術技藝ヲ教授シ、及其蘊奧ヲ攻究スルヲ以テ目的トス。トアリ、則チ學生ハ、分科大學ニ於テハ、學術技藝ノ理論及ビ應用ヲ學ビ、大學院ニ於テハ、其ノ蘊奧ヲ究ルモノナリ。大學ハ、實ニ諸種ノ專門學校ノ上位ニ立チテ最高等ノ學術ヲ修メシムル處ニシテ、教化ノ本源トナリ、直接ニ開化ノ進歩ニ關係スルモノトス。即チ醫師トシテ國民ノ身體的幸福ノ進歩ニ與リ、農工業上ノ技師トシテ世ノ物質的進歩ノ基ヲ立テ、學者トシテ精神界ヲ刷新シ、政治家・法律家トシテ社會的關係ヲ整理セントスルモノハ、茲ニ其ノ最高ノ修業所ヲ發見スト云フベシ。

第四篇 教育者

第一章 教育者ノ種類

教育ハ、長者ガ幼者ノ爲メ、又社會ノ爲メニナス働ナレバ、今代ノ成熟者ハ、皆次ニ來ルベキモノヲ教育スル權利アリ又義務アルモノト云フベシ。然レドモ實際人舉リテ教育ノ實務ニ當ルコトハ、到底爲シ得ベカラズ、唯人ノ父母タルモノ及ビ特ニ其ノ職務ヲ有スルモノヲ、直接ニ人ヲ教育スルモノト稱スベシ。

家庭ハ、教育ノ最初ノ場所トシテ、教育上最モ必要ナリト云フハ、父母ノ、自然的教育者トシテ、幼兒ノ教育ニ最モ適當ナルヲ以テナリ。故ニ少クトモ最初ノ教育ハ、父母親ラ之ヲナスコト誠ニ至當ナリ、已ムヲ得ザル場合、例ヘバ母ノ身體不

自然的教育者

職務的教育者

健康ニシテ、子ヲ養フニ足ラザルカ、又ハ生活上必要ノ業務ノ爲メ、始終其ノ子ニ接スル能ハザルガ如キ時ニ於テ、始メテ之ヲ他人ニ委スベキモノトス。世間往往唯勞ヲ省キ、便利ヲ求ムル念ヨリ、子女ヲ保姆ニ委スルモノアルハ、嘆ズベキノ至リナリ。子ハ、親ノ意ニ任セテ處理スベキ財産ニ非ズ、天ノ我ニ授ケテ養育セシムルモノト云フモ、不可ナルナシ。サレバ唯安逸ヲ望ムノ念ヨリ、其ノ子女ヲ他ニ委スルハ、徳義上決シテ許スベキ所ニ非ズ。若シ又已ムヲ得ズシテ、保姆等ヲ要スル時ハ、其ノ人ヲ選ブベキハ勿論、事情ノ許ス限りハ、勉メテ多ク其ノ子女ニ接スベシ。

職務的教育者トハ、即チ教師ノ謂ナリ。幼兒漸漸生長スレバ、其ノ教育ニハ、特別ノ知識及ビ技術ヲ要スルコト、次第ニ増加スルノミナラズ、兒童ハ、相當ノ年ヨリ他人ニ接シ、他童ト

交ルヲ要スルモノナレバ、父母ガ、其ノ教育ノ業ヲ他人ト分擔スルニ至ルハ、正當ノ順序ナリ、而シテ社會モ亦此ノ必要ヲ認メ、特ニ教育的知識及ビ技術ヲ具ヘタルモノヲ養成シテ、以テ教育ノ任務ニ當ラシムルナリ。

第二章 教育者ニ必要ナル性質

教育者ハ、天真爛漫ナル兒童ノ間ニ立チテ、之ヲ善良ナル方向ニ導クモノナレバ、其ノ職務ハ、人間ノ業務中ノ最モ高尚ナルモノト云フベシ。然レドモ是ト同時ニ、最モ重キ責任アリテ、且至難ノ業ナリト云ハザルヲ得ズ。何ヲ以テ重キ責任アリト云フ、教育一度方法ヲ誤レバ、兒童ノ一身ノ不幸ヲ來シ、社會ノ禍害ノ原因トナルヲ以テナリ、何ヲ以テ至難ト云フ、凡ソ人ヲ導クニハ、常ニ其ノ人ト自己トニ付キ、精密ナル觀察ヲ要シ、猶其ノ他、社會萬般ノ事情ニ注意セザルヲ得ザ

教育者ノ
任務

ルヲ以テナリ。斯クノ如キ責任アリテ且至難ナル業ハ、何人ニモナシ得ベキモノニ非ズ、又猥リニ其ノ人トナリヲ知ラズシテ、託スベキモノニ非ズ。ザルツマン曰ハク、生徒ニ種種ノ失行及ビ不良ノ點アラバ、教育者ハ、自己ニ其ノ原因ヲ求メザルベカラズ。ト、此ノ言ハ少シク過ギタリト雖モ、實際教育者ノ人トナリニ由リテ、教育ノ結果ニ非常ノ差違ヲ生ズルハ、疑フベカラズ。教育者ハ、教フベキ事物ニ付キテ、豐富ナル知識ヲ有シ、教育ノ理論ニ通曉シ、實際ノ熟練ヲ有スルコトノ必要ナルハ論ナシト雖モ、是等ノコトノミニテ、一良好ノ教育者ヲ成就シ得ベシト思フハ誤レリ。同等ノ學識及ビ熟練ヲ有スル教育者ニシテ、同様ノ生徒ヲ教育スルニモ、其ノ結果ノ大ニ異ナルコトアリ、是教育者ノ性格ノ差違ニ因ルコトニシテ、元氣ハ、元氣ニ由リテノミ發動セララルルヲ得。

教育者ノ
身體上ノ
資格

ト云フ古人ノ言ハ決シテ過言ニ非ザルナリ。
 第一、身體ノ強壯ニシテ、其ノ發育ノ宜シキコトハ、教育者ニ
 必要ナリ、虛弱多病ノモノハ、當ニ實地ノ職務ニ從フコト能
 ハズ、又繼續ノ働キナスコト能ハザルノミナラズ、業務ニ從
 事スル時ト雖モ、勇氣少ク、忍耐ニ乏シク、神氣鬱シテ、生徒ノ
 爽快ノ情、熱心勉學ノ風ヲ保持スルコトノ難キハ、自然ノ勢
 ナリ、且又身體ノ發育善良ナラザレバ、體操、遊戲等ニ於テ、生
 徒ノ模範タルコト、甚ダ難カルベシ、殊ニ思想ヲ交換スルニ
 必要ナル機關、即チ聽覺機及ビ發聲機ノ十分ナル發育ハ、教
 育者ニ最モ必要ナル所トス。
 次ニ愛、德望、熱心、忍耐ノ諸德モ、亦教育者ニ缺クベカラザル
 モノナリ、愛トハ、教育者ガ幼者ニ對シ、又其ノ職務ニ對シテ
 有スル愛ニシテ、眞ノ教育者ハ、内心ヨリ幼者ヲ愛シ、從ツテ

教育者ノ
精神上ノ
資格

眞ニ好ミテ其ノ教育ニ從事スルモノタルベシ。凡ソ子弟ヲ
 教育スル上ニ必要トスル所ハ、其ノ同情ヲ得ルニ在リ、而シ
 テ幼者ノ同情ヲ得ントスルニハ、已先ヅ之ニ對シテ、同情ヲ
 有セザルベカラズ、已先ヅ幼者ノ間ニ在ルヲ好ミテ、自ラ其
 ノ身ヲ幼者ノ地位ニ置キ、之ト共ニ考へ、之ト共ニ感ズルニ
 於テハ、幼者モ亦眞ニ敬愛ノ情ヲ表シ、時トシテハ戒メラレ、
 又ハ罰セララルコトアルモ、能ク心服シテ眞ニ己ノ非ヲ悔
 ムベシ、性質冷淡ニシテ、兒童ヲ好マザルモノハ、全ク教育者
 ニ適セザルモノトス。然レドモ教育者ノ愛ハ、眞正ノ愛ニシ
 テ、姑息ノ愛タルベカラズ、換言スレバ、教育者ハ、眞ニ幼者ノ
 知能ヲ啓發シ、善良ノ性ヲ有セシメントスル念ヨリ之ヲ愛
 シ、決シテ一時ノ安逸ヲ得シメントスベカラズ。故ニ愛情ハ、
 漫ニ言語ニテ發表セズ、而シテ嚴キ以テスベキ場合ニハ、斷

乎トシテ嚴ナルベシ、是兒童ノ生長スルニ從ヒ、益多ク必要トスル所ニシテ、教師ハ、決シテ生徒ノ意ヲ迎ヘテ、之ニ媚ブル舉動ヲナスベカラズ。

眞ニ幼者ヲ愛スルモノハ、又自ラ其ノ教職ヲ愛スルハ自然ノ理ナレドモ、其ノ職タル、外面的地位高カラズ、且功ヲ一時ニ顯ス能ハザルヲ以テ、事業ノ困難ナル割合ニハ、他ノ賞譽ヲ受クルコト少ク、其ノ報酬モ、其ノ勞ヲ償フニ足ラザルガ爲メ、屢卑屈心ヲ生シ、或ハ妄ニ、他ヲ羨ミテ、轉職ノ希望ヲ生ゼシムルコトナシトセズ、故ニ赫赫タル外面的名譽ヲ好ミ、奢侈ノ生活ヲ希望スルモノハ、固ヨリ教育者ニ適セズ、眞ノ教育者ハ、其ノ業務ノ高尚ニシテ、慈愛的ノモノナルコトニ於テ、愉快ヲ求メ、而シテ其ノ養成シタル兒童ガ、世ニ立チテ、能ク其ノ務ヲ行フニ至ルヲ見テ、人類ノ爲メニ盡シシコト

德望

ノ大ナルヲ悟リ、茲ニ眞ノ快樂ヲ感ズルモノナリ。

教育者ニ德望ノ必要ナルコトモ亦明カナリ、口ニ倫理ヲ説クノミニテハ、決シテ善行ヲ獎勵スルニ足ラズ、教育者ハ親シク其ノ説ク所ヲ實行シテ、模範ヲ兒童ニ示ス覺悟ナカルベカラズ、口ノミ道德ヲ説キテ、素行ノ修ラザルモノノ、人ノ歸服ヲ得ル能ハザルハ、當然ノ理ナリ。總ベテ教育者ニ貴ブ所ハ、其ノ性格ヲ以テ、兒童ヲ薰陶スルニ在レバ、德性ノ完備ハ、眞ノ教育者ヲ成スニ最モ必要ナル條件ト云フベシ。ワグネル曰ハク、有德ナル人ノ前ニ於ケル程、能ク訓育ノ行ハルルコトナシ、彼ハ教フル所ナク、戒ムル所ナケレドモ、其ノ靜ナル現在ハ、太陽ノ、萬物ノ上ニ輝キテ、之ニ暖氣ヲ與フルニ似タリト。

熱心

熱心ハ、總ベテ一事ヲ研究シ、一藝ニ熟達スルニ付キテ、必要

忍耐

トスル所ナリ、教育ニ於テモ、細微ノ觀察ヲナシ、臨機應變、適當ナル方法ヲ活用スル手練ハ、天性ニ基クコト大ナリト雖モ、熱心ナル勉強練習ト緻密ナル觀察トニ由ルコト、亦少カラズ、假令天賦ノ手練アルモ、熱心ヲ缺ク時ハ、決シテ善良ナル教育者ト云フヲ得ズ。ルソー曰ハク、「熱心ガ天才ノ缺ヲ補フコトハ、天才ガ熱心ノ缺ヲ補フヨリモ遙カニ大ナト。」ト。教育者ハ、又種種ノ點ニ於テ忍耐ヲ要ス、即チ教育ノ效果ノ一時ニ顯著ナラザル爲メ、急速ノ成功ヲ望ムベカラザル點ニ於テモ、又ハ變化常ナキ兒童ノ性ヲ精密ニ觀察シテ、之ニ適スル方法ヲ考定スル點ニ於テモ、且不當ノ行爲、不正ノ性質ニ對シテ、一時ニ憤怒セズ、漸次ニ之ヲ矯正セザルヲ得ザル點ニ於テモ、教育者ハ、常ニ忍耐力ヲ要スルモノナリ。

第三章 教師ノ補修

補習ノ必要

善良ナル教育者ハ、僅少ノ年限ニテ養成セラレベキモノニ非ズ、故ニ師範學校ノ如キハ、畢竟教育者タルベキ端緒ヲ與フル所ニ過ギズ、眞ニ教育者トシテノ伎倆ノ定ルニ至ルハ、卒業後ノ補修ニ由ルモノナリ。ツエルレル曰ハク、教師ニシテ進ンデ學ブノ力ナク、又學ブヲ要セズト信ジ、日日新ニ學ブコトヲ欲セザルモノハ、明カニ其ノ無能ヲ示スモノナリ、斯クノ如キ人ハ、初メヨリ教師トシテ不適當ナルカ、或ハ初メ一時ハ適當ナルガ如キモ、久シカラズシデ其ノ不適任ヲ示スニ至ルベシ。彼ノ僅ニ師範學校ヲ卒業シタル若年ノ教師ハ、幾何ノ價值アルカ、若シ彼等ニシテ、其ノ有スル僅少ノ知識ヲ以テ満足シ一層進ンデ研究スル念ナキ時ハ、到底眞ノ教師タル能ハザルベシ、總ベテ人ヲ教ヘ導クコトヲ學ブ上ニハ、決シテ足レリト云フコトナシ。故ニ適當ナル教師ハ、

實地的補修

眞理ノ研究ニ付キテハ、常ニ出精ナル生徒タルヲ恥ヂズ、善良ナル教育者ハ、實地ノ生活及ビ高尚ナル教理ニ就キテ、常ニ自己ヲ教訓スルモノナリ。ト。吾人ハ前章ニ於テ、一般ニ教育者ニ必要ナル性ヲ舉ゲテ、其ノ自己修養上、依ルベキ點ヲ示シタリ、因ツテ次ニハ、特ニ教師トシテノ補修ヲ論ズベシ。教師ハ、實地的及ビ學問的補修ニ深ク意ヲ用フベキモノナリ、而シテ實地的補習ニ於テハ、第一、教授ノ準備ニ注意シ、嘗テ師範學校ニテ習得シタル所ニ基キ、諸家ノ說ヲ參考シテ、教材ヲ整理シ、其ノ教フル所ノ事柄及ビ方法ニ付キ、少シノ疑點ナカラシム様ニ勉ムベキナリ。第二、教授中ノ觀察ヲ怠ラズ、一方法ノ結果ノ如何ンヲ確メ、自己ノ教授ノ缺點ニ注意シテ、其ノ心付キタル所ヲ能ク記憶スルコト緊要ナリ。第三、教授ノ後ニ至リ、教授中ノ經驗ニ就キテ熟慮セザルベカラ

學問的補修

ズ。ケール曰ハク、善良ナル教師ハ、嘗ニ適當ナル準備ヲナスノミナラズ、又能ク後備ヲナスヲ勉ムルモノナリ、即チ其ノ教授中ニナシタル經驗ヲ書キ留メ、嘗テ準備セシ教授ノ適當セザリシ點ヲ指摘シテ、以テ將來改良ノ目的トス、彼ノ商人ガ、簿記帳ニ貸借ヲ對比シテ記入スルガ如ク、教師モ亦教授日記ヲ作り、其ノ既ニ達シ得タル所ト、唯希望スル所トヲ對立セシメンヲ要ス。ト。第四、教師ハ唯學校ニ於ケルノミナラズ、學校外ニ於テモ兒童ノ觀察ヲ怠ラズ、其ノ父兄親戚ニ接シ、其ノ家風・生活ノ程度等ニ附キ、精細ノ取調ヲナサンヲ要ス。

學問的補修トハ、教師ノ勉學ヲ指スモノナリ、凡ソ人ヲ教ヘントスルニハ、自ラ先ヅ能ク學バザルベカラズ、殊ニ知識ノ日ニ進歩スル今日ニ於テ、少シク怠ルコトアル時ハ、忽チ時

代ニ後ルベシ。彼ノ老朽ニシテ用ヲナス能ハザルモノトハ、日新ノ世ニ伴ヒテ進歩スル氣力ナキモノヲ云フニ非ズヤ。而シテ、學問ニ心ヲ傾クルコトハ、實ニ教授ノ爲メニ利益アルノミナラズ、教師トシテ世ニ立チ、精神上ノ快樂ヲ以テ満足シ、外界ノ誘惑ニ動カサレザル點ヨリ見テ、亦最モ貴重スベキ所ナリ。

補修ノ手段

今右ノ如キ實地的及ビ學問的補修ニ付キ、教師ノ依ルベキ所ヲ舉グレバ、下ノ如シ、第一ハ指導ナリ、教師ハ、講習會又ハ個人的ニ、學者ノ教授ヲ受ケ、經驗アル教育家ノ講話ヲ聽キテ、其ノ指導ヲ受クベシ。第二ハ批評ナリ、教師ハ、同職ノモノニ自己ノ意見ヲ談リ、實地ノ教授ヲ示シテ、其ノ批評ヲ受クベシ。人ハ往往自己ノ缺點ニ氣ノ付カザルモノナレバ、他人ノ批評ヲ聽クハ、最モ有益ナリ、第三ハ傍聽ナリ、教師ハ、事情

教師ト社會ノ指導

ノ許ス限り、他人ノ教授ヲ傍聽スベシ。他人ノ事ニハ氣ノ付キ易キモノナレバ、其ノ舉動ヲ見テ、己ヲ顧ミルハ自己ノ缺點ヲ知ル最捷路トス。ゲーテノ言ニ、人ハ、人ニ由リテノミ己ヲ知り得ルモノナリ。汝若シ或ル場合ニ於テ、自己ヲ知ラント欲セバ、他人ガ同様ノ場合ニ如何ニ働クカヲ見ヨ。トアルハ、此ノ意義ヲ示シタルモノナリ。第四ハ、教員會又ハ教育會ナリ、經驗アル教育者ノ會合シテ、互ニ其ノ實驗ヲ談シ、意見ヲ述べ、評論討議シテ、誤謬ヲ正シ、正理ヲ發見スルコトノ有益ナルハ、言ヲ待タズ。良好ナル指導及ビ適切ナル批評ハ、茲ニ於テ得ルコト甚ダ多シ。

右ノ外ニモ教師ハ、一地方ノ修身上及ビ矯風上ノ事業ヲ獎勵シ、補習教育ノ發達ニ意ヲ用ヒ、夜學校・休日學校等ノ設立ヲ促シテ、普通人民ノ修學ノ便利ヲ計リ、又文學美術ニ關ス


ル高尚ナル嗜好ノ發達普及ニ就キテモ、力ヲ盡サザルベカラズ、斯クノ如クシテ、教師ハ直接ニ兒童ノ教育者タルノミナラズ、一般人民ノ指導者タリ、從ツテ社會ノ改良者タルヲ得ルモノトス。

新編 教育學教科書終

明治三十六年五月五日印刷
 明治三十六年五月十日發行

新編 教育學教科書

定價金六拾五錢

著者 大瀨 甚 太 

發行者兼 金港堂書籍株式會社

東京市日本橋區本町三丁目十七番地

右社長

代表者 原 亮 一 郎

東京市下谷區龍泉寺町四百十四番地

印刷所 帝國印刷株式會社

東京市京橋區築地三丁目十五番地

賣捌所 各府縣特約賣捌所

不許複製

學小各科教授法	東京高等師範學校 教諭兼訓導	棚橋源太郎氏著	全壹 定價金七拾五錢
小學校教授法	京都府師範學校教諭 愛知縣師範學校教諭	原安馬氏著 末廣菊次郎氏著	全壹 定價金六拾五錢
小學教授法	栃木縣師範學校教諭	杉田勝太郎氏著	全壹 定價金六拾錢
用新教授法	千葉縣安房中學校長	狩野鷹力氏著	全壹 定價金四拾五錢
小學教授法	東京高等師範學校教授	森岡常藏氏著	全壹 定價金八拾錢
<small>尋常小學に於ける</small> 實科教授法	東京高等師範學校 教諭兼訓導	棚橋源太郎氏著	全壹 定價金五拾錢
修身教授法	秋田縣横手中學校教諭	真田幸憲氏著	全壹 定價金參拾錢
歷史教授法	東京高等師範學校教諭	齋藤斐章氏著	全壹 定價金七拾五錢
理科教授法	東京高等師範學校 教諭兼訓導	棚橋源太郎氏著	全壹 定價金八拾錢



広島大学図書

2000033941

